

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第十五回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年三月三日(火曜日)午前十二時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

北浦圭太郎君 高橋壽太郎君

村上 國吉君 三好榮次郎君

田中祐四郎君 宮澤 胤勇君

前田卯之助君 松田 正一君

田中 養達君 武知 勇記君

菅村 太事君 三田村甚三郎君

篠田 有徳君 出井 兵吉君

片野 重脩君 東 武君

松山常次郎君 平井信四郎君

多木久米次郎君 清家吉次郎君

石井 次郎君

同日委員高橋壽太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ村上國吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田、忠治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 富田勇太郎君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 田淵 敬治君

農林書記官 井野 碩哉君

農林書記官 村上龍太郎君

農林書記官 荷見 安君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス

○多木委員 私ハ時間ヲ省ク爲ニ棒立チニ伺ヒマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

第一ニ本問題ニ大關係ノアル小作法ノ概要カラ一寸伺ヒタイ、此小作法ハ餘程重要ナル問題デゴザイマスガ、是ハ内地ノミニ御適用ニナル御考デアアルカ、朝鮮マデモ施行サレマス御考デアリマスカ、第一ノ要點ダケ申上ゲマス、此小作法ニ依リマスルト全ク憲法ガ地主ニ付與シタル所有權ヲ滅却サレテシマツテ、土地ヲ買ツテ作ツタ云フダケデ、賣ルコトモ容易ニ出來ナケレバ、又

小作料モ一年持ッテ來ナイデモ宜イトナレバ、地租ヲドナイニシテ納メルカ、地租モ納メルコトモ出來ナイ、ノミナラズ、朝鮮ニ於キマシテハ御承知ノ通り地租ハ五十錢カ一圓デアアルガ、水利費ノ如キハ八圓、十圓、二十圓ト云フノデ、收穫全體ヲ持ッテ行ッテモ、水利費ニモ足ラヌ處モアル、小作料ヲ一年持ッテ來ラレナイデ、ドウシテヤッテ行ケルカ、御承知ノ通り此土地ト云フモノハ外國人ニ所有權ヲ許サナイモノデア

ル、然ルニモ拘ラズ間接カ直接カ、此土地ヲ日當ニ致シマシテ六十億萬圓内外ノ借錢ヲ脊負ッテ居ッテ、全ク土地ト云フモノハ無價值デアリマス、耕作獎勵ドコロデハナイ、元モ無クナルト考ヘマス、サウ云フ場合ニハ銀行ナンカハ總潰レニナルコトハ明カデアアル、經濟界ハ全ク全滅致シマス、サウ致シマシテ金ノ融通モナイ、コンナモノハ恐ラク抵當ニ取ル者モ誰モアルマイト思フ、云フマデモナク本年一年漸ク自給自足ノ結果ヲ見ルヤウナ譯デアアルニ、米ノ置場、捨場ニモ困ル如キ宣傳ヲ爲シテ、無暗ニ米ヲ御下ゲニナツテ居ル、云フマデモナク地方民ノ將來ヲ考フレバ、五十年ヲ待タズシテ今日ノ人口ガ

更ニ又六千五百萬増加スル、又八千萬石内外ノ米ヲ要スルト云フコトニナルノデアリマス、斯ノ如ク地主ノ所有權ト利益ヲ無クシテシマツテ、更ニ開墾ヲシタリ、産米助成法ノ如キヤッタリシテ、今日在ルヲ知ッテ明日ヲ知ラズ、全ク黨利黨略ニ出デタモノデ、是位惡政策ハナイト考ヘル、又朝鮮ノ統治ノ如キハ日本國家ノ安危存亡ニ關スル所ノ朝鮮デゴザイマス、而シテ此朝鮮ノ統治ガ比較的圓滿ニ行ハレテ居ルノハ何故デアアルカト云フト、地主ガアルカラダト云フ位ニ考ヘテ居ル、臺灣ノ如キハ中々安案ヲ保ツコトガ出來ナイ、ソレハ何デアアルカト云フト地主ガナイト云フ點デアリマス、土地ノ人ニ密接ナル了解ガ乏シイ爲デアアル、然ルニ朝鮮ナドノ經營ニ餘程誤ッタコトモ少クナイ、ドウカスルト地主ヲ壓迫シテ、殊ニ朝鮮ニハ小作爭議ト云フモノハナイニモ拘ラズ、態々小作官ナント云フモノヲ置イテ小作ノ紛議ヲ煽動セントスルヤウナ傾ガアル、全ク小作官ヲ置イタト云フコトハ小作爭議ノ發動ヲ促シタト同様ノ結果ニナリ、遂ニハ地主ガ朝鮮カラ逃ゲテ歸ルヤウニナリハセヌカト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、デ

アルカラ土地ヲ固メテ持ツヤウナ馬鹿者ハ無クナツテ、餘程馬鹿者デナケレバ土地ハ持タヌヤウナ傾ニナツテ居ル、全ク今日在ルヲ知ツテ將來ヲ知ラナイコトデアアル、食糧問題ハ云フマデモナク重大ナル問題デアアル、然ルニ現政府ハ産業合理化ヲ稱へ、國產獎勵、國產愛用ノ御宣傳ヲ爲サツテ居ル、其宣傳ハ結構ナ話デ何人モ異議ハナイノデアリマスガ、昨年ニ於テモ米ハ二百萬石、其他小麥ノ如キ、小麥粉ノ如キ、麻ノ如キ、煙草ノ如キ、二億三千萬圓モ這入ツテ來テ居ル、是ハ何デアアルカト云フト、全ク農產物ヲ壓迫スルコトノ爲ニスルモノガ這入ツテ來タノデヤナイカ、現ニ端境期ニ於テ米ガ五百七十萬石モ餘リヲ生ジテ、遂ニ米價ヲ壓迫スル如キ實情ヲ窺ハレルノデアリマス、小作法ノ如キハモウ一遍研究ノ意味デ、撤回ヲ爲サル方ガ國家治安ノ爲ニモ、食糧問題ノ上ニモ宜イデハナカラウカト思ヒマス、政府ノ御意嚮ハ如何デゴザイマセウカ

殊ニ米價ノ慘落ノ如キ、多クハ自然デナクシテ、農林省ガ何時モ米ヲ下ゲルコトバカリ考ヘテ居ル、言フマデモナク是マデハ農商務省ノ一部ニ農務局長ト云フモノガアツテ、而モ百姓ヲ知ラヌ農務局長ガ居ッタ、ソレデハ百姓ハ立ッテ行カナイ、而モ百姓ト云フモノハ言フマデモナク四五十億萬ノ大ナル生産者デアアルト共ニ消費者デゴザイマス、然ルニ各方面カラ壓迫ヲ受ケテハ堪ラナイト云フコトカラ、輿論ノ力ニ依ッテ、遂ニ農林省ト云フモノヲ拵ヘテ、慈悲愛ナル所ノ御父サンヲ迎ヘタ、所ガ其御父サンモ百姓泣カセノ政策バカリデアツテ、自給自足ト云フ點ニ於テド位御盡シニナツテ居ルカト云フコトヲ私ハ常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、遠慮ナク言ハセレバ、私ハ善政ヲ行フ人デアラナラバ、何人ガ天下ヲ取ツテ居ッテモ、ソレヲ羨シダリ、其天下ヲ破壊スルヤウナ考ハ甚ダ薄イ者デアリマス、殊ニ米ガ五百七十萬石モ餘ルト云フコトハ、恐ラクハ政府ノ統計ガ間違ッテ居ルノデハナイカ、又政府ガ六千七百萬石モ米ガアルヤウニ御宣傳ニナル、ソレニ羽根ヤ鰭ヲ附ケテ新聞ガ面白サウニ書ク、米ガ只ニナルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル、現ニ政府ト最モ親シイ西谷金藏氏ノ如キ、米ヲ上ゲヤウガ下ゲヤウガ、兎ニ角十圓位ニシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ公開ノ席上ニ於テ言ツテ居ル、是ハ誰ノコトヲ言フノカ知レナイガ、蓋シ思ヒ半バニ過グル所ノ言葉デハナイカト思フ、或ハ十圓ニナルカナナイカ知レナイガ、其生産費スラモ、政府ガ何ボダト云ッタツテ、唯帝國農會ノ生産費ヲ否認サレルバカリデアリマシテ、將來永遠ニ互ル基礎ヲ作ルト云フ場合ニ二十一圓、而モ是ハ確デナイトカ云フヤウナ怪シイコトデアアルガ、農産費用ヲ調ベルコト程容易イ事ハナイ、極メテ單純ナ問題デアリマス、デアリマスカラモウ少シ米穀法ノ命令ヲ忠實ニ御實行ナサレタイ、高イ折ニ賣ルノモ宜イガ、安イ時ニ蚊ノ如ク天下舉ツテ泣入ッテ、涙モ出ヌヤウニナラナケレバ米ヲ御買上ニモナラナイ、其米ヲ御買ヒニナルト却テ下ルト云フ結果ニナル、而モ其米ヲ御持チニナリマシテ、既ニ一億何千萬圓モ御損ガ出ル、是ハ誰ノ損デアルカ、財政困難デアアル折柄、僅カ五千萬圓カ八千萬圓デ、政府ノ運命ニモ關係スル場合ニ、米ヲ三百萬石モ買ウテ三十圓ニシテモ六千萬圓、二十五圓ニシテモ七千五百萬圓、其米ノ値ガ下ッタニセヨ一億數千萬圓ヲ損ヲシテ誰ガ之ヲ歎ブコトデアリマスカ、全ク誤ッタ政策ト謂ハナケレバナラヌガ、之ヲ將來御變更ナサル御考ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

斯ウ云フ狀態デアルトモウ一ツ進ンデ伺ヒタイノデアリマスガ、政府ハ一億何千萬圓ト云フ金ヲ減税スルト言ウテ——九百萬圓内外ノ減税スルトシテ、國民一般ニハドレ程ニ當ルカト云フト、僅カ十錢カ十二錢デアアル、ソレデ

自慢顔ヲスル、而モ米ヲ壓迫スル爲ニ一億五千萬圓モ損ヲスル、是デ何ノ利益ガアリマスカ、今ヤ我國ハ鐵モ、石油モ、衣服ノ材料モ、亦材木ナゾモナイト云フ狀態デ極メテ天恵ヲ受ケルコトガ薄イ國デアアルガ、セメテ食物ダケデモ自給自足ニスルト云フコトガ國家百年ノ大計デアアルノニ小麥ナゾハ一反歩一石内外ヨリ穫レナイ、四十八萬町歩ニ對シテ五百萬石シカ穫レナイ、獨逸ハ一石七斗モ穫レル「ムツソリーニ」ハ小麥ノ總動員ト稱ヘテ極力獎勵シテ居ル米ノ如キモ日本ヨリ伊太利ノ方ガ六斗五升モ餘計穫ッテ居ルト云フコトハ申ス迄モナイ次第デアリマス、將來私ハ獎勵宜シキヲ得マシタナラバ米ヤ麥ハ人口ガ殖エテモ二十年ヤ三十年ハマダ自給自足デ行ケルト思フ、況ヤ朝鮮ヤ臺灣ガアル今日デアリマス、一體農林省ノ存在ノ意義ガ何處ニアルカト云フコトヲ私ハ悲シデ居ル一人デアリマス、米ヲ買フヨリ將來ニ於テハ其米ヲ保存スル爲ニ一石ニ付テ三圓ヤッタ所ガ、五百萬石貯藏シテモ千五百萬圓デ済ム次第デアリマス、而モ是ガ爲ニ人件費ガ何百萬圓、三百萬石一箇月置キマシテモ三十萬圓、四十萬圓倉敷ダケデモ掛ル、一箇年ヲ通ジテ是ダケニ五百萬圓、是ガ社會政策農業政策ノ爲ニドウ云フ利益ヲシテ居ルカト云フコト

ヲ私ハ憂ヘテ居ル次第アリマス、米ノ如キモ投資シテ商人ヲ肥スヨリモ、失業業者ニヤル方ガ宜ケレバ、新米ノ良イ米ヲ持ッテ來レバ一石ニ對シテ一石五斗カ二石ヤッテ、數量デ取替ヘル方ガ宜イト思フガ如何デアアルカ、然ルニ之ヲ外ニ持ッテ行ッテ投資スルトハ何ノ事カ、大體其價格ハ如何實ニ策ヲ誤ッテ居ル、之ヲ將來御反省下サル御意思ガアルカドウカ

モ要ラナイト思ヒマス、土地ノ價值迄モ無代價化シテ斯ウ云フ法案ヲ出サシナラヌ必要ガ何處ニアルカ斯様ニ考ヘル次第デアリマス、ソレデ米ヲ買フト云フコトヲ成タケ廢メテ、又一方ニハ米ノ統制ト云フヤウナモノハ成ベク農會ニデモヤラシテ貰フト云フコトニ行クマイカドウデアアルカ、之ヲ自治的ニヤルト云フコト、又米ノ輸出モ結構デアリマス、日本ノ米ハ伊太利ノ米ニ

本年ハ氣候ハ好クアリマシテモ大ナル凶作デナカラウト云フコトヲ心配スル、農家ノ一舉一動ガ此收穫ノ上ニ如何ニ關係ガアルカ、千萬石ノ米ノ多イカ少イカト云フコトハ農家ノ經濟ノ上ニモ、財政ノ上ニモ、重大ナル問題デアリマス、此獎勵宜シキヲ得ナイト云フコトハ、大ナル結果ヲ見ル次第デアリマス、米ノ如キ、麥ノ如キ、ヤリヤウニ依ッテ幾ラデモ增收スルカノアルコトハ申ス迄モナイ、何處迄農林省ガ此成績ヲ御舉ゲニナッタカト云フコトヲ考

ヒマス
ソレデ私ハ地租ヲ全廢スルト云フ方針ヲ立ッテモ、行政整理ヲスルナラバ何デモナイ出來ルト思フ、財源ハ無盡藏デアリマス、俸給及ビ旅費恩給ダケデモ歲計ノ半バニ達シテ居ル、財源ハ行政整理ニ依ルモ可ナリ、又米穀法ヲ廢シタダケデモ一億數千萬圓ノ金ガ浮クノデアアルカラ、地租ヲ全廢スルノハ何デモナイ、又農產物ヲ關稅ニ依ッテ保護シナケレバナラヌ然ラズンバ日本ノ農業ハ直チニ亡ビザルヲ得ナイ、何トナレバ土地ハ狹ク地力ハ減耗シテ、機械ノ應用ヲ許サズ、爲ニ外國ノ小麥ノ如キ機械ヲ以テ一人シテ日本ノ幾百人ノ生産能力ヲ有スルモノトハ決シテ對抗シ能ハヌノデアアル、又米ノ如キハ日本ハ一ヶ年僅ニ一回シカ穫リ得ナイニ拘ラズ、熱帶國ノ如キハ一年五回六回ノ收穫ヲ得テ居ルノデアアルカラ假令一回二回ノ凶作ガアッテモ深く痛痒ヲ感ゼザルコトハ云フ迄モナイ、サレバ地租ヲ廢シ併セテ關稅ニ依テ之ヲ保護スル必要ガアル、併ナガラ現在ニ於テハ自作農ヨリハ地租ヲ取ラズ一方カラ稅ヲ取ッテ是ガ爲ニ町村役場稅務署ニ於テ莫大ナル手數ヲ要シ煩雜ヲ極メテ居ルト云フコトハ容易ナラヌモノデア

殊ニ近來ハ此米ヲ作ル技術モ段々進ンデ參リマシテ、多收穫デ旨ク行クモノハ八石以上モ一反步デ穫レルコトニナッテ居リマス、八石以上穫ルコトニナレバ、三百十五萬町步ニ對シテ二億五千萬石モ穫レルト云フ結果ニナル、之ヲ半分ニ見テモ一億二千萬石デアリマスカラ、自給政策ヲヤルト云フコトハ何デモナイコトデアリマス、ソレデ國產愛用ヲ宣傳スルコトハ結構ダガ併ナガラ農產物ダケハ國產愛用ト云フ精神ヲ全ク忘レテ居ル如ク吾々ハ疑ハレル次第デアリマス、サウシテ此農家ノ負擔ヲ少シモ輕クシナイノミナラズ、米一石ニ對シテ總テノ負擔ガ少クモ七圓八圓モ掛ッテ居ルト云フヤウニ考ヘルガ、ソレヲ少シモ輕クスル途ガナイ、ソレデアアルカラ地租ノ如キハ全廢シナケレバナラヌト考ヘマス、サウシテ小作料ヲ取ル分量ヲ制限シテ置ケバ小作法

優ッテ世界ニ誇ルベキ美味ヲ有シテ居ル、此美味ハ非常ナ天惠デアリマス、ソレ故柴棍ノ如キ、安南ノ如キ、「ビルマ」ノ如キ、印度ノ如キ處ニ持ッテ行ッテモ歡迎サレル、最初ハ多少損ガ行ッテモ、將來ノ爲ニ持ッテ行クノハ宜イガ、外國ニ惡米ヲ持ッテ行ッテ日本米ハ食フニ堪ヘヌモノダト云フコトニシテ永遠ニ日本ノ米ノ聲價ヲ世界ニ失フト云フコトハ私ハ遺憾ニ考ヘル、日本ニ林檎ガア

如キハ總督府ガ米ノ問題ニ付テハ實ニ御熱心デアリマス、實ニ感服ニ堪ヘナイ、百六十五萬町步ト云フノハ水田ノミデアリマス、畑ハ三百萬町步テアルガ今日麥ノ如キハ全ク原始的デアリマス、サウシテ滿洲カラ年々二百萬三萬ノ粟ヲ買フノデアアル、而モ氣候ガ好イ爲ニ果物ノ如キ、又砂糖、大根ノ如キ非常ニ出來マス、獨逸ハ年々砂糖ガ五千萬圓、七千萬圓モ輸入シテ居ッタノガ、學理ヲ應用シ、冗費ヲ省キ獎勵宜シキヲ得タ爲ニ五億七億ノ輸出ヲ見タコトハ隠レナイ事實デアアル、然ルニ朝鮮ノ如キハ氣候ガ宜シキ爲ニ葡萄モ立派ニ出來林檎モ宜シイガ、是等ハ大ニ獎勵スル意思ガアルカドウカ、是等ハ大ニ農林省ノ重大ナル責任ガアルト思

ハ自作農ヨリハ地租ヲ取ラズ一方カラ稅ヲ取ッテ是ガ爲ニ町村役場稅務署ニ於テ莫大ナル手數ヲ要シ煩雜ヲ極メテ居ルト云フコトハ容易ナラヌモノデア

料ヲ取ル分量ヲ制限シテ置ケバ小作法

ガ如キ宣傳ヲスル、斯ウ云フ狀態デハ

大ニ農林省ノ重大ナル責任ガアルト思

ハ自作農ヨリハ地租ヲ取ラズ一方カラ稅ヲ取ッテ是ガ爲ニ町村役場稅務署ニ於テ莫大ナル手數ヲ要シ煩雜ヲ極メテ居ルト云フコトハ容易ナラヌモノデア

此意味カラ云ツテモ地租ハ必ズ全廢スベキモノデアル

亞米利加ノ如キハ旱害、水害ニ年々十數億圓モ出シテ、國家ガ責任ヲ以テ土地ヲ改良致シマシタ者ヤ、更ニ又開墾シテ田地ヲ作ル人ニ九十「エーカー」ヅ、無代デ與ヘテ居ル、然ルニ日本ハ食糧ガ無クテ困ッテ居ル、竈ニ鍋ヲ懸ケテ米ノ出來ルノヲ待ッテ居ルト云フ今日ノ狀態デアル、然ルニモ拘ラズ政府ハ農家ヲ虐待シツ、アル、農家ハ甘ンジテ其虐待ヲ受ケツ、米ヲ作ッテ居ル、私共農家ノ雅量ニハ實ニ常ニ感謝シテ居ル一人デアリマス、斯ル從順ナル農家ヲ虐待シテ、國家ガ利益ニナルカト云フニ、農家ヲ虐待スル爲ニ國家ハ益、疲弊シツ、アル、全ク火ガ消エタ如キ狀態デアル、購買力ハ更ニ無イ、既ニ拵ヘタ所ノ畑モ、之ニ松ヲ植エタリシテ荒廢致シテ居ル狀態デアル、賢明ナル農林大臣ハ此狀態ヲ何ト見ル、開墾助成法ハマルデ空文デアル、國家ノ飾物デアル、其實效ヲ現サズシテ只法律バカリヲ拵ヘテ置イテモ何ノ利益ガゴザイマセウ、國家ノ爲ニ洵ニ悲ムベキ一大事デハアリマスマイカ、斯ウ云フモノガ而モ數十萬町歩ニ及ンデ居ルト考ヘル

其低利資金ハ開墾シタリ水利ヲ良クシタリ所ノ惠澤ニハナラズシテ、銀行ノ腹バカリ肥ヤシテ居ル、水利組合ナドハ四朱八厘ノ利子デ低利資金ヲ半分借リテ、而モ銀行ニ拂フ利息ハ平均ガ七朱トカ八朱トカ云フ高イモノデアル、而モ朝鮮ノ如ク資本ノ缺乏シタ處デハ、隔ノ病デ御腹ガ空イテモ食物ガ喉ヲ通ラナイト同様デ、資金ヲ得ルノニハ僅ニ二ツノ銀行ノ喉ヲ越サネバナラヌ、二ツノ銀行ニ大ナル税金ヲ拂ハヌト其惠澤ヲ受ケラレヌガ、其惠澤ハ中々利子ガ高イ、五朱一厘ノ利子デ低利資金ヲ半分借リテモ銀行ノ取ル所ハ平均九朱一割デゴザイマス、全ク高イ割合デアリマス、ソレガ爲ニ土地ヲ改良シテ病氣ハ癒ッタクレドモ人參代ニ困ッテ居ル者ハ擧ゲテ算フルコトガ出來ヌ狀態デアル、其處ニ持ッテ行ッテ、小作法ト云フヤウナ名法ガ出來マシテ、土地ノ値ヲ下ゲテ、小作人ハ地租ヲ納メル義務モナイ、一年モ小作料ヲ持ッテ行カヌデモ宜イト云フヤウナコトニナッタナラバ、如何ナル結果ヲ來スデアリマセウカ、賢明ナル農林大臣ハ、此點ニ大ニ御考慮ヲ仰ギタイ次第デアリマス、低利ノ利子デ御貸シニナルナラバ低利ノ利子ガ農家ニ徹底スルヤウニスルコトガ大事デハナイカ、サウナッテコソ産業合理化デアリマシテ洵ニ結構ナコトデアリ

ハズ護謨ト云ハズ天然ヲ凌駕シテ、科學ノ眼中ニハ物質ノ如何ヲ問ハヌ今日デアルカラ、農村ガ米ヲ其儘賣ッテ居テハ逆モ駄目デアル、米デ葡萄酒以上ノ「シヤンパン」以上ノ物ヲ造ルト云フ位ノ事ハ科學ノ力デ決シテ不可能ノモノデハゴザイマセヌ、デアルカラ一ツ國立農産研究所ト云フヤウナモノヲ御拵ヘ下サル御考ハアリマスマイカドウカ、日本ノ學者ノ如キ一向發明ニモ關係ガ無イヤウナ、無頓著ナ人デイカヌケレバ、世界ニ廣ク知識ヲ求メテモ宜シウゴザイマス、段々世界ノ一等國トナッテモ、西洋ノ如ク飛行機、自動車ガ一等國ノ而目ガ何處ニアリマス、生産費ヲ成ベク省イテ行カナケレバナラヌト仰シヤルガ、然ラバ何ニ依ッテ生産費ハ省ケマスカ、肥料ヲ高クシ米ヲ安クスルト云フ御名案ヲ御考ヘニナッタヤウデアルガ、而モ生絲ノ如キモ五十五萬梱モ外國ニ出シマスガ、其原料ハ少クモ二三十萬噸ノ「アンモニア」ニ變ッテ這入ッテ來ルノニ依ッテ構成セラレタル生絲デアリマスガ、然ルニ之ヲ一噸ニ付テ十五圓二十圓高クスレバ何千萬圓ト云フ價額ヲ高クスル次第デアル、斯ノ如クシテ此生絲ガ支那ノ低廉ナル生絲ト競争ガ出來マスカ、生絲ナル商品ト

化シタ場合ニハ國力ヲ賭シテ之ヲ保護サレマスガ農産物ナル繭ニ對シテ何等ノ保護ヲシタ事ガアリマスカ農林省ノ行動ハ全ク其本末ヲ誤ッテ居ルモノデハナイカト思フ

而モ農業ニ對シテ成ベク費用ヲ省クト言ハレマスガ、第一農具ノ改良發明工風ヲ獎勵シタ事ガアリマスカ、耕耘ト云ハズ、脱穀ト云ハズ除草ナリ或ハ開墾ノ機械トシテ一問題ニ對シテ或ハ五萬圓十萬圓ノ懸賞ヲ以テ國ノ内外ヲ問ハズ世界ニ懸賞的ニ發明工風ヲ募集ヲシテ、年々農具ノ博覽會及ビ共進會ヲ開イテ、發明品ヲ保護獎勵シテ、而シテ能ク審査考慮ヲ致シテ、而シテ賣ルニモ便利ニ買フニモ迷ハナイヤウニスル御考ハゴザイマスマイカ如何デアリマス、是ハ大切デハアリマセヌカ、如何デアリマス、是マデサウ云フコトガ出來テ居リマスカ如何デアリマスカ

ソレカラ殊ニ關稅ノ如キモ現政府ハ外ノ工業ニ付キマシテハ中々色々ナ保護ヲシテ居ル、然ルニ農産物ト云フヤウナモノハ、米ガ本年自給自足ガ出來ルト云フ年ダケ勅令ヲ以テ百斤ニ付テ二圓ヅ、保護シテ居ルガ將來ハ如何ニスベキデアルカ

聞クガ如クンバ旱害、水害、若クハ耕地整理ノ爲ニ一億二千萬圓ノ借金ヲ農家ガ有シテ居ル、斯ノ如キ費用ハ國家

ガ當然負擔スベキデアアルニ拘ラズ、農家ヲシテ之ヲ負擔セシメ、一方ニハ收入激減ノ爲ニ支拂能力ヲ全ク失ッテ居ル今日之ヲ國家ノ負擔トシテ全免スルヲ當然トスルと思フガ如何

現ニ世界的ノ富豪ニ對シテハ戰時中露國ニ無暗ニ高ク物品ヲ賣ッテ露國ノ戰敗ト政變ニ依ッテ支拂フ能ハザル場合ニ於テハ政府ノ公債トシテ之ヲ救済シタ、又各有力ナル銀行ガ數十億ノ預金ヲ支拂フ能ハザル場合ニ於テハ財政困難國庫窮乏ノ場合ト雖モ七億萬圓ノ巨額ヲ出シテ之ヲ救済シタ、戰時中滯手デ粟ヲ握ムガ如ク非常ナル利益ヲ得タル船舶業者ニ對シテ歐洲ノ平和克服シ船價慘落收拾スベカラザル場合ニ於テハ、國際汽船會社ニ對シテ三千五百萬圓ノ巨額ノ金ヲ貸付ケ、今ヤ元利一億萬ニ垂ントスルニ拘ラズ、一厘ノ收入ナキ例スラアル、富豪者ニ對シテハ鐵道ニ、製鐵ニ、造船ニ、航海ニ、幾千萬圓ノ補助ヲ爲シツ、アリ、甚シキハ後家婆ニ對シテ四億以上ノ金ヲ貸シタル例スラアル、仍テ少シク一視同仁ノ考ヲ以テ右借錢ヲ全免シテ國ノ食糧ニ工業ノ材料ニ天職ヲ盡ス農家ヲ救済スルハ當然ノ義務ナリト考ヘルガ農林大臣以テ如何トナスカ

喋々ヲ要セズ米一石ニ付テ十圓慘落スレバ六億五千萬圓年利五朱トスレバ

百三十億萬圓ノ國家ノ損害デアアル市中ノ震災ノ損害ノ殆ド三倍ニ近キ農家ノ損害デアアル東京ノ損害ハ地方農民ノ血ト汗トニ依ッテ復興セラレタルモ農ノ號泣ハ政府ノ當局ノ耳ニ入ラズ而モ此米穀法ノ如キハ全ク新規ナル法案ニシテ而モ物價ノ數字ヲ羅列シテ其基礎ヲ立テントスルガ、其運用ノ方法ニ至ッテハ責任アル農林大臣ト雖モ其割出ニ十分辯明シ能ハザル法案デアアル、斯ノ如クシテ一般農家ノ利益ヲ壓迫シテ全ク農村ニ手枷足枷ヲ用ヒル結果トナシ、斯ノ如キ重大ナル法案ハ一朝一夕ニ辯ズベキデナク、畏クモ開院式ノ御勅語ノ御趣旨ニ從ッテ慎重審議ヲシタ上聖旨ニ對ヘ下ハ人民ニ盡スベキ決シテ粗製濫造ヲ以テ農政ヲ誤ルガ如キハ大ニ考慮スベキデアアルと思フガ農林大臣ノ意見如何

○町田國務大臣 多木委員ノ廣汎ニ涉ル御質問デアリマシテ、私ノ御答ガ若シ御氣ニ召サヌヤウデアッタナラバ改メテ御質問ヲ願ヒマス、第一ハ小作法ノ問題デアリマス、此小作法ノ問題ガ分レテ三種トナッテ居リマスガ、朝鮮ニ小作法ヲ施行スルカ否ヤト云フコトガ眞ッ先デアリマシタガ、只今ノ所デハ朝鮮ニ小作法ヲ施行スル考ハ持ッテ居マセヌ、尙ホ今日朝鮮ニ小作法ヲ施行スルノ必要ガ迫ッテ居ラヌ所以ハ、此處ニ

朝鮮總督府ノ實際ノ事情ニ明ルイ政府委員モ居リマスカラ、必要ニ依ッテハ、其方カラ答辯ヲシテ貰フコトニ致シマス

ソレカラ内地ニ於ケル小作法ニ對スル御尋モアリマシタガ、是ハ小作委員會デモ大體申述ベテ置キマシタガ、多木委員御心配ノ如ク、小作法ノ大體ノ趣意ハ長イ我國ノ農村ノ美風ヲ中心トシマシテ、從來ノ慣行ヲ法律ノ上ニ之ヲ規定スルコト云フコトガ主デアリマシテ、是ハ各國ニアル小作權ト云フヤウナモノヲ中心トシタル新シイ歐羅巴ノ思想カラ生レ出シタモノデハ斷ジテアリマセヌ、出來ルダケ從來日本ノ地主小作ノ温情ニ依ッテ、長イ間ノ慣行トナッテ居リマスモノヲ法律ノ成文ニ明カニ規定シテ、近頃盛ニ生ズル所ノ紛議ヲ避ケタイト云フコトガ中心デアリマス、ソレハ小作法ガ制定サレ、バ土地ノ價ガ下リハセヌカト云フ御心配デアリマシタガ、是ハ一ツ小作法ヲ御覽下サレバ、小作人ノ權利ヲ餘程擁護シタ點ガアリマス、言換ヘテ見マスナラバ隨分多數ノ地主ノ中ニハ自分ノ權利ト申シテ宜シイカ、從來ノ慣行ニ違反シテ小作人ノ立場、竝ニ慣行ニ依ッテ長イ間得テ居ル小作人ノ權利ミタヤウナモノヲ顧ミズシテ居ル、左様ナ無慈悲ナル地主ニ對シテ相當ニ之ヲ避ケル、警

戒シテ居ルト同時ニ、地主ノ權利ヲ擁護シテ長イ間小作料モ納メズニ、サウシテ其土地ヲ耕シテ居ルト云フ、隨分理不盡ナル小作人モアリマスカラ、左様ナ場合ニハ地主ヲ擁護スルト云フ、雙方ノ見方カラ出來タ慣行ヲ主トシタルモノデアリマスカラ、ドウゾ其點ハ小作法モ御覽ヲ願ヒ、場合ニ依レバ小作委員會ニ於テ十分申上ゲタイト思ヒマス

其他ノ問題ハ、農政農業全體ニ互ッテ多木君ガ多年ノ御經驗上カラノ御意見御感想ヲ御話ニナリマシタガ、改メテ速記録等ヲ十分拜見致シテ、長イ御經驗カラ出マシタ農業上ノ御意見ニ付キマシテハ、今後施設ヲスルコトニ十分考慮シテ、御意見ノ基ク所ヲ考ヘタイト思ヒマス

ソレカラ外國ニ米ヲ輸出スルコトニ對シテハ、私共相當考ヘテ、日本ノ米ハ優レタル美味ヲ持ッテ居ルノデ、是ハ將來相當ナ販路ヲ擴ゲルコトガ出來ルト思ヒマシテ、先般モ申シマシタ通り、今後ハ年々相當ナ數量ヲ出シテ、世界ノ嗜好ヲ日本米ニ向ケルコトニ骨ヲ折ッテ必ズ努力致シマス、左様致シマス、米ノ餘リマシタ時ハ政府ガ買フトカ云フコトハ無論一方ニ考ヘマスガ、出來ルダケ財政ニ累ヲ來サナイ範圍内ニ於テ米價ノ維持モ出來ヨウト云フ考カ

ラ、御話ノ通り其方ニ努力致シマス
ソレカラ大體ノ方針トシテハ、昨年
ノ大豊作ニ依ッテ御話ノ通り端境期ニ
於ケル殘存米ヲ差引イテ、殘ル五百萬
石位ガ眞ノ剩餘米ト相成ッテ居ル、是ガ
大暴落ヲ來シタ大原因デアリマスガ故
ニ、非常ニ考慮ヲシテ所謂貯藏モ致シ
テ居リマス

ソレカラ多木サンノ御話ノ通り何カ
獎勵金ヲ與ヘテ農家ニ貯藏セシムルト
云フコトガ、米穀法ノ出動ト效果ニ於
テハ同ジコトデアッテ、國庫ノ金ヲ使フ
コトハ少クテ済ムダラウト云フコトハ
私モ同ジコトニ考ヘテ居リマス、實ハ
當年ノ豫算ニモ出シテ見ヨウト云フ考
モアリマシタケレドモ遺憾ナガラ財源
ノ乏シイガ爲ニ出來マセヌデシタガ、此
點ハ私共十分考慮スルコトニ致シマ
ス、併シ豊作ガ二年モ三年モ續ク場合
ヲ想像致シマス、農家ニ貯藏サセル
コトガ二年モ三年モ續イテ、果シテソ
レニ依ッテ米價ヲ維持スルコトガ出來
ルカ否ヤト云フコトニ付テハ、尙ホ相
當考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、
低利資金ノ問題等モ、御話ノ通り半分
ハ低利資金デ半分ハ高イ金デヤッテ居
ル、ソレヲ二ツ合セテ見レバ相當高イ
日歩ヲ拂ッテ居ル、是ハ長イ御經驗カラ
地方ノ事情ヲ御觀察ニナッテ左様ニ御
考ヘニナルノハ御尤デアリマス、私共

モ今後農業金融ニ對シテ産業組合ヲ中
心トシタル農業金融ニ向ッテ非常ナ改
善ヲ致シタイト思ッテ居リマス、政府ノ
低利資金——地方カラ集ッテ來タ低利
資金ハ之ヲ地方ニ還元シテ農村ノ爲メ
ヲ圖ルコトニ努力スルコトハ勿論デア
リマス、幸ニ此席ニハ預金部ノ二十數
億ノ金ヲ取扱ッテ居ル責任者ガ此席ニ
偶然御見エニナッテ居リマスカラ、今ノ
御話ハ預金部長モ十分御聽キニナッテ、
多木君ノ御話ニナッテ農村ノ需要ニ對
シテハ十分考慮ヲ拂ッテ下サルコト、
思ヒマスカラ、今後十分其方ニモ注意
致シマス、詳シイ事ハ、御意見ハ歷トシ
テ速記録ニ載ッテ居リマスカラ——先
年本會議ニ於テモ農村問題ニ對シテ熱
誠ノ長イ御意見ガアッタ時ニモ私共具
サニ速記録ヲ拜見シテ施設ヲ致スコト
ニ非常ニ有力ナル材料ト相成ッテ居リ
マスカラ、今日ノ御議論ニ對シテモ左
様致シタイト思ヒマス

○西村委員長 一寸此際皆様ニ一言申
上ゲテ置キタイト思ヒマス、昨日ハ七
時三十分マデ休憩致シマシテ、七時三
十分ヨリ再開シマシテ本委員會ヲ終了
スル考デアッタノデゴザイマス、所ガ政
友會ノ方ノ院內總務ヨリ致シマシテ、
本夕ハ自分ノ方ニハ各種ノ集會ガアル
カラ、今夕之ヲ繼續セラレルト云フコ
トハ寔ニ困ル、明日ハ午前中ニ必ズ全
責任ヲ以テ本委員會ヲ終了スルヤウニ
スルカラ、假令質問ガ盡キズト雖モ打
切ラレテモ一向差支ナイ、全責任ヲ帶
ビルカラ是非今夜ハ延バシテ吳レ、斯
ウ云フ御話ガアリマシタカラ、私ハ
我黨ノ院內總務ニ其事ヲ通ジマシテ、
院內總務ヨリ政友會ノ院內總務ト話合
ヒマシテ、其結果、全責任ヲ帶ビルカラ
左様ニシテ吳レト斯ウ云フ事デアリマ
シテ、固イ約束ノ下ニ本委員會ハ本日
午前中ヲ以テ終了スルコトニ相成ッテ
居ルノデアリマス、併シソレアルガ故
ニ私ハ敢テ諸君ノ御意見ヲ阻ンデ是非
トモ十二時限リ打切ッテシマハウトハ
考ヘマセヌケレドモ、左様ナ行懸リニ
ナッテ居ルノデアリマスカラ、皆様ニ於
カレマシテモ此意ヲ十分御酌取リ下サ
ッテ、成ベク御質問ナリ、又當局ノ方デ
モ御答辯ヲ簡明ニシテ、其目的ヲ達シ
得ラレルヤウ御配慮アラントヲ御願
ニ致シタイト思フノデアリマス

○東委員 只今ノ委員長ノ御宣告ハ謹
デ敬聽シマシタ、院內總務ガ責任ヲ以
テ今日午前中ニ打切ルト言ウタト云フ
ヤウナ御話デアッタノデアリマスガ、私
ハ其事ハ承ッテ居ラス、明日ハ必ズ如何
ナル事ガアッテモ終了スルト云フ話デ
アッタカラ、ソレデ宜カラウ、何故ナラ
バ何ニシテモ今日ハ税制ノ本會議ヲ二
日ニ繼續スルカラ、ソレデ今晚遅ク徹
夜シテヤルト云フヤウナ必要モナカラ
ウ、又明日ヤルト云フコトニ付テハ、税
制ノ方ガモウ一日殘ッテ居リマスケレ
ドモ、明日ハ各省所管ノ大臣モ必ズシ
モ本會議ニ行カナケレバナラヌト云フ
コトモナイカラ、明日ハ必ズ責任ヲ以
テ打切ル、質問ヲ終了スルト云フコト
デ宜シイカト言フカラ、ソレデ宜シイ
ト云フコトデ承諾シタ、ソレデアアルカ
ラ今若シ質問ガアレバ——ナケレバ私
共ハ一向差支アリマセヌガ、多木君外
出井君モ二三殘ッテ居リマスカラ、願ク
ハ是等ノ質問ヲ終了スルト云フコトダ
ケニハ委員長ハドウカ手加減ヲ願ッテ、
サウシテ快ク質問ヲ終了スルコトヲ希
望シマス、ソレハドウ云フ譯カト言ヘ
バ、午前中ニ質問ヲ打切ル必要ガアル
ナラバ私共強ヒテ異存モ申シマセヌ
ガ、此質問ヲ午前中ニ打切ルト云フコ
トハ左マデノ理由モナカラウ、午後ニ
至レバ大臣モ御出席下サルコトモ出來
ルダラウカラ、午後若シ質問ガ殘レバ
併セテ終了スルヤウニ御取計ヒヲ願ヒ
タイト斯ウ考ヘテ居リマス

○西村委員長 一寸私カラ更ニ申上ゲ
マスガ、今東君ノ御話ニナッタ事ハ、實
ハサウ云フ趣意ヲ籠メテ先ニ御話申上
ゲタ積リデアリマス、約束ハサウ云フ
風ニナッテ居リマス、併シ必ズシモ十二
時ガ來タカラサウ云フ風ニ的確ニヤル

ト云フ考ハ持ッテ居リマセヌガ、サウ云フ申合セガアルカラ、其申合セヲ尊重シテ、成ベク簡明ニ御質問ナリ御答辯アラシコトヲ希望スル、斯ウ云フ事ヲ申上ダタノデアリマス

○多木委員 昨日ノ私ノ質問ニ對シテ、國家ノ上ニモ大問題ト考ヘマスカラ、御答ヲ願ヒマス

○林政府委員 昨日多木サンカラ全羅北道ノ東津水利組合ノ貯水池ヲ利用シテ發起セラレマシタ水力電氣ノ事ニ付テ御尋ガアリマシタ、斯ノ如キハ既設ノ水利組合ニ危険ヲ及ボシ、危害ヲ與ヘルモノデハナイカト云フ事ニ付テノ御質問デアッタノデアリマス、取調ベマシタ概要ニ付テ只今御答申上ゲタイト思ヒマス、御話ノ如クニ蟾津江ノ水ヲ利用致シマシテ一萬五千町歩餘リノ灌漑ヲスルト云フ趣旨ノ下ニ東津水利組合ト云フ土地改良事業ガ計畫セラレマシテ、既ニ工事ガ完了致シテ居ルノデアリマス、然ルニ蟾津江ノ水力ヲ利用致シマシテ發電水力事業ヲ起シタイト云フ出願ガ同時ニ七ツ程出テ居リマシタノデアリマス、然ルニ此發電水力ノ事業ヲ許可致シマスニ付キマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、既ニ水利組合ニ於キマシテ此水力ヲ利用スル設備ヲ完了致シテ居リマスルガ故ニ、既設ノ水利組合ニ危害ヲ與ヘナイト云フコ

トヲ慮リマシテ、水利組合トノ間ニ何等カノ協議ガ纏ラナケレバ許可シ得ナイ、又此水利組合ノ施設ヲ別ニシマシテ新ニ他ノ施設ヲヤラセルト云フコトデアレバ、此發電、水力事業ト云フモノハ收支ノ上カラ算盤ガ採レナイト云フ見地ヲ以チマシテ、總督府デハ極力既設ノ水利組合トノ間ニ協議成立ヲ待ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ七件ノ出願ノ中デ或一ツノ會社ガ水利組合トノ間ニ協議ガ纏マリマシテ、而モ其電力會社ハ發電シマシタ電氣ノ供給方面ニ於キマシテモ相當目鼻ガ付イテ居リマシタガ故ニ、總督府ト致シマシテハ此電氣會社ニ許可ヲ致シマシタ次第デアリマスガ、其場合ニ先程申上ゲマスヤリマシタ事情ヲ考慮致シマシテ、水利組合ノ灌漑ノ上ニ支障ヲ來サナイト云フコトヲ條件ニ致シマシテ、水ヲ引キマス最大ノ量ハ毎秒三百立方尺ト致シマシテ、晝夜平均ガ毎秒百八十六立方尺以内トスルト云フ條件ヲ付ケマシタ、併ナガラ灌漑水ヲ利用シマセヌ場合ハ、季節ニ依リマシテ各、相違ガアリマスガ、大體此貯水池ノ貯水量ハ水位ガ四十尺乃至四十八尺ニ保タナケレバナラシトス様ナ條件ヲ付ケマシテ許可ヲ致シタ次第デアリマスガ故ニ、總督府ノ考ヘテ居リマス所デハ、既設水利組合ニハ危害ヲ及ボサナイト云フコトヲ專

心考慮致シテ、斯ノ如キ條件ヲ付ケテ居リマスカラ、組合ニハ御話ノヤウナ危害ハナイモノト心得テ居リマスガ、尙ホ之ヲ附加ヘマシテ申上ゲテ置キタイコトハ、東津水利組合ノ既設ノ區域ノ下ノ方ニ又更ニ將來水利組合ノ區域ニナシ得ベキ廣イ土地ガアルノデアリマス、是等ノ土地ニ對スル灌漑水ノ狀況モ考慮致シテ、此水利組合ノ末端ノ所ニ百二十町歩程ノ水ヲ溜メテ置キマス待池ヲ更ニ造ルト云フコトヲ條件ニサセタノデアリマス、出來ルダケ此水利組合ノ灌漑ノ上ニ支障ナイト云フコトヲ考慮致シマシテ條件ヲ附ケタ積リデアリマスカラ、總督府ト致シマシテハ、十分此兩方ノ協議ガ纏ッテ、此條件ガ附イテ居リマスカラ、組合ニ危害ヲ及ボスト云フコトハナカラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○多木委員 危害ガナカタナラバ洵ニ結構デアリマスガ、危害ガアルコトヲ私ハ確信シテ居リマス、漸ク水利ガ始マリマシテ昨年マデ三回デアリマス、最初ハ水ガ僅カ三寸カ四寸デアッタ、其水ヲ入レテ見ルト水ガナクナッテシマッテ、植付ニ莫大ナ費用ガ要リマシテ、苦痛ヲ感ジテ居リマス、其次ニ又夏ノ草取ノ大切ナ時ニ、貯水池ニ僅ニ千萬個カ二千萬個シカナイヤウニナッテシマッテ居リマシタ、所ガ漸ク沛然タル

立派ナ雨ガ降リマシテ其危險ヲ免レタノデアリマス、危險千萬ナ事デアリマスカラ、萬一サウ云フ場合ニハ、總督府デハ重大ナ責任ヲ御持チ下サル御考デアリマセウカ、伺ッテ置キタイノデアリマス、一方ニハ水ヲ使用スルコトヲ許シテ、又一方ニハ溜メルコトヲ許シテ、一方ニハ正反對ニ落スコトヲ許ス、而モ遠慮ナシニ言ヒマシタラ、總督府ノ隨分押付ケタ獎勵ニ依リマシテ二十億八千萬ト云フ水ヲ溜メル、ソレニ付テハ豫定ヨリモ年々二百萬圓モ餘計要ッタ譯デアリマス、其利子ダケデモ十四萬圓モ餘計要ルト云フ譯デアアル、然ルニモ拘ラズ七年ノ後ニ四萬五千圓ノ最高ノ補償ヨリ取レナイト云フ譯デ、サウシテ二十一萬個アレバ大抵半分位ノ水ガアル譯デアリマス、一年ニ六十億萬個モ七十億萬個モ水ヲ落ス豫定ノコトニナッテ居リマス、御承知ノ通りニ今日ノ會社ト云フモノハ非常ナ勢力ガアッテ、政府モ動カス力ヲ持ッテ居ル、ドンナ者ガ番ヲシテ居リマシテモ、十億萬個ノ水ガ九億萬個ニナッタカラト云ッテ、十里モ遠方ノ深山幽谷ニ在ルノデアルカラ、誰モ分リハシナイ、危險ガ既ニ迫ッタ時ニハ、時早ヤ遅レテシマッテ居ル、ドウカ之ニ付キマシテハ將來ニ於テ總督府ハ重大ナル責任ヲ持ッテ御貫ヒシタイ、將來ノ水利組合ノ上ニ

於キマシテモ、土地ノ改良ノ上ニ於キマシテモ、重大ナル惡影響ヲ及ボス次第デアリマス、而モ此水利組合ト水電會社トハ正反對ナル利害ヲ異ニシテ居ルニ拘ラズ、非常ナ惡辣ナル猛烈ナル壓迫ニ依ッテ、反對側ノ重立ッテ者ヲ皆株主ニ引入レテヤッタト云フヤウナ譯デアリマス、サウ云フ事實ガアル、而モ此組合ニ付キマシテハ隱スコトノ出來ヌ種々ナル罪惡ヲ——帳簿ニ殘ッテ居ル所ヲ見マシテモ罪惡ヲ貽シテ居ル、ソレモ一向御咎メナクシテ、水利組合ニハ非常ナル損ヲシテ居ル、ソレモ誰モ責任者ガ出テ來ナイト云フヤウナ狀態デアリマス、ドウカ之ニ付キマシテハ總督府ハ飽マデモ重大ナル責任ヲ御持チニナルヤウニ願ヒタイノデアリマカ

○林政府委員 只今モ申上ゲマシタ通りニ、本件ニ付キマシテハモト／＼水利組合ト會社トノ間ノ協定ガ出來マセナケレバ、總督府トシテ此事業ヲ許可スル譯ニハ行カスト云フ方針ヲ執ッタノデアリマスガ、幸ニ多木サンモ能ク御承知ノ通り、色々ノ紛議ハアリマシタガ、會社ト水利組合トノ間ノ協定ガ纏マツタト云フコトデ、總督府ハ道知事ニ對シマシテ認可ヲシテ宜カラウト云フ指令ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、其後ノ實蹟ニ付キマシテノ御話ガアリマシタガ、此事ハ私詳細ニ了承致シマ

セヌガ、總督府ト致シマシテハ技術上ノ立場カシテ、既設ノ水利組合ニ是位ノ條件ヲ附ケテ置ケバ危害ハアルマイト云フ見地デ、實ハ斯ウ云フ條件ヲ附ケサセタヤウナ次第デアリマス、是ガ不十分ト云フ御話デアリマスレバ、更ニ實地ノ狀況ニ鑑ミマシテ、會社トノ間ノ協定ガ變リマスレバ、ソレヲ認可スルコト云フコトハ總督府トシテ當然考慮シテ宜カラウト考ヘルノデアリマス、今迄ノ經緯カラ申上ゲマスレバ、以上御説明申上ゲマシタヤウナ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○出井委員 議事進行ニ付テ委員長並ニ理事各位ノ御苦心ヲ御察シ致シマス、私ハ各位ノ御骨折ノ度ヲ幾分ナリトモ薄メタイ意味ニ於キマシテ、出來得ル限り簡潔ニ質問ヲ進メタイと思ヒマス、唯御諒承ヲ願ヒタイノハ、此問題ハ私共ニ取リマシテハ餘リニ重大ナル問題デアリマス爲ニ、皆様ノ御期待ニ副フコトノ出來ナイヤウナ場合ニナルカモ知レマセヌ、其點ダケヲ一ツ御諒承ヲ願ッテ置キタイと思ヒマス

昨日同僚東郷委員ノ御言葉ニ、農村ノ今日ハ疲弊困憊ト云フ文字デハ完全デハナイ、農村恐慌ト言フベキダト云フ御言葉ガアリマシタ、私ハ心カラ此言葉ニ共鳴致シテ居リマス、其後ノ質

問應答ニ於テ現レマス當局ノ御言葉カラ察シマシテモ、此御言葉ヲ承認サレテ居ルヤウニ想像致シテ居リマス、私ハ此恐慌狀態ニ這入ッテ居リマスル農村、農民ト我國トノ關係ヲ第一ニ考ヘテ見タイと思ヒマス、我ガ農村農民ハ其人口ニ於テ過半數ヲ有シテ居リマス、而シテ我全國民ノ最モ大切ナル食糧ノ生産者デアリマス、殊ニ人口ノ著シキ年々ノ増加ハ、食糧問題ニ付テ非常ナル期待ヲ皆ニ懷カセテ居ルノデアリマス、恐ラク將來此問題ノ解決ハ吾

吾農民ノ手以外ニハ出來ナイト考ヘテ居リマス、更ニ消費ノ方カラ考ヘマシテモ、我國ノ全生産ノ三分ノ一ヲ消費シテ居ルノハ我ガ農民デアリマス、之ヲ國防方面カラ考ヘマシテモ、國防ノ一番大切ナル部分ヲ形造リマスル壯丁ハ、其八分通りハ我ガ農村ノ出身者デアリマス、斯ノ如キ事ヲ綜合致シテ考ヘマスル時ニ、農村ノ恐慌ハ正ニ我帝國ノ恐慌デアルト言ウテモ差支ナイと思ヒマス、私ハ爾ク固ク信ジテ今日ノ狀態ヲ心カラ憂フル者デアリマス

此時此際、我農村ノ死生ヲ扼スル所ノ米穀法改正ニ付テ、當局ハ自カラ根本的改正ナリト名乗テ舉ゲテ吾々ニ今日此法ヲ示サレタノデアリマスルガ、此法律ノ施行ニ依ッテ、現在恐慌ノ狀態ニアル農村ニドレ程ノ利益ヲ與ヘ、ド

レ程ノ救済ヲシ得ルデアリマセウカ、此點簡單デ宜シイノデスカラ承ッテ置キタイと思ヒマス

○町田國務大臣 農村今日ノ疲弊困憊ト申サウカ、只今ハ恐慌ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナッタ、其御心持ハ大體想像ガ出來マス、何レノ言葉デモ、農產物ノ大暴落ニ依ッテ、農家經濟上著シク農家ヲ不利益ナル地位ニ立タシメル狀態デアルコトハ御同感デアリマス、當局トシテモ一昨年以來日夜此事ニ苦心ヲ致シテ居リマス、根本的改正ト云フコトニ付キマシテハ、政友會ノ他ノ委員カラモ、根本的デハナイデヤナイカト云フヤウナ御非難ヲ加ヘタ御質問モアリマシタガ、一昨年來米穀調査委員會ニ於キマシテ、慎重審議シタ結果茲ニ到著シタノデアリマス、或ハ根本的改正ト云フ中ニハ、專賣法、價格公定法ナドト云フ、ヤハリ一種ノ根本改正ト認ムベキ意見モ調査會等ニモアリマシタガ、實行上委員諸君ノ考モ、吾々モ理想トシテハ相當考慮シ得ラル、問題デアアルト云フ點カラ米穀買入、米穀賣渡ノ大體ノ基準ヲ茲ニ發見致シマシテ、之ニ依ッテ出動スルト云フコトヲ國民全體ニ諒解スルヤウニ致シテ置クコトガ、一ツノ大ナル改正トシテ居ル所ニ根本改正ノ趣意ガアルノデアリマ

ス、是ガ根本改正デナイト云フ御議論
モ相當考慮スベキコト、ハ考ヘテ居リ
マスガ、私共ノ努力シタ結果ハ其邊マ
デ參ッテ、相當大ナル改正ガ出來ルコト
ト考ヘテ居リマス、或ハソレハ根本改
正デナイト云フ御議論モアルカモ知レ
マセヌガ、併シ生産費、生計費、竝ニ三
十年間ノ物價ノ趨勢ニ對スル米價ノ趨
勢ノ實際ニ徴シマシテ、之ニ相當重キ
ヲ置イテ得マシタ率勢米價ナルモノ
ハ、農村生産者ノ爲ニモ有利ナ改正ト
考ヘテ居ルノデアリマス、其點ハ東郷君
ヲ初メ先日來屢、御議論ガアリマシタ
カラ、私ノ申上ゲルコトモ先日來申上
ゲタ以上ニハ説明ハ困難デ、御聽ノ通
リノ質問應答デアルト云フコトニ御諒
解ヲ願ヒタイノデアリマス

ソイカラ屢、御意見ガアリマシテ、一
應御尤デアリマスガ、此米穀法ノ改正
ニ依ッテ農村ノ現狀ヲ何處マデ救ヒ得
ラル、カト云フ問題ハ、現實ナル農村
ノ事情ニ見マスルト、米穀法一ツニ依
ッテ相當緩和シ、相當救済ノ働ハ出來ヤ
ウト思ヒマスガ、是ノミニ依ッテ、農家
ノ現狀ヲ著シク緩和シ、救済スルト云
フコトハ此法律一ツデハ參ラヌト思ヒ
マス、故ニ先般申シマシタ通り農業ノ
前途ニ對スル根本的ト申シテ宜シイ
カ、恆久ニ互ッタ種々ナル施設、應急施
設トシテ昨年採リマシテ居リマシタコ

ト、既ニ實行シツ、アルコト更ニ進シ
デハ四十億乃至五十億ト概算セラル、
農家ノ負債ヲ如何ニ整理シ、年々農家
ガ支拂フ所ノ負債ノ利子ヲ如何ニシ
テ輕減シヨウカト云フコトニ、今後大
藏大臣ト協議ヲ致シマシテ、議會終ル
ヲ俟ッテ、此方面ニ向ッテハ努力シ、相當
ノ效果ヲ舉ゲル考ヲ持ッテ居リマス、但
シ農家ノ負債ノ中ニ政府ノ低利資金ニ
依ッテ貸出シタ負債ト、一般銀行機關或
ハ個人ニ依ッテ相當ナ——就中個人等
ノ高イ利息ノ方ヲ相當何等カノ方法ニ
依ッテ輕減スルコトニハ努力致シマス
ガ、政府ノ關スル限リニ於キマスル低
利資金、例ヘバ耕地整理、普通低利資金
等、其他農山村ニ參ッテ居ル低利資金ガ
一億四千萬圓モアリマス、農家今日
ノ現狀ト、農産物ノ暴落シテ居ル今日
ニ見マスレバ、是ガ年賦金ヲ例年ノ通
リ農家ニ支拂ハシムルト云フコトハ、
殆ド見ヤウニ依ッテハ餘リニ同情ガナ
イト非難サル、マデノ農家ノ現狀デア
リマスルガ故ニ、遠カラズ此一億五千
萬圓ト云ヘル低利資金ハ農家ノ負擔ヲ
緩和スル上ニ於テ相當ナル應急の處置
ヲ執ルト云フコトニ考ヘテ居ルコト
ダケヲ一ツ御考慮願ヒタイト思ヒマ

ス
其他或ハ生産費ノ低減ヲ圖ルトカ、
農産物ノ配給ヲ良クシテ、幾分タリト
モ農家ノ今日ノ現狀ヲ緩和シタイト云
フコトニ對シテハ當局トシテハ出來ル
ダケノ努力ヲ致シテ居リマスガ、此米
穀法ノ一ツニ依ッテ、農家ノ現狀ヲ著シ
ク改善スルトカ或ハ著シキ困憊ヲバ緩
和スルト云フコトハ、此米穀法一ツニ
依ッテノミデハ效果ガマダ十分デナイ
ト云フコトダケハ能ク諒解シテ居ルノ
デアリマスルカラ、何等カノ施設モ今
後怠ラズヤル、今日ノ狀態ハ御話ノ通
リ所謂御言葉ニ依ル恐慌狀態デアルト
云フコトヲ能ク諒解致シテ之ニ善處ス
ルコトヲ怠ラヌ積リデアリマス

○出井委員 御話ハ諒承致シマシタケ
レドモ、折角米穀法改正ノ時、而モ此現
狀ヲ目ノアタリ見ツ、改正ヲスルノデ
アリマスカラ、出來得ル限リ此法律施
行ノ效果ガ著シクアルヤウニ御考ヘニ
ナルノガ農村當局ノ私ハ當然ナル責任
デアラダラウト考ヘマス、其責任ノ上
カラ此米穀法ヲ見マスルトキニ、私ハ
大ナル疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、需
給價格ノ上カラ行キマシテモ、是ハ生
産者ト消費者ヲ一樣ニ見テ居ル法律案
デアリマス、隨テ此法律施行ノ結果ハ
非常時デアラウガ、通常時デアラウガ、
消費者ト生産者ガ一樣ナル利益ヲ此法
律ニ依ッテ受ケルノデアリマス、農村ガ
常ニ生存ノ狀態ニ在ルナラバ、而シテ
商工業者ト一樣ナル機會均等ニ浴スル

コトガ出來ル立場ニ居リマスルナラ
バ、斯ノ如キ法律モ或ハ宜イデアリマ
セウケレドモ、常ニ農村ト商工業者ト
ハ社會的ニ政治的ニ差別待遇ヲ受ケテ
居ルノデアリマス、而シテ今日ノ悲慘
ナル狀態ハ不可抗力ガ大部分ヲ占メル
トハ申シナガラ、其處ニハ政治ノ現レ
ガ相當ニ含マレテ居ルノデアリマス、
故ニ此現狀ヲ見テ法律ヲ改正サル、場
合ニ於キマシテハ、何處カニ特別ノ場
合ハ斯ノ如キ事ヲ行フベシト云フ特例
ヲ設ケテ、農村ノ病根ヲ根治トマデハ
行カナクトモ、或ル程度ノ治療ヲスル
デアリマス、更ニ是ハソレニ觸レタ點
ガナイト私ハ考ヘマス、諮問第一號ヲ
見マシテモ或ハ諮問第二號ヲ見マシテ
モ、其説明ノ中ニ今ヤ農民ハ斯ノ如キ
困憊ニ在ル、之ヲ如何ニスベキカト云
フコトハ一ツモナイ、唯需給關係、價格
ノ關係ヲ調節スルノミダト、斯ウ書イ
テアリマス、同ジ立場ニ置イタモノニ
同ジ法律ヲ適用スル、是ハ結構デアリ
マス、既ニ我國ニ於テハ教育ノ劃一主
義ガ教育其モノ、效果ヲ非常ニ薄メテ
居ルト云フノデ、所在カラ議論ガ出テ
居ルノデアリマス、此法律ハ結局生産
者ト消費者ヲ一樣ニ見、而シテ各國務
大臣其仕事ノ上カラ言ヒマスト可ナリ
不公平ナ事ヲヤッテ居リマス、疏安ガ安

クナッダラ直グニ之ヲ或ル程度マデ高クシヨウト言フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、斯ウ云フ事ガ所在ニ行ハレテ、サウシテ其ドン詰リハ皆農村農民ガ犧牲者トナッテ居ルノデアリマス、此法律ノ施行ノ結果ハ、益々農民ヲ苦痛ノ地位ニ追込メバトテ、之ニ依ッテ農民ガ救済サレル所ハ更ニ無イト思フ、隨テ農林大臣ト致シマシテハ、直接農村農民ノ爲ニ施設經營ヲスベキモノヲ、商工大臣若クハ其他ノ方面ノ人々ノ範圍ニマデ足ヲ踏入レテ、此法律ヲ作ッテ居ルト云フ事ガ私ハ言ヒ得ルノデナйкаト思ヒマス、諮問第二號ハ昭和五年十月九日ニ米穀調査會ニ御提出ニナッテ居ルヤウデアリマス、此時ハ農村ハ蔬菜園藝類ノ暴落ニ依リ、春蠶、秋蠶、晚秋蠶ノ暴落ニ依テ、可ナリヒドイ打撃ヲ被ッテ居ルノデアリマス、取レマス米ハ不作デアラウガ豐作デアラウガ、普通ヨリモ相場ガ安クナルト云フ事ダケハ明カニナッテ居ル、農村ハ此時ハヒドイ状態ニナッテ居ルノデアリマスカラ、少クトモ農林大臣ノ立場カラ行ケバ、此米穀法ヲ改正スル時ニ、諮問第三號ナリ何ナリト云フ名目ノ下ニ、此農村ノ困憊ヲ如何ニシテ米穀法ノ調和ニ依ッテ救フコトヲ得ベキカト云フ事ガ、諮問ノ中ニ加ハラナイト云フコトハ、甚シク不親切ノ事デヤナイカト思フ、斯ウ

考ヘルノデアリマシテ、根本的ニ此法律ハ消費者ト生産者ヲ一樣ニ見テ居ルノデアリマシテ、サウシテ農民ト云フモノハ他ノ商工業者ニ較ベテハ、總テノ點ニ於テ不利益ヲ被ッテ居ルノデアリマスカラ、兩方ヲ一樣ニ見テ法律ヲ適用シテ居レバ、常ニ農民ハ不利益ヲ被ッテシマフ、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス、私ハサウ考ヘテ居リマスガ、當局ノ御意見ハドシナモノデアリマスカ

イデ居リマスノハ、朝鮮、臺灣ノ事情モ變リ、人口食糧問題ノ總テノ事情ガ十年以來著シク變化シテ居ル、十年ニ立テマシタ米穀法デハ效果ガ十分デナイト思フカラ、之ヲ根本的ノ改正ヲシ、同時ニ米穀特別會計ノ現狀ハ極メテ米穀法運用ノ上ニ支障ヲ來シテ居ルカラ、併セテ是モ改正スルヤウニト云フ所謂根本的改正ノ諮問案デアッタガ、實際ハ相當努力シマシタ、又委員諸君モ前内閣ニ於テ任命サレタ委員ヲ中心トシテ盛ニ審議ヲ致シマシタガ、御不満足デアルカモ知レマセヌガ、其答申案ハ斯様ニ相成ッタノデアリマス、ソコデ御話ノ生産者ヲ消費者ト同様ニ見テ、生産者ノ方ヲ重ク見ナイヤウニ此法律ガ見エルト云フヤウナ御意見デアリマス、左様ナ御意見モ或ハ立テ得ラレルカモ知レマセヌ、今日ノ現狀カラ此法律ヲ御覽ナサルト左様ナ御意見モ或ハ出ルカモ知レマセヌ、今日ノ現狀ヲ基トシテ顧ミテ根本的改正ト申ス此法律ヲ見マスト、左様ナ御考ガ出得ラレルコトモアリ得ルト思フノデアリマス、併シ是ハ百年ニ渉ル根本改正ト致シマシテ、今後長イ間規定ニ依ッテ運用スルト云フ長イ眼カラ一ツ御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ屢申シテ居リマシガ、三十數年間ノ一般物價趨勢ニ依ッテ米穀法ガ發動スル意見ガ委員ニモアリ

マシタガ、其意見デ參リマスト今ノ御質問ノ如キハ一層強イ御非難ヲ受ケルノデアリマセウ、屢申シマシタ通り三十年間ノ經驗ニ依リマシテモ、一般物價指數ノ平均ヨリモ米價ノ趨勢ハ著シク高イ地位ニ在ルト云フコトヲ、此米穀法ニハ相當重ク考慮シテ居ルガ、其基準ノ一ツニ入ルト云フマデニハ我國ノ人口ノ過半ヲ占メテ居リ食糧人口問題ノ解決ニ對スル重要ナル職能ヲ有ッテ居ル農家ノ立場モ私共ハ相當重ク考慮シテ、先日來御話ノアッタ通り米價ノ「ウエート」ヲ加ヘタモノヲ以テ算出致シ、生産者ノ立場ヲ考ヘタノデアリマス、尙屢御議論ノアリマスノハ、數年ト申シテ宜シイカ、一兩年ト申シテ宜シイカ、年限ハ私ハ責任ヲ以テハキリト申ス譯ニハ參ラヌガ、斯様ナ事ハ責任ヲ以テ申シテ居ルノデアリマシ、出來ルダケ早ク生産費ノ相當信賴シ得ベキ材料ニ依ッテ生産費ノ見出し方ヲ致シテ、之ニ依ッテ率勢米價下値ニ割トノ間ニ按排ヲスル、ソレニ依ッテ緩和ハ出來ヨウ、現狀ヲ以テ見マスト率勢米價下値ニ割ニ較ベテハ米價ノ生産費ハ高イデハナイカ、モット多ク生産費ガ掛ッテ居ル、ソレヲ率勢米價一本デヤルノハ、就中農家ノ困憊甚シキ今日ニ於テハ、實際ノ解決スル方法トシテハ頗ル迂遠デアアル、或ハ農家ニ不利益デア

○町田國務大臣 過日モ私感想トシテ御同感デアルト云フコトヲ申述ベタノデアリマス、農家ノ現狀カラ見マスルト實ニ悲慘ヲ極メテ、當局トシテハ日夜之ニ對スル應急施設ヲ考ヘ、既ニ實行シタモノモアリ、今後實行セントシテ考ヘテ居ル施設モアリマス、主トシテ農村今日ノ現狀ニ對シテ、出來ルダケ緩和シ之ヲ救済スルコトノ施設ハ怠リマセヌ、御話ノ農家ノ現狀ヲ一方考慮シテ、米穀法ヲ改正スル時ニハ、此現狀ニ即シテ考ヘル事ガ必要デアッタニ拘ラズ、諮問案第三號トシテ斯様ナ事ハ何モ言ウテ居ラヌノハ責任上如何デアラウカト云フ、農家ノ現狀ニ顧ミラレテ、農家救済ノ御誠意ノ現レガ、今ノ御質問トナッタ御趣意ノヤウニ了承シマス、唯此處デ御承知ヲ願ヒタイノハ、前内閣ノ時ニ諮問案ヲ出サレテソレヲ引繼

閣ニ於テ任命サレタ委員ヲ中心トシテ盛ニ審議ヲ致シマシタガ、御不満足デアルカモ知レマセヌガ、其答申案ハ斯様ニ相成ッタノデアリマス、ソコデ御話ノ生産者ヲ消費者ト同様ニ見テ、生産者ノ方ヲ重ク見ナイヤウニ此法律ガ見エルト云フヤウナ御意見デアリマス、左様ナ御意見モ或ハ立テ得ラレルカモ知レマセヌ、今日ノ現狀カラ此法律ヲ御覽ナサルト左様ナ御意見モ或ハ出ルカモ知レマセヌ、今日ノ現狀ヲ基トシテ顧ミテ根本的改正ト申ス此法律ヲ見マスト、左様ナ御考ガ出得ラレルコトモアリ得ルト思フノデアリマス、併シ是ハ百年ニ渉ル根本改正ト致シマシテ、今後長イ間規定ニ依ッテ運用スルト云フ長イ眼カラ一ツ御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ屢申シテ居リマシガ、三十數年間ノ一般物價趨勢ニ依ッテ米穀法ガ發動スル意見ガ委員ニモアリ

ルト云フ御觀察ノアルコトハ私モ能ク
承知シテ居リマス、故ニ屢言明致シマ
シタ通り、出來ルダケ早ク此生産費ノ
調査ヲ進メマシテ、率勢米價下値ニ割
ト生産費ノ間ニ隔リガ假ニアルトシマ
スト、今日ノ狀態デハ米穀委員會モ相
當生産費ヲ重ク考慮致シテ、農家ノ困
憊ヲ緩和スル方針ニ出ルコト、私ハ確
信致シマス、ドウゾ此邊デ御諒解ヲ戴
キタイト思ヒマス

○出井委員

是ハ農村ノ狀態ヲ詳細ニ
御諒解ニナッテ居ラナイ所カラ生ズル
誤リデハナイカト私ハ想像致スノデア
リマスガ、農村ノ狀態ヲ詳細ニ申上ゲ
ル時間ヲ持タナイコトヲ残念ニ思ヒマ
ス、此農村不振ト云フ聲ハ昨今始タノ
デハアリマセヌ、商工業者ニ較ベテ農
村ハイツノ時ニ於テモ最モ遅レテ居ル
モノデアリマス、殊ニ我國ノ農村ハ明
治ノ中世期カラ不振ノ狀況ニ這入ッテ、
引續イテ今日マデ來タノデス、昨年ノ
物價大暴落、大豐作ガナクモ農村ハ
可ナリ疲弊困憊ヲシテ居ルノデス、故
ニ今日ノ爲政者トシテハ農村ヲ所謂慢
性的疾患ト、特ニ物價暴落ニ依ル急性
的疾患ノ二ツノ疾患ニ區別シテ考ヘナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、此
二ツノ病氣トシテ見テ此法律ヲ適用シ
テ、ドッチノ病氣ニドレダケノ效果ガア
ルカト云フコトヲ考ヘル時ニ、此法律

ハ急性ノ病氣ニモ亦慢性ノ病氣ニモチ
ツトモ效力ガナイ、斯ウ私ハ考ヘルノデ
アリマス、殊ニ生産費ト云フモノヲ何
處ニキメテ宜イカ分ラナイ上ニ、此法
律ノ適用ガ效果ガアルカノ如ク想像ス
ル人モアリマセウケレドモ、若シ生産
費ガ正確ニ分ッテ、此率勢米價ト云フモ
ノガ生産費ヨリ下、若クハ生産費ト一
樣デアッタト考ヘル時ニ、ソレハ非常ナ
ル問題ガ生ジテ來ルダラウト思ヒマ
ス、是ハ農林當局ハ十分御承知ダラウ
ト思ヒマスケレドモ、農村ガ慢性的ニ
ナゼ困憊スルダラウカト云フコトノ吾
々ノ研究——是ハ既ニ公ニ發表シタコ
トモアルノデアリマスカラ、多分御承
知ダラウト思ヒマスガ、簡略ニソレヲ
述ベテ見タイト思フノデアリマス

農村ガ困難ナル狀態ニ置カレルノハ
複式農業カラ單式ニナッタト云フコト
ガ、先ヅ第一ノ理由デアルト思ヒマス、
農村ハ幾年カ前ニ於テハ自給自足デア
ッタノデアリマス、米ガ安カラウガ高カ
ラウガ、痛痒關セズ焉トハ言ヒマセヌ
ケレドモ、ソレナニ苦痛デハナカッタ、
ソレナニ酷イ目ニ會ハナクテモ宜カッ
タ、現ニ明治七八年頃ハ一石五圓位ノ
時ガアッタノデアリマス、ソレデモ其時
分ノ農村ノ悲痛ノ叫ビハ今日ノヤウナ
程デハナカッタ、ナゼサウデアッタカト
申シマスト支出スベキモノガ少イ、サ

ウシテ一切ノモノハ殆ド自給自足デア
ッタ、其複式農業ノ方面ノモノガ總テ取
去ラレテ——ソレハ地ノ利ト其土地ニ
依ッテ色々違ヒマスケレドモ、先ヅ原則
トシテ今日ハ養蠶ト米ノ二ツニ限ラレ
テ居ルノデアリマス、故ニ農民ハ實際
ノ生活ヲ此米ト或ハ養蠶ト云フモノデ
ヤッテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコ
トニナルノデアアル、此養蠶ガ暴落シ、
……米ガ非常ニ安クナッテ、……是ガ生
産費位デ賣レテ行ッタノデハドウシテ
モ農村ハ立チヤウガアリマスマイ、若
シ米ガ生産費デ賣レタトシテ、茲ニ假
リニ親子五人デ生活スルモノガアッテ、
二人ノ夫婦ガ完全ニ働イテ三人ノ子ヲ
養ッテ行クトシテ、若シ一年ニ五石若ク
ハ十石ノ米ヲ獲ッテ、食ッタ殘ヲ生産費
以下ニ賣ッテドウシテ生活ガ出來マス
カ、之ニ反シテ商工業者ト云フモノハ
自分ガ造ッタモノヲ五倍デモ十倍デモ、
相手方ノ無智ニ乗ジテハ制限ナシニ高
ク賣ル、茲ニ農村ガ自然々々ニ複式ガ
單式ニナッタ、單式ニナレバナナル程其生
産シタ價格ハ高クナッテ行カナケレバ
ナラナイ、率勢米價ノ示ス一割三分ヤ
二割デハ生活出來ルモノデアリマセ
ヌ、是ガ原因デ百姓ハ苦シミツ、アル
ノデス

更ニ吾々ハ物ヲ賣リ、物ヲ買フ關係
ニ於テ可ナリヒドイ目ニ遭ッテ居ル、今
ノ言葉デ言ヘバ、吾々ハ商工業者ノ搾
取ニ遭ッテ居ルトモ言ヒマセウカ、米ヲ
賣リ、繭ヲ賣ルニ付テモ、其處ニ賣ル者
ノ意思ヲ加ヘテ、是ダケデナケレバ賣
ラヌト云フヤウナコトハ出來ナイ、相
手方ノ相場ニ依ッテ賣ッテ行カナケレバ
ナラナイト云フ狀態ニ置カレテ居ル、
而シテ買フ物ハドウデアアルカト云ヘ
バ、向フノ言フ通りニ買ッテ行カナケレ
バナラヌ、吾々ガドウ位高イ物ヲ買ッテ
居ルカト云フト、近頃不景氣ニナリマ
シテ、著シクソレガ分ッタノデアリマ
スケレドモ、自轉車ノヤウナモノヲ
考ヘマス、先ヅ二十五圓デ出來ル
物ガ百圓位デ吾々ノ手ニ這入ッテ、即
チ製造家ガ儲ケ、商人ガ儲ケル、此恐
ルベキ事柄ハ吾々ガ日用必要デアル總
テノ物ニ行ハレテ居ル、米ガ高クナッ
ト云フ場合ニハ、或ハ暴利令ト云フモ
ノデ取締ルコトガ出來ルカモ知レマセ
ヌガ、自轉車ガ高ク賣ラレタト云フテ
暴利取締令ハ未ダ行ハレテ居ラナイヤ
ウデアリマス、コ、デ遠慮ナク吾々農
民ハ搾取ノ狀態ニ置カレテ居ルノデア
リマス、是ガ農民ノ疲弊困憊スル第二
ト見テ宜カラウト思フ

第三ハ……(ソレナ事ヲ知ラナイ議
員ハナイト呼フ者アリ)ソレハサウデ
セウ、ケレドモ申上ゲル必要ガアラウ
ト思ヒマス、其次ニハ負擔ノ關係デス、

所謂公租公課ノ關係デス、是ハ處ニ依ッテ幾ラカ違ヒマセウケレドモ、吾々ノ一番近イ所ノ調ニ依リマス、地價ノ五十圓致シテ居リマスル田ト自作貸付ノ關係ト、營業收益稅トノ兩方トモ收入ガ百圓ニナルコトニ付テノ比較研究ヲ致シマス、商工業者ノ營業者ノ方ガ六・三五、自作農ニ於テ二五、貸付地主ニ至リマシテハ五〇・ト云フモノガ出テ居ル、公租公課ノ關係ニ於キマシテハ斯ノ如ク非常ナル不公平ガ行ハレテ居ルノデアリマス、今度ノ地租法ノ改正ニ依リマシテハ、土地ニ對スル負擔ハ其間ニ於テ或ル程度マデ緩和サレマスケレドモ、商工業者ト土地ヲ中心ニスル農民トノ負擔關係ヲ調べマス

タガ廣ク御論辯ニナリマスレバ中々一日二日シテモアナタノ深遠ナル蘊蓄ヲ御述ニナルコトハ容易デナイト思ヒマス、ソレデ曩ニ申上ゲタ通りデアリマスカラ、本問題ニ直接シタ事ヲ御述ニナランコトヲ初望致シマス

○胎中委員 長クハナイサウデス、ドノ委員カラモ出テ居リマセヌ實ニ根幹ニ觸レタ問題デアッテ、非常ニ農村デ作ル米トハ關係ガアリマス、是ガ若シ長クナレバ兎角、私共ハ傾聽シテ居ル、恐ラク委員諸君モサウデアラウト思ヒマスカラ其點ハ御寛容ヲ願ヒタイ、當人モ長クナイ、一應デ宜イト云フコトデアリマスカラドウソ一ツ……

○井出委員 斯ウ云フ事ヲ申上ゲル積リハナイケレドモ、之ヲ申上ゲナケレバ米價ト云フモノ、標準ヲ定メルコトハ出來ナイノデアルカラ私ハ申上ゲル、此補助金ト云フモノガ生徒ノ數ト、教員ノ數ト、財源ノ少ナイ處デハ、ドウシテモ准教員代用教員ヲ使ハナケレバナラヌ狀態ニナル、生徒ノ多イ處ハ正教員ガ多イ、茲ニ於テ政府カラ出ス八千五百萬圓モ財源ノ得ラレル處ニハ餘計ニ這入ルコトニナリマシテ、ドウシテモ農村ハ疲弊シナケレバナラヌ狀態ニナッテ居ル、此農村ノ疲弊ヲドウシテ救フカト云ヘバ、今日ノ所ハドウシテモ主產物デアル米ト繭ヲ高ク賣ッテ行ク

係ガ生ジラ來ルノデアリマス、田舎ニ於キマシテモ、千戸ナリ、二千戸ナリ、三千戸ナリノ市街地區ハ雜種稅ニ於テ相當ナル收入ガアル、農村ニチットモナイモノデ町ト云フ所ニハ收入ガアル、ドウ云フ收入ガアルカト云ヒマス、近頃發達シテ來マシタ自動車ナゾト云フモノハ農村ニ於テ一ツデモアリマセヌ、市街ニ於テハ自動車ノ營業所ガアルト云フノデ、茲ニ雜種稅ガ出テ居ル、サウシテ其附加稅ヲ取ルコトガ出來ル、或ハ何々銀行ガアルト、此處ニ營業稅ヲ課ケテ、其町村ハ附加稅ト云フモノガ取レル、或ハ藝者、酌婦ト云フモノガアッテ、其雜種稅ニ附加稅ヲ課ケテ町ノ收入ヲ圖ルト云フコトガ出來ル、或ハ電燈會社ノ營業所ガアッテ、之ニ賦課シテ取レル、是等ノモノハ農村ニハ一ツモナイ、隨テ純農村ト小市街地トヲ比較致シマス、其處ニ非常ナ財源ノ力ガ違フノデス、其財源ノ違フ結果トシテ何モノガ生ジテ來ルカト云フト、又茲ニ非常ナル違ガ出來テ來ル、例ヘバ今日補助サレテ居リマス八千五百萬圓ノ教育費補助ノ分配方ト云フモノハ……

ヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フ事ニナル、ソレデアリマスカラ是等ノモノヲ商工業者ト一様ノ立場ニ置キ、市街地ト農村ヲ一様ナル負擔ノ關係ニ置キ、商工資本ト云フモノト土地ト云フモノヲ同ジヤウナ負擔ノ立場ニ置イテコソ、初メテ商工業者ト農民トガ並行シテ行クノデアリマスガ、茲ニ總テノ方面カラ農民ハ犧牲ヲ拂ッテ居ル故ニ、是ハ農村ノ振興トカ何トカ云フ問題カラ言ヘバ、農林省一ツニ御願スル譯ニハ行カヌ、大藏省モ、商工省モ、或ハ陸軍省モ文部省モ、總テノ人々ガ本當ニ農村ヲ理解スルコトニ依ッテ、初メテ茲ニ農村ノ基礎ヲ確立スルヤウナコトガ出來ルノデアリマスガ、差詰メ外人々々ハ更ニ同情シテ呉レナイ、例ヘバ大藏大臣ト致シマシテモ、特別會計ト云フモノハ財源ガナイカラ出來ナイ、商工省デハ疏安ガ安クナリサウダカラ、之ヲ幾ラカ高クシテ置カウ、農村ガ困ッテ居ルカラ陸軍省デハ青年訓練ノ爲ニ補助金ヲ餘計出シテヤラウト考ヘテモ居ラナイ、其補ヒハドウシテモ主產物デアル米ヲ高ク賣リ繭ヲ高ク賣ッテ吾々ハ生活シテ行クヨリ仕方ガナイ、斯ウ考ヘル時ニ此有利ノ地位ニアル所ノ消費者ト、吾々不利ノ地位ニ置カレル所ノ農民ト、一樣ニ取扱ハレル所ノ此法律デハ、吾々ハ益々苦シメラレルトモ活ル途ハ

ニスル農民トノ負擔關係ヲ調べマス
ト、チットモ緩和サレテ居ナイ、是ハ私
ノ方ノ縣ノ現レデアリマスカラ申上ゲ
テハ恐縮千萬デアリマスガ、斯ウ云フ
コトニナッテ居ル、商工業者ノ生産サレ
ル金額ハ縣下全體ニ於テ百分率ニシテ
五十九デアリマス、吾々農村ノ生産額
ノ合計ハ四十一デアリマス、サウシテ
之ヲ負擔關係カラ行キマス云フト、
吾々ノ負擔スベキモノガ八十二、商工
業者ノ負擔スル所ノ公課ト云フモノハ
十八デアアル、他方稅ノ現レニ於テハ斯
ノ如ク非常ナル差ガアル、更ニ之ヲ個
個ノ町村ト云フ上ニ於テ調べテ見マス
ト、地方稅ナドニ於テ實ニ非常ナル關

○西村委員長 甚ダ失禮デスガ一寸一
言申上ゲマス、本委員會ハ申ス迄モナ
ク米價對策ニ關スル根本法律ニ關スル
委員會デアリマシテ、農村問題ヲアナ

ナイ、故ニ此法律適用ハ之ヲ使用スレバスル程、私共ハ現在ノヤウニ總テノ關係ガ同ジ狀態ニ置カレル以上ハ、吾等農村ハ立行カナクナツテシマフ、假ニ此法ヲ總テ認メルトシテ、率勢米價ノ二割以上ニハ米ヲ賣ルコトガ出來ナイト云ツテ上値ヲ止メラレテシマッタ日ニハ、ドウ仕様モナイ、是ハ二割デモ三割デモ丁度商工業者ガ己ノ作ッタ物ヲ四割、五割デ賣レルノト一樣ニシナケレバ、ドウモ仕標ガナイ、此法律ハ將來農民ノ利益ヲ或程度マデ制限スルト云フ狀態ニ見エルノデアルカラ、此農民ノ狀態ヲ一切農林省ノ力ニ依ツテ、他人々ト同ジヤウニ出來ルナラバ兎ニ角、殊ニ資金ノ關係ニ於キマシテモ私ハサウ思フ、資金ハ商、工、農トモ一樣ニ貸シテ居ルノデアリマスガ、利息ハ吾々農民ト商工業者トハ一樣ニハ行キマセヌ、何トナレバ商人ハ一年ニ五回モ十回モ資本ヲ廻轉シマスガ、吾々農民ノ資本ハ借入レタガ最後、一年ニ一回シカ働カナイ、デアルカラ五分ノ利息ハ五分デ拂ハナケレバナラス、商人ハ十回モ十二回モ働カセルコトガ出來マスカラ、五分ノ利息デ借リテモ、一箇月ニ一分宛生ミ出スコトガ出來ル、商工業者ハ總テサウ云フ利益ノ立場ニアッテ、吾々ハ不知不識一樣ニ五分ノ利息ヲ拂ッテ居ルノデ、此競争場裏ニ敗北者トナラナケレバナラス、斯ウ云フ點カラ、總テノ方面ニ於テ吾々農民ガ不利益ノ地位ニ置カレルノデアリマス、此點ヲハッキリト見詰メテ、サウシテ利害關係ヲ取捨シテ法律ヲ作ラレルノデナケレバ、私共ハドウ仕様モナイと思フ、此點カラ行キマシテ、私ハ此擧取ノ狀態、若クハ負擔過重ノ狀態ト云フモノヲ、農林大臣ノ手ニ依ツテ取除ケテ貰フハ考ヘマセヌケレドモ、ソレガ取除ケラレナイ中ニハ、吾々ノ主產物デアル米ノ價ト繭ノ價ト云フモノデ或程度マデ之ヲ補ツテ、其不足ノ部分ハ他ノ施設經營ニ依ツテヤッテ行クト云フコトデナケレバ、ドウ仕様モナイと思フノデアリマス、吾々農村ノ負債ガ四十億乃至五十億アルト言ヒマスケレドモ、若シ吾々農家ガ三十年、四十年前ノ狀態ニ遡ツテ、煙草ハ自家デ必要ナ物ハ作ッテモ宜イト云フコトニナリマスレバ、五百五十萬戸ノ農家ガ自家用ノ煙草デ濟マスヤウナコトニナレバ、恐ラク是ハ實ニ大ナル金額デアルト私ハ思ヒマス、煙草ハ專賣ニナリマシテカラ、今日ハ三十年位經チマセウ、一年間ニ一戸デ煙草ヲドノ位使ヒマスカ、先ヅ吾々ノ見タ所デハ、相當ノ家デハ四十圓乃至五十圓位ノ煙草ハ消費スルドラウト思ヒマス、ソレ位ノ煙草ハ凡ソ五坪ノ面積ガアレバ百姓ニハ出來得ルノデア

リマス、此事ヲ考ヘル時ニ吾々農村ノ生活ノ上カラ煙草ノ自家用ヲ許サレテ、一戸當リ二十圓宛節約スルコトガ出來ルト考ヘタナラバ、五百五十萬戸ノ中、三百萬戸ガソレヲ許サレルトシテモ、大シタモノデアアル、二十圓宛ニスレバ幾ラニナリマス、三百萬戸ト云ヘバ六千萬圓ニナリマセウ、今ノ四十億ヤ五十億ノ借金ナドハ何デモナイ、或ハ自家用ノ酒ヲ許サレルコトニナレバ一年ニ一戸ニ於テ十圓十五圓ノ節約ヲ行フコトハ何デモナイ、私ハ斯ノ如キ事ガ行ハルレバ農村ノ救済ト云フモノハ、非常ニ旨ク行ハレルノデハナイカトモ考ヘル位デアリマス、吾々農家ハ斯ノ如キ擧取ノ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス、此狀態ヲ安全ノ地位ニ保ツコトガ出來ナイナラバ、其補償ノ意味ニ於テ、吾々ノ主產物デアル米ノ相場ハ或程度マデ高メナケレバナラナイ、之ヲ高メナケレバ、全ク農村ハ此狀態デ行ケバ廢滅デアリマス此點ニ付テ農林大臣ハドンナ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、御意見ヲ伺ヒタイ

○町田國務大臣 只今ノ御意見ヲ兼ネテ御質問ニ對シテ大體ニ於テハ私モ同様に感シテ居リマス、多年ニ互々テ農村問題ノ實際ヲ御研究ニナッタ御意見ト考ヘマシテ、私モ深く傾聴致シテ居リマス、農村問題ノ實狀ハ御話ノ

通リト思ヒマス、唯米穀法ニ關スル限リハ、相當生産者ノ立場ヲ重ク考慮シテ居ル、率勢米價竝ニ、モウ一ツハ是ハ肝腎ナ問題デゴザイマセウガ、效果ガドレ程アルトマデハ私ハ申サレマセヌ、私共ハ生産者ノ立場ヲ餘程考慮シタト云フ一事ガ米穀法ニ於テ現レテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、今後率勢米價竝ニ生産費、生計費、此三ツヲ基準トシテ働キマス場合、政府ガ米ヲ賣出スト云フ場合、米穀法出動ノ際ニハ家計費ヲ調査シテ、ソレニ依ツテ、率勢米價ノ上値二割ト相比ベテ、出動ノ場合ヲ考慮致シマスル時ニモ、先般農務局長、米穀課長ヨリ實際ノ計算ノ場合ノ事ヲ申上ゲマシタガ、家計費ニ依テ得タル米價ガ假ニ四十圓ト出ルト致シマシタ時ニハ、私共ノ立方ハ、之ニ副產物ノ費用、交際費等ヲ幾分米價ニ加ヘテ考ヘテ見テモ是ガ爲ニ消費者ノ生計ヲ著シク脅威スルコトハナイト云フヤウナ考慮ヲ加ヘマシテ、政府ガ米ヲ賣出ス場合、米穀法ノ出動スル場合、相當生産者ヲ重ク考ヘテ、左様ナ一ツノ條件ヲ附シテ計算致シテ居ルノデアリマス、生産者ノ場合ニハ左様ナ條件ハアリマセヌ、下値二割ト云フコトノ基準ト生産費トノ二ツヲ以テ出動ノ場合ヲ考ヘマスケレバ、其下値二割ト云フ場合ニ、更ニソレニ向ッテ何等カラ加ヘ

テ、モウ少し下ッテモ宜シイト云フ考ハ
此法律ニナイノデアリマスガ、御承知
ノ通り生計費ヲ基礎トシテ、政府ガ米
ヲ賣リマスル場合ニハ、家計費ニ依ッテ
得タル米價ニ向ッテ、更ニ生計費ノ中ノ
副産物、交際費等ノ相當之ヲ儉約サシ
テモ、消費者ノ生活ヲ脅カサヌト云フ
程度ダケハ之ニ加ヘテ、直チニ出動ス
ルノデナイト云フ箇條ノアルコト位
ハ、相當感ジノ上デ——效果ガドレ程
アルト云フ分量ハ申サレマセヌガ、心
理的ニハ生産者ニ相當考慮ヲ加ヘテ居
ルト云フ、吾々ノ苦心ダケハ御諒知ヲ
願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ多角農
業、單一農業ニ依ッテ生ズル弊害ハ私共
ハ能ク承知シテ居リマス、何トカシナ
ケレバナラヌト思ヒマシテ、大シタ金
額デハアリマセヌガ、年々從來歷代ノ
内閣ガ副業獎勵ヲヤッテ居リマス、昨年
ノ統計ハマダ分リマセヌ、併シ一昨年
ノ統計ニ依リマスルト、農家ノ副業ト
シテ生産セラレタモノヲ、價格ニ積ル
ト、九億乃至十億ニ達シテ居ルト思ヒ
マス、例ヘバ御話ノ通り米、養蠶、此二
ツハ重要ナル農家ノ生産物デアリマシ
テ、此價格モ米ヲ六千萬石トシ、繭ヲ假
ニ平均一億萬貫ト致シマスルト、平均
シタ相場ニ依ッテ見マスルト、茲ニ三十
億、若クハ二十七億ト云フ價格ガ出
マセウト思ヒマス、其細カイ數字ハ或
ハ誤算ガアルカト思ヒマスガ、私ノ頭
ノ中ニアル計數ハ左様ナコトニナリマ
ス、又蔬菜色々ナモノヲ合セマス、
一昨年ハ三十六億ニ達シテ居リマ
ス、併シ一昨年ノ計數ニ於キマシテモ、
所謂副産物ト稱スルモノニ依ル農家ノ
收入ハ約十億位ニ達シテ居ルト思ヒマ
ス、是ハ御話ノ通り、一層獎勵シテ多角
農業ニ致シテ、其施設ヲ怠ラヌヤウニ
致スコトハ勿論デアリマス、此度ノ七
千萬圓ノ低利資金ナドハ色々御議論
モアリマスガ、副業獎勵ノ爲ニ相當出
シテ居リマシテ、私共ノ期待ハ之ニ依
ッテ農家ニ恆ノ産、恆ノ職業ヲ得セシム
ル結果ト相成リ、相當ノ人間ノ數モ之
ニ認メテ居リマス

今ノ農家ノ負擔、地方小都會ト、比較
シテ純農村ニ於ケル課税課目ガ少イ爲
ニ——商工業ガ相當アル所ノ小都會ニ
比スレバ、農村ニ於テハ課税スベキ種
類ガ少イ爲ニ、負擔ガ比較的少イト云
フ實情ニ對シテハ、私モ左様デアラウ
ト思ヒマス、是等ニ對シテハ、一面政府
ト云ハズ、町村府縣ノ自治體等モ相當
考慮シテ、成ベク農村ノ負擔ヲ減少ス
ベク大體ノ政策ヲ執ッテ貫フコトヲ希
望スルト同時ニ、私ノ關スル限リニ於
キマシテハ、御話ノ通り中途ニ於テ商
工業者ノ爲ニ農家ノ利益ヲ搾取セラル
ルト云フ此點ハ御同感デアリマスルガ
故ニ、此度ノ豫算ニ於キマシテモ、所謂
農産物配給改善ノ爲ニ新經費ヲ計上致
シテ居リマス、此費用モ十分デアリマ
セヌ、併シ一切ノ新經費ヲ出サナイト
云フ大體ノ方針ノ下ニ豫算ヲ編成致シ
マシタモノ、斯様ナ方面ヲ考慮シマ
シテ、農林省デハ七ツカハツ位——金
額ハ少ナイノデアリマスガ、心持ヲ現
シテ、將來ス様ナ方針デ進ムト云フ意
味ヲ明カニスル爲ニ、農産物ノ配給改
善ノ爲メノ經費ナドモ加ヘテ居リマ
ス、遺憾ナガラ其金額ハ十分デアリマ
セヌ、今後努力致シマスガ、如何ニシテ
モ生産者ノ手ヲ離レテ消費者ノ手ニ農
産物ガ入ル中間ニ於テ、種々ナ經費ノ
掛ルコトハ、力ヲ極メテ之ヲ少ナクシ
ナケレバナラス、即チ先般全國ノ農業
倉庫ヲ東京ニ設ケルコトニ努力シテ居
リマス如ク、中間ノ商人ニ中間利益ヲ
搾取サレルコトヲ避ケル方針ヲ考ヘテ
居ルノデアリマスカラ、或ハ其效果ガ
經費ノ乏シイ爲ニ、御希望ノ通り十分
現レヌ虞レハアリマスガ、大體ノ心持
ハ御話ノヤウナコトヲ十分考慮シテ、
施設ヲ考ヘテ居ルト云フコトニ、御了
解ヲ願テ置キマス

○出井委員 只今申上ゲマシタ三點ニ
十分御考慮ヲ願ヒタイ、之ニ手ヲ觸レ
ナイ以上ニハ農村ノ困憊ハ取去ルコト
ハ出来マセヌ、ソレカラ低利資金ノ事
ニ非常ニ力ヲ入レテ居ルヤウデアリマ
ス、私モ是ハ結構ナ事ト思ヒマスガ、實
行不可能ト云フヤウナ場合ガ往々ニシ
テアル、此前ニモ神奈川縣ニ融通ガ出
來ナイト云フ御話ガアリマシタガ、農
林關係ノ方々ノ御考ト、預金部ノ御考
トハ全然異ッテ居ル、地方ニ行キマスレ
バ、縣ノ役人ノ考ト、金ヲ直接取扱フ中
央金庫ナリ、勸業銀行ノ方々トノ意見
ガ一致シテ居ラス、隨テ縣廳デハ十分
貸シテ宜シイト定メテ勸業銀行ヘ行キ
マシテモ、抵當ガ不足ダ、手續ガ惡イト
云フノデ斷ハラレル、借ルコトガ出来
ルニシテモ、一萬圓ノモノガ五千圓ニ
減リ三千圓ニ減ルト云フヤウナ狀態
デ、殊ニ最モ私ノ遺憾ニ思ヒマスノハ、
十人ノ連帶、十人ノ連帶ト云フ以上ハ、
對人信用デナケレバナラスガ、マダ十
人ト云フ對人信用デ貸シタモノガ無
イ、總モ如何ナル場合デモ十人ノ中ニ
相當ノ資産ヲ有スル者ガ加ッテ居ナイ
ト貸サナイ……

○西村委員長 出井サンニ申上ゲマス
ガ、前カラ度々申上ゲデ居リマスガ、ド
ウモ徹底シナイヤウデス、若シアナタ
ノヤウナ御高見ガアルナラバ、適當ナ
手段ヲ以テアナタノ御意見ヲ御公表ナ
サル機會ハ幾ラデモ與ヘラレルノデア
リマスカラ、成ベク德義心ヲ喚起シテ、
此際私ガ申上ゲタコトガ徹底スルヤウ

ニ御努メアランコトヲ望ミマス

○出井委員 承知致シマシタ、今ノヤ

ウナ状態ヲ緩和シテ下サラナケレバ、折角農林省デ色々計畫ヲ致シマシテモ、其半バ三分ノ一ニモ達セヌ状態ニナルコトヲ私ハ恐レテ居リマス、是ハ直接米穀法ニ關係ガ無イト云フカモ知レマセヌガ、農村農民ト云フ關係カラ云ヘバ、是ハ不可分デス、此點ヲ十分考ヘテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ米穀法ヲ作ルト云フ上カラ行キマシテモ、總テ農村ノ状態ガ基礎ニナルノデナケレバ、其完全ナル效果ハ現レナイト思フノデアリマス、農村、農民ニ關係ノナイ、他ノ社會現象ヲ中心ニシテ此法律ヲ作ッタラバ意味ヲナサナイト思フノデアリマス、吾々ガ農民デナイノナラバ、此米穀法ト云フモノモ、斯ウ云フ御苦心ヲナサラナクテモ承認サレルカモ知レヌ、既ニ農林大臣ガ米價率ニ於テ、他ノ物價指數ヨリモ重要性ヲ認メルト云フコトハ、米ノ關係ヲ重要視スルト云フコトハ、米ニ關係スル限リハ、農村ノ一切ノ關係ヲ透見シナイ以上ハ、完全ナル法律ガ出來ナイノハ當然デヤナイカ、私ハ單ニ是ハ農林當局バカリヲ申スノデアアリマセヌガ、今ノ多クノ人が實際ヲ知ラナ過ギルト思フ、非常ニ學問ト云フモノハ知り過ギテ居ルガ、實際ヲ閑却サレテ、其結果ガ

遂ニ恐ルベキ状態ヲ生ジテ來ルノデア

リマス、今日ノアノ悲慘ナ有様ト云フモノハ、ヤハリサウ云フ所ニ出發點ガアルノデハナイカト思フ、先日米ノ事ニ付キマシテ東委員ガ申サレマシタ、澤山米ガ取レタカラ必ズ安クナルト云フモノデヤナイ、私モサウ思ッテ居リマス、澤山取レテ米ガ安クナルニシマシテモ、收支ノ關係ニ行ケバ、澤山取レタ、安クナッタト云フ關係ニ於テ、經濟ハ同ジデナケレバナラヌト思フ、所ガ今日ノヤウナ状態ヲ來スト云フコトハ、他ニ原因ガナケレバナラヌ、此米價ノ暴落ト云フコトハ、他ニ相當ノ原因ガアルト云フコトヲ私ハ考ヘナケレバナラナイ、其原因ヲ除去シテ行クニハ、サウシテ相當ノ價格ヲ維持サセルト云フコトハ、此米穀法ニ私共ハ頼ラナケレバナラヌト思フ、私共ハ米穀法ヲサウ信ジテ今日マデ頼ッテ居ッタ、所ガアナタ方ノ米穀法ガサウデナイノハ甚ダ遺憾ダト思フ、私ハ質問ハ委員長ノ注意ガアリマスカラ、委員長ノ注意ニ從ヒマシテ打切りマスケレドモ、私カラ申セバ、實ニ不完全デアアルバカリデナク、此法ノ適用ニ依ッテ、農村ハ益々苦痛ノ地位ニ陥ラレルデアラウト云フコトヲ確信致シマス、其意味ニ於テ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス

○町田國務大臣 委員長ハ議事進行ヲ

御急ギデアリマスガ、私ハ眞ニ感ジマシタノデアリマスガ、極ク簡單ニ只今

ノ御質問ニ對シテ、私ノ考ヲ申上ゲテ置キタイノハ、外ノ事ハ大分申上ゲマシタガ、農村負債ノ現狀、竝ニ低利資金等ニ對スル、産業組合若クハ農工銀行カラ出マスル十人連帶ノ御話、農村ノ實情ハ左様デアルト思ヒマス、是ハ何トカシテ中央金庫其他産業組合ノ貸方ニ對シテモ改良ヲ加ヘテ、勸業銀行ヲ中心トシタ貸方ニ對シテモ改良ヲ加ヘル積リデアリマス、是ハ此處デ明カニ申シテ置キマスガ、議會ガ終リマス、ト早速農村審議會ト云フ御協賛ヲ願ッテ居リマシタアノ經費ニ依ッテ、審議會ヲ開イテ、先ヅ此負債整理、竝ニ農村金融機關ニ對シテハ、多少私共ハ研究シテ努力シマス、尙ホ甚ダ公私混淆ノヤウナ話デアリマスガ、只今ノ御質問モ承リマシテ、尙ホ色々私共モ眞ニ農村ノ實情ハ承リタイコトハアリマス、東京カラ餘リ遠クナイ處ニ御住居デアリマスカラ、機會ヲ得マシテ、更ニ長イ御經驗ノ事モ私ハ是非承リタイト云フコトヲ附加ヘテ希望シテ置キマス

○東郷委員 私只今ノ出井君ノ御尋ニ

對スル、農林大臣ノ御答辯ノ中ニ少シ疑問ガアリマス、ソレヲ確メタイト思ヒマスガ、其外ニモマダ保留シテ居ルモノガアリマスカラ、繼續シテソレダケ……

○西村委員長 併シモウ時間モアリマセヌカラ、質問ハ終了シタモノト認メマシテ、ソレカラ午後三時位ニ開イテ、討議ニ入りタイト考ヘテ居リマス

○胎中委員 其斷定ハ少シ御無理ダト思ヒマス、私共今マデ議事進行ニ付テ色々相談ヲ受ケテ、自分等ハソレニ向ッテ努メテ來テ、只今チャント、民政黨ノ理事諸君ニモ申上ゲタ通り、成ベク進行シタイト云フコトデ、吾々同志ノ質問モ出來ルダケ、アナタ方ノ御覽ノ通りニ、極ク簡潔ニシテ、更ニ通告ヲシテ居リマス中ニ、平井君モアレバ東君モ舉ッテ居ル、併シ平井君ノ質問モ、サウ云フ風ニ急グナラ自分ハ廢メテモ宜イト云フコトデ、其事モ私ハ御傳ヘシテアルノデアリマス、併シ之ヲ無理ニ今此處デサウ云フ風ニシテ質問終了シタモノト、斷定シ認メルト云フ風ニナサラヌデモ、其質問ヲ濟マシテ後デ東郷君ガ極メテ簡單ニ關聯シタ事ヲ御聽キシタイト云フコトデアアル、其後ニ東君ガ殘ッテ居リマスガ、東君モ出來ルダケ早ク此委員會ヲ終了スルヤウニ御聽シタイト云フコトデアリマス、是ガ若シ今ドウシテモ終了シナケレバナラヌト云フ、何カ特殊ナ理由ガアリマスルナラバ、又吾々モ一考シテ委員長ノ御趣旨

ニ副フヤウニ致シテ宜シイケレドモ、……

後ニ殘ツテ居ル者ハ極メテ僅カナ時間

デ濟ムノデアリマスカラ、サウマデナ

サル必要ハナイト思ヒマス、サウスル

コトハ穩當デナイト思ヒマスカラ、是

ハ一ツ御考慮ヲ願ヒタイ

○西村委員長 胎中君ニ申シマスガ、

ソレハ私ノ言ッダコトヲ誤解ナサツテ居

ルノデアリマス、理事ノ方カラアナタ

ト御交渉ノ上デ、モウ質問ハ是デ終了

シタ、後ニ東君ガ一人殘ツテ居ルガ、都

合ニ依ッテ質問セヌ、デスカラ出井君ハ

質問ハ是デ濟ンダト云フ御話ガアッタ

ト云フコトヲ、理事カラ私ハ聴キマシ

タカラ、ソレナラバ質問ハ終了シタル

モノト見テ宜イ、併シ質問ハ終了シマ

シタケレドモ、今直ニ此處デ引續イテ

討議ニ入ルト云フコトヲ御話申シタノ

デアリマセヌ、質問ハ終了シタモノト

見テ、休憩シテカラ更ニ討議ニ入りタ

イ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリ

マス、東郷君ガ質問ガ殘ツテ居ルト仰シ

ヤッタノデアリマスカ、ソレハナサツテ

モ宜シイト思ヒマス

○西村委員長 ソレデハ大體ニ於テ質

問ハ終了シタモノト思ヒマス、而シテ

東郷君ガ今ノ出井君ノ質問ニ關聯シ

テ、一ツノ質問ガ殘ツテ居ルサウデアリ

マスカラ、ソレハ討議ノ前ニ許スコト

ニ致シマス

○東郷委員 今ノ委員長ノ御宣言ハ違

ヒマス、私ハ是ハ出井サンノ質問ニ關

聯シテノ質問ガアリマス云フコトヲ

御願シタノデアリマスカ、私マダ質問

ハ保留シテアリマス、率勢米價ニ關ス

ルコト、ソレカラ總理大臣ガ來ラレタ

上デ答辯スルト仰シヤッタコト、ソレカ

ラ事務上ニ關シテ若シ必要ガアッタナ

ラバ發言スルト言ッテ保留シテアリマ

ス、私ハ長イコトハナイガ、吾々ハ質問

ヲ打切ル前ニ確メタイト思ヒマスカ

ラ、ソレヲ御許ヲ願ッテ置キマス、是ハ

今ノ出井君ノニ關聯シタ事デナイガ、

一寸極メテ簡單ナ質問デアリマスカ

ラ……

○西村委員長 ソレデハ兎ニ角休憩シ

マシテ、午後三時ヨリ開會スルコトニ

イテ會議ヲ開キマス

○東郷委員 質問ガモウ打切りニナル

ト決ツテ居リマスカ、私ハ極ク簡單ニ二

三最後ニ確メテ置キタイ事ガアリマス

カラ御尋シタイト思ヒマスカ、其前ニ

午前出井君ノ質問ニ對シテ農林大臣ガ

御答辯ニナッタコトヲ少シ確メテ置キ

タイト思フ事ガアリマスカラ、其點ヲ

先ヅ御尋致シマス

農林大臣ハ家計費、生産費ノ調査ガ

出來テ、率勢米價ト三ツデヤル場合ニ

ハ、生産者ニ非常ナ利益ダ、其理由トシ

テ消費者ノ方カラ云ヘバ、家計費カラ

割出ス所ノ米價、ソレニハ米價ガ非常

ニ騰貴シタ場合、他ノ支出マデモ節約

シテ、米ノ方ニ支出ヲスルコトマデ見

テ、サウシテ消費者ノ堪ヘ得ル米價ヲ

出シテ居ル、ダカラ其點カラ云ヘバ米

ノ騰貴シタ場合ニ餘程生産者ニハ利益

デアルト云フヤウナ御話デアリマシ

タガ、農林大臣ノ仰シヤル其實ニハ

私ハ誤リハナイト思フ、家計費カラ消

費者ノ堪ヘ得ル米價ヲ御算定ニナル方

法トシテハ、生計費ノ約五分位、米價ガ

考ヘルノデアリマス、ソレハドウ云フ

譯カト申シマス、先日來度々申ス通

リニ、家計費ノ調査ハ内閣統計局ノ御

調査ガアルダケデアリマシテ、ハッキ

致シマセヌケレドモ、ソレヲ採ッテアノ

當時昭和二年ニ政府ノ提案ニ基イテ率

勢米價ヲ算出シタ、其率勢米價ト統計

局ノ家計費調査カラ出タ所謂米價トヲ

比較致シテ見マスカ、此間モ申シマ

シタガ、其當時ノ率勢米價ガ約三十圓、

其上値二割ガ三十六圓デアリマス、然

ルニ家計費カラ割出シタ米價ヲ出シマ

スト、六十圓未滿ノモノダケヲ假ニ申

シマスガ、六十圓未滿ノ收入ノアルモ

ノ、家計費カラ出シタ米價ガ四十圓七

十六錢デスカラ、率勢米價上値二割ヨ

リモ、家計費カラ算出シタ米價ノ方ガ、

尙ホ四圓七十錢餘リ上値ニアルコトニ

ナツテ居リマス、デスカラ率勢米價上値

二割ヨリモ、當時ノ米價カラ見マシテ、

尙ホ上値ニアルコト五六圓デアルトシ

マスレバ、其二ツノ線ノ間デ賣リニ出

ル値段ヲ御決メニナルノデアリマスカ

ラ、此場合ニハ何時モマダ消費者ガ堪

ヘ得ル米價マデ行カヌ中ニ、米穀法ガ

發動スルト云フコトニナル、其點ハ消

費者ニハ非常ニ都合ガ宜シウゴザイマ

スガ、生産者ノ立場カラ云ヘバ、是ハ決

シテ有利デナイ、モット消費者ハ堪ヘ得

ル筈デア、其處マデ行ク前ニ米ヲ賣

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

午後二時二十四分開議

午後零時四十一分休憩

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

リニ出ルノデスカラ、寧ロ生産者ノ立場カラ云ヘバ不利益デス

ソレカラ次ニ下値ノ場合ヲ考ヘルト、是モ亦生産費ハ確定シテ居ナイト農林當局ハ仰シヤル、併ナガラ御參考ニ御示ニナツタ農林省ノ其頃ノ米ノ生産費ニ比較致シマシテモ、此帝國農會ノ米ノ生産費ガ寧ロ低イノデアリマスガ、假ニ其低イ帝國農會ノヲ採ッテ計算致シマシテモ、三十圓ノ率勢米價ニ對シテ其二割下値ハ二十四圓何ガシデア

マレテ居ナイ、斯ウ云フコトニナルノデス、唯先日來申上ゲマスヤウニ、此家計費ノ調査モタツタ一回シカアリマセヌ、是カラ御調査ニナツテドウ云フ數字ガ出ルカ不明ナノデスカラ、此一事ヲ以テハ比較ニナラヌコトデスガ、現在一ツシカナイカラ此事實ヲ以テ比較シテモサウデア

ス、ソレカラ生産費ノ方モ、確實デナイト仰セラレルノデスガ、將來御調査ニナテモ大體斯ウ云ツタヤウナ計數ヲ迎ルノデハナイカト思ヒマス、デスカラ農林大臣ノ仰シヤルヤウニ、將來率勢米價一本デ行カナイデ、家計費、生産費ヲ加味シテ御算定ニナル場合ト雖モ、決シテ生産者ノ有利ニ展開スルモノトハ私ハ思ヒ得ナイ、私達ガ先日來度々申上ゲル主張ノ方ガ正シイト思ヒマスカラ、是ハハッキリ致シテ置キタイト思ヒマス、是ハ御答辯ヲ承ル積リデヤアリマセヌガ、是ダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

御出シニナルト云フノガ農林省ノ御方針デアリマスガ、單ニ十一月末日ノ米價ヲ小作料ニ換算サレト云フコトデハ非常ニ其處ニ不都合ガ出ハシナイカ、或ハ非常ニ米價ノ暴騰シタ場合、或ハ今日ノ如ク非常ニ米價ノ暴落シタ場合、サウ云フ場合ニ非常ニ資本利子ニ相違ガアル、過日私農林省ノ御示ニナツテ居リマス昭和五年ノ假定的ノ生産費

ノ二十一圓何ガシト云フモノニ付テ見テモ、既ニ米價十七圓八十一錢トシテ御計算ニナルト、一段歩ノ土地ノ資本利子ガ十圓六十二錢ニナルケレドモ、假ニ米價ガ三十圓ニ騰貴シタ場合ヲ想像スルト、是ガ二十四圓九十七錢、斯ウ云フ計算ニナツテ、其處ニ非常ニ差ガ出テ來ル、是ハドウシテモサウ云フヤウナ場合ヲ考ヘマス、單ニ十一月末日ノ米價ノ市價ヲ以テ御計算ニナルト云フコトハ、非常ニ實際問題トシテ不都合ガ生ズルヤウニ私ハ思フノデス、デスカラ是ハ將來生産費ヲ御調査ニナル場合ニ於テハ特ニ御考慮下サレマシテ、適當ナル調節ヲ御考ヘニナランコトヲ茲ニ希望申上ゲテ置キマス

市場相場ガ適當ナリヤ否ヤ、ソレヲ調節サレル一ツノ基準ニナル米ノ生産費デアリマスカラ、是ハ過去ニ於キマシテ生産サレタ米デスカラ、過去ノ事實ヲ以テ生産費ハ計算スベキモノデヤナイ、米ガ出來テ、サウシテ其時ノ時價ヲ調節スル、生産費ノ基礎ガ其調節サルベキ時價其物デ支配サレト云フコトハ、非常ニ不合理デハナイカト云フ疑念ガアリマス、是モ此間其疑念ヲ申上ゲタノデアリマスガ、之ニ對シテ色々御異論ガアラウト思ヒマスケレドモ、此點モ一ツ生産費ヲ御調査ニナル場合ニ於テハ特ニ御研究、御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是モ御答辯ヲ得ルト云フ意味デヤアリマセヌガ、事務的ニ私ノ考ヲ申上ゲテ御參考ニ供シテ置キマス

ソレカラ其次ハ是ハ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ農林大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、率勢米價ノ問題ニ付テ今日マデ度々質疑應答ヲ致シマシタガ、此間私達ノ要求ニ依リマシテ政府當局ニ於テ御計算下サイマシタ、所謂「バラボラ」式ニ依ル率勢米價、是ガ政府カラ御提案ニナツテ居ル原案ニ依ル率勢米價ト比較シテ見マス、過去二十八年間ニ於テ十九箇年間ハ「バラボラ」式ニ依ル方ガ率勢米價ガ高位ニアル、隨テ此事實カラ云ヘバ政

府原案ヨリモ、「バラボラ」式ニ依ル方考ヘナケレバナリマセヌ、直線式デ行ガ、生産者ニハ利益ニ米穀法ガ出動スル場合ガ非常ニ多イ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテ、此點間違ナイカト申シマシタ所ガ、米穀課長ハ間違ハナイト云フ御答辯デアリマシタガ、是非非常ナ重大ナ問題デスカラ、農林大臣モ米穀課長ノ過日御承認爲サッタアノ事實ヲ御承認下サイマスカ、之ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 米穀課長ガ申サレタノハ私ハ斯様ナ解釋デアリマス、アノ二ツノ式デ趨勢値ヲ見出し、率勢米價ニ於ケル從來ノ場合ヲ當箱メテ見レバ、從來ハ「バラボラ」式ノ方が多イト云フコトガ現レテ居ルト云フ意味ニ、米穀課長ガ申シタト思ヒマス、ソコデ私共ノ考デハ、若シアノ式デ行クヨリモ、直線式デ行タ方が米ヲ買入ル場合ガ從來ノ實勢ニ徴シテ見レバ少ナカッタト云フ點カラ見レバ、曲線式ト申シマスカ、アノ「バラボラ」式ノ方デヤッタ方が生産者ノ爲ニ利益ナヤウニ一面考ヘラレマス、唯私マダ十分研究シマセヌガ、今私ノ頭ニ這入ッテ居ルノハ左様ニ考ヘテ居ル、安藤博士ノ言ハル、通リ、アノ式デ行ケバ米價ノ上ノ方モ下ノ方モ幅ガ廣クナルト云フコトガ、安藤博士ガ説明サレテ分ッテ居ルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ事實モ一方カラ

方ガ率勢米價ガ「バラボラ」式ヨリモ高ク、隨テ値幅モ廣イ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、デスカラ二ツノ場合ガアリマスガ、二十八年間ヲ通計シテ見ルト、率勢米價ハ「バラボラ」式デ行ッタ方が遙ニ生産者ニ都合ガ好イ、斯ウ云フコトハ、是非間違ナイノデスカラ、農林大臣モ御認メ下サッタコト、思ヒマス

ソレカラ將來米穀法ヲ運用スル場合ニ「バラボラ」式ノ計算モ達觀ノ時ニ參考ニ供シテ宜イト仰セラレマシタガ、ソレハ農林大臣ノ内面的ノ唯御心持デ、此方法ヲ考ヘル場合ニハ、私ハ何等ノ參考ニナラヌト思ヒマス、是ハハッキリ私達ノ申上ゲタコトヲ農林大臣モ御認メ下サッタコト、承認致シマス

ソレカラ其次ニ、是ハ農林大臣デナクトモ宜シウゴザイマスガ、當局ニ御伺致シマスガ、何モ外國ノ例ヲ考ヘル必要ハアリマセヌ、ヨク日本デハ立法デモ何デモ外國ノ前例ヲ見テ、サウシテ日本ノ實情ニ適シヤウガ適シマイガヤル例ガ多イ、サウシテ其方ノ説明ヲスルノニ、外國ニモ斯ウ云フ例ガアル、外國デモ斯ウヤッテ居ルカラト云フコトヲ能ク言ウノデスガ、私ハサウ云フ意味ハ毛頭アリマセヌ、サウ云フコトハ私ハ宜クナイト思ヒマス、併ナガラドウ云フモノガアルカト云フコトヲ吾

○東郷委員 サウシマス、此過去ノ實蹟カラ算定スレバ、「バラボラ」式ノ方が直線式ヨリモ率勢米價ガ高値ニアス、詰リ率勢米價ト云フモノガ其高値ニアレバ、上下二割ヲ採ルノデスカラ、値幅モ隨ッテ多クナルト云フコトハ、是ハ當然デアル、併シ九箇年ダケハ是ハ逆ニ行ッテ居リマスカラ、直線デ行ッタ

吾ガ研究スルコトハ參考ニ必要デスカラ、私ハ御伺ヲ致シマスガ、外國ニ農産物ノ價格ヲ調節スル爲ニ、法律デ今見タヤウナ、政府ガ買ニ出動スル、而モ其買ニ出動スル米價ノ基準ヲ率勢米價ト言ッタヤウナ過去ノ事實カラ推算シタ所ノ價格デ以テ決メルヤウナ、或ハ之ニ類似シタヤウナ立法例ガゴザイマセウカ、サウ云フ事ヲ、農林當局ハ是ハ重大ナ法案デスガ、御立案ナサル時分ニ御調査ニナリマシタデセウカ、ソレ等ノ事ヲ承ッテ置キタイト思フ

○町田國務大臣 今ノ歐羅巴ノ農産物ノ價格ノ調査ハ多分農務局長ガ相當研究シテ居ルト思ヒマスカラ、農務局長カラ申上ゲマス

前ノ私ニ對スル御意見ハ餘程重大ナ事デアリマスカラ、將來實行スル時ノ參考ト申シテ宜シイカ、吾々ノ判斷ヲ定メル有力ナル材料トシテ、御話ヲモウ一應承ッテ置キタイ點ハ、是ハ強ヒテ私ハ逆ニ御尋スルト云フヤウナ意味デハアリマセヌ、眞ニ御心持ヲ聽イテ置キタイノハ、安藤博士ノ先頃説明サレタ「バラボラ」式ノ方が直線式ヨリモ値幅ノ上下ニ動ク範圍ガ廣イト云フコトダケハ、東郷サンモアノ説明ハ御認メ下サッテ居ルデアリマセウト思フノデアリマスガ、如何デス、ソレヲ一ツ承ッテ置ケバ將來「バラボラ」式ヲ參考ニスル

「ノガ二十回含マレル譯デアリマスガ、
「バラボラ」式ニ依リマス十「バーセ
ント」高イモノガ二回、十「バーセント」
低イモノガ八回、二十「バーセント」高
イモノガ二回、二十「バーセント」低イ
モノガ一回、結局十三回ト云フモノニ

ナリマスノデ、結局直線式で計算致シ
マシタモノ、方ガ實數ノ中值ニ較ベマ
スト其值開ガ各二十七分ノ中直線式
ノモノハ二十デゴザイマス「バラボラ」
式ノモノハ十三回デスカラ、直線式ノ
計算ノ方ガ中直ニ較ベマシテモ開キノ

程度ガ稍^レ安當デアラウト斯ウ云フ風
ナ結果ニナルト云フ事實ヲ、安藤サン
ガ此間見エマシタ後デ計算ヲシテ吳レ
マシタカラ、其事ダケ御報告致シテ置
キマス

ソレカラハハ實數ノ値段ヲ現實ニ當
嵌メテ見マシタノデゴザイマスカ、サ
之ヲ致シマスト、直線式ニ依ッテ計算シタ
モノニ較ベマシテ「バラボル」式ニ依ッ
テ計算致シマシタモノハ、下値二割ヲ
割ル場合ガ十七回餘計ニナリマスル

ガ、高値二割ヲ割ル場合モ亦「バラボ
ラ」式ノ方ガ二十六回ノ増加ヲ見ルコ
トニナツテ居リマシテ、結局「バラボラ」
式ニ依リマスル場合ハ下値調節ノ場合
モ直線式ニ比シマシテ最近マデハ十

七回餘計ニナリマスケレドモ、高値調節ヲ致シマス場合モ亦二十六回増加シ

タ、斯ウ云フ風ナ計數ニナリマスト云フ事實ダケヲ御報告致シマス

○東郷委員 只今ノ數字ヲ書イテ御配付ヲ願ヒマス、聽イタダケデハ分リマセヌカラ……

○荷見政府委員 ソレデハ申上ゲタ分ダケデ宜シウゴザイマスカ

○東郷委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○松山委員 此「バラボラ」式ノ計算ヲ願フタ時ノ私ノ目的ハ、其當時ニハッカリ言ッテ置イタ答デアリマスルガ、要スルニ直線式デハ農家ガ餘リ不利ニナル、ソレデアリマスルカラ、モウ少シ農家、生産者ノ利益ニナルヤウナ合理的ナ表ヲ作ッテ貰ヒタイ、即チ「バラボラ」式デ計算シテ貰ヒタイト斯ウ申上ゲテ置イタ譯デアリマシテ、隨テ其出テ來タ結果カラ、今申シマスルヤウナ問題ガ起ラウト思ヒマシテ、私ハ此「バラボラ」ノ性質ヲ一寸説明シテ置イタノデアリマス、即チ大正十三年以後ハ直線式カラ出テ來ル價格ヨリモ、率勢米價ノ價ガ「バラボラ」式カラ出テ來ル値ノ方ガ高い、今マデニハ此「バラボラ」式ノ方ガ一般高イカラ、是ハ下ッテ來マス、低い時ト高イ時トアリマスケレドモ、大正十三年以後ハ常ニ「バラボラ」式ノ方ガ少シ高クナッテ居ル、ソレデ生産者ノ方ニ有利ニナッテ行クト云フコトヲ申シテ置キマシタ、併ナガラ今マ

デカラ言ヘバ米穀課長カラ御話セラレタヤウナコトガ現レマスルケレドモ、大正十三年以後ハ常ニ「バラボラ」式ノ方ガ率勢米價ガ高クナルノデゴザイマス、サウ云フ問題ガ起ラウト思ヒマシテ、此「バラボラ」ノ性質ヲ私ガ初メニ話ヲ致シテ置イタ譯デゴザイマス、サウシテ今値幅ノ上ニナリ下ニナル、今日迄ノヤツノ上ニナル下ニナルノ數ヲ安藤博士ハ頻ニカヲ入レテ申サレマスケレドモ、是ハ過去ノ事デアリマシテ、私共ハ今後將來ノコトヲ判斷スルニハ大シテ價値ガナイ、私ノ初メニ申上ゲマシタヤウニソレハ理論上大シタカノアルモノデハナイノデ、ソレハ其價幅ガ非常ニ小サイ場合ニ、最小自棄法誤差ノ理論ヲ用ユル理論上ニハ大切ナ事デアアルガ、併シ此米價ノヤウニ非常ニ變化ノ甚シイモノニ、之ヲ利用シテ「バラボラ」ノ場合ガ是ダケ、「マイナス」ノ場合ガ是ダケト云フコトハ、學術上何等價値ノアルモノデナイ、是ハ今後ニ使フナラバ大正十三年以後ハ常ニ「バラボラ」式ノ方ガ價段ガ少シ高クナル、即チ今日非常ニ不利益ニアル生産者ノ利益デアアルカラ、吾々ハ「バラボラ」式ヲ採用シタイト斯ウ申スノデアリマス、御參考ニナラウト思ヒマスカラ申上ゲテ置キマス

○東郷委員 拓務當局ガ御見エニナッ

ツテ居リマスガ、私ガ昨日御願シマシタ朝鮮ノ產米計畫、產米増殖ノ累年表ハ、今日質問モ打切りマスシ、吾々ガ最後ノ決定ヲスル場合ニ非常ニ重要ナ資料ノ一ツデスガ、マダ出來ヌデセウカ

○殖田政府委員 間ニ合ヒマス、出來テ居リマス、只今配付致シマス——只今差上ゲマス、表ハモウ既ニ十分御承知ノ通りニ、當初ノ計畫ヲ表ニ致シマシタノデ、實際ノ成績ハ此通りニ參ッテ居リマセヌ、餘程悪い成績ニナッテ居リマスカラ豫メ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西村委員長 ソレカラ尙ホ一言申上ゲテ置キマスガ、此書類ヲ正式ニ委員會ニ提出シタコトニシマス、餘程ノ部數ガ要ルノデアリマス、ソレデ參考ノ爲ニアナタ方ニ一應之ヲ御覽ニ入レタニ過ギヌ、斯ウ云フ意味ニ御諒解ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、御覽濟ミノ上ハ御返シヲ願フ、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマス

○東郷委員 私ハ大體是デ質問ハ終ッ

○東委員 私モ簡單ニ二三ダケ質問ヲ申上ゲテ終リタイト思ヒマス、大抵今マデノ十數回ノ委員會ニ於テノ委員諸君ノ質問應答ニ依ッテ政府ノ意思ノアル所モ總テ判明致シマシタ、又吾々ノ

大體ノ意見モ屢々申上ゲテアルノデアリマスカラ、此上時間ヲ空費スル必要ハナイト考ヘルノデ、極ク簡單ニ御答辯ヲ願ヘバ宜シイ、私モ質問ハ成ベク簡單ニ致シマス、尙ホ御斷リシテ置キタイノハ度々質問應答ヲ重ネタ問題デアリマスカラ、重複スル所モアルト思フノデアリマスガ、唯ハッカリシテ置キタイト云フ意味ダケデ私ハ質問ヲ致スノデアリマス、其點モ豫メ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

第一ニ伺ヒタイノハ米穀法ト需給調節特別會計ノ資金トノ關係ニ付デアリマス、是ハ農林大臣ガ屢々此席デ御答辯ヲ致シテ居ラレマスガ、私ハマダハッカリ致サヌト思ッテ居ルノデアリマス、此需給調節特別會計ト米穀法ト云フモノハ今回兩方トモ提案ニナッテ居ルノデアリマスガ、政府ハ切離シテ米穀法ハ米穀法單獨デアリ、需給調節特別會計ハ需給調節特別會計單獨デアルト云フコトハ法理上ハ是デ相當デア

ル、所謂可分ノモノデアルト云フコトデアリマスガ、其實體ハ不可分デアルト云フ御答辯デアッタト思ヒマスガ、其點ハ政府ノ方デドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、私ガ今前段ニ申上ゲマシタ通りノ意味デアリマセウカ、絶對ニ不可分ト云フ御考デアルカ、可分ノ意味デアルカ、是ハ私共ガ贊否ヲ決スル上

ニ於テ非常ニ必要デアリマスカラ、此點ヲ伺ツテ置キマス

○町田國務大臣 東君ノ只今ノ御尋ハ先般來再三起ツタ問題デアリマシテ、大藏大臣ニ御尋ニナッタコトモアッタサウデアリマス、大藏大臣が見エズシテ大藏政務次官ガ來テ、答辯ヲサレタト云フコトデアリマス、其席ニハ私ハ居ラヌノデアリマシタガ、大藏政務次官ハ、兩者ハ關係シテ居リマスガ、假令米穀法ガ否決サレルコトガアリト假ニ致シマシテモ、此米穀需給調節特別會計ト云フモノハ成立シタ方ガ宜シイト考ヘテ居リマス、斯ウ政務次官ガ答辯ヲシテ居ルコトハ速記録ニ明カデアリマス、是ハ政務次官ガ其心持ヲ率直ニ述ベタノカモ知レマセヌガ、法律上カラ解釋スレバ各、獨立シタモノデアアルコレハ申スマデモアリマセヌ、唯米穀調査會ノ答申ニ依ツテモ、他ノ根本的ノ改正ト同時ニ米穀需給調節特別會計ノ缺損ヲ一般會計ニ移セト云フ答申ヲ致シテ居ルノデアリマス、此意味カラ考ヘマシテモ、私ハ此二ツノ法律ハ各、獨立シテ相働クコトノ出來ル性質ノ法律ト思ヒマス、併シ之ヲ政治的ニ考ヘ實際カラ考ヘテ見マスレバ、此兩法案ガ同時ニ解決スルコトガ最モ必要ダ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○東委員 次ニ伺ヒタイノハ今回ノ米

穀法ノ改正ハ、我國ノ食糧關係、及ビ需給關係竝ニ價格關係ニ對シマシテ十分ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト政府ハ御考ヘ

ニナツテ居リマスカ、是モ度々委員諸君カラ質問應答ヲ重ネラレタ問題デアリマスガ、農林大臣ノ答辯ハ、吾々ガ永久的ト言ヘバ、永久的デアアル、應急的ト言ヘバ應急的デアアルト云フヤウナ御答辯ヲ重ネラレタヤウニ思ツテ居リマスガ、私ナドノ心持ハ是ハ全ク一時的ノ、極メテ暫定的ナモノト云フ風ナ考ヲ持ツテ居リマス、ソレハ如何ナル法律ヲ作ヒテモ是ガ完璧デアアルト云フコトヲ言ヒ得ルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマスガ、少クトモ法律ヲ改正スル場合ニハ、今後五年ヤ十年ハ兎ニ角時勢ニ對應スルモノデナカタナラバ、此改正ヲスルト云フコトノ意味ハ極メテ薄弱ニナルト思フ、私ハ米穀法改正ニ付テ米穀調査會ヲ開ク趣意ニ於テモ、兎ニ角或ハ鮮米ノ統制ヲスルト云フヤウナコトニ付テ、總理大臣ガ會長ニナリ、大藏、農林兩大臣ガ副會長トナツテ調査會マデ拵ヘタノデアアルガ、今回ノ如キ改正案デハ調査會ノ趣意トハ大分距ガアルト考ヘテ居リマス、其意味カラ私ハ此質問ヲ致スノデアリマスガ、今回ノ改正ト云フモノハ極メテ暫定的ナモノデハナイカ、ホンノ一年カ一年半經テ

バ又改正ヲシナケレバナラヌト云フヤウコトニナルノデハナイカト云フヤウナ、心持ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、農林大臣ノ御説明ニ依ツテモハ、キリ致サヌ點ガアルノデ、之ニ對スル政府ノ所見ヲハッキリ承ツテ置キタイ

○町田國務大臣 御尤ナ御尋ト思ヒマス、昨年ノ大豐作ニ依ツテ米價ノ暴落シタ現狀ヲ本トシテ、今後兩三年打續イテ昨年ノ如キ大豐作ガアリマス場合ヲ想像シテ見マス、先日胎中君カラ御尋ノ如ク、今ノ米穀特別會計ガ此狀態デ果シテ米穀法ノ目的ヲ達スルマデニ運用出來ルカ否ヤニ付テハ大ナル懸念ガアル、ソレハ米穀特別會計ノ方ニ屬スル懸念デアリマス、米穀法、此問題ハ私モ相當研究シテ、前内閣時代ノ委員會ノ速記録ナドモ緋イテ見タノデアリマスガ、東君ノ委員ニ對スル御答辯デアッタカト記憶シテ居リマスガ、或ハ東君デナク山本君デアッタカモ知レマセヌガ、其根本的改正ト云フモノニ對シテハ、場合ニ依レバ米穀法ヲ廢シテ他ノ別途ノ考ヲスルマデニ進ンダ根本的改正ト云フヤウナ御答辯ガアッタコトヲ記憶シテ居リマス、是モ私ハ同感デアリマス、根本的改正ト云フ趣意カラ云ヘバ、或ハ專賣法トカ云フコトモ研究シタノデアリマスガ、先般モ申ス通り一年半ノ研究ニ依ツテ、實際論トシテ

ハ國家專賣論モ容易ニ行ヒ得ラヌ、理想的トハ考ヘマスガ、實行上ニ於テハ容易ニ出來ナイ案ト委員會ニ於テモ考ヘタノデアリマス、茲ニ至ツテ是ガ十分根本的ニ進ンデ居ラヌト云フ御意見ガアレバ、ソレモ一ツノ御意見ト見テ宜シイト思ヒマス、私共ハ前内閣以來此社會ノ推移、人口、食糧問題ノ變化、朝鮮、臺灣等ノ關係カラ見マシテ、先ヅ

此邊ノ基準ヲ設ケルコトガ相當大ナル改正——米穀法運用ノ基準ヲ設ケテ示シタコトヲ以テ、餘程根本ニ觸レタ改正デアアルト考ヘテ居リマスガ、或ハ此點ハ御不滿カモ知レマセヌガ、私共ハ相當大ナル改善ガ出來タコト、思ヒマス、ソレカラ東君ノモウ一ツノ御心配ハ、ソレヲ離レテ朝鮮、臺灣ノ産業計畫ノ進歩等ニ依ツテ、將來斯様ナ米穀法デ需給關係ヲ十分調節出來ルヤ否ヤト云フコトニ對シテ、御研究モアリ、御不審モアルヤウニ思ハレマス、是ハ實行ノ立場ニ在ツテ苦心セラレタ人ハ何レモ其點ヲ考ヘマス、果シテ是ダケノコトデ將來永ク此米穀法ノ通行行ツテ、生産者、消費者ニ對シテ公平ナル措置ヲ此方法ニ依ツテ行ヒ得ラレルダラウカ、若シ二三年續イテ大豐作ガ出來タ時ニハ如何ニ此供給高ヲ整理スルカ、假令政府ガ買ツテ居ツテモ、國ノ倉庫ニ堆高

ク積ンデアレバ、米穀市場ヲ壓迫スル事實ガアリマスカラ、政府ガ買フト云フダケデハ或ハ效果ガ十分デナイト云フコトハ、東郷君ガ屢、御話ニナッタト同感デアリマス、併シ若シ三年モ續イテ昨年ノ如キ大豐作デアレバ、米穀特別會計ニ於テ更ニ何トカ考慮ヲシナケレバ、此目的ガ達セラレヌト云フコトハ生ズルケレドモ、玆ニ暫クノ歲月ハ此方法デ目的ヲ達スルコトハ特別會計ノ方ニ資金ヲ供給スル途ヲ開ケバ相當參ルト思ヒマス、隨テ日本米ヲ外國ヘ輸出スルコトモ獎勵シ、一面ニ於テハ昨年ノ豐作ナルノ故ヲ以テ、直チニ從來ノ朝鮮ニ於ケル產米計畫、内地ニ於ケル開墾及ビ補助、殊ニ主トシテ用排水幹線ノ改良工事ノ進捗、生産費ヲ出來ルダケ安クシテ、人口増加ニ伴フ食糧ノ供給、之ヲ見合セルトカ、打切リスルト云フ考ニハマダ參ッテ居リマセヌ、此點ハ中々困難ナル問題デアリマスケレドモ、今ノ所デハ從來ノ方針ヲ以テ進ムヨリ外ニナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス	ハ、米穀法ハ國家ノ爲ニモナラヌ、農民ノ爲ニモナラヌト云フ御考デアッタ、寧ロ之ガ正論ナノデアアル、私共ハ其意味ニ於テ五十六議會ニ米穀法七千萬圓ノ資金ヲ増額スルト云フ場合ニ、取敢ヘズ七千萬圓ヲ増額スルト云フノガ衆議院一致ノ意見デアッタガ、アナタ方ノ非常ナ御裁量ニ依リマシテ、七千萬圓兎ニ角應急ノモノダケハヤッテ置カウ、サウシテ後ハ何カ根本的ニ改正ヲシヨウ、寧ロ米穀法ヲ廢スル、廢シテモ、斯ウ云フモノヲ殘シテ置クト云フコトハ非常ナ誤リデアアル、大正八九年頃ノ狀態ト今日ハ非常ニ時勢モ距ッテ居ルシ、斯ウ云フ法律デ需給ノ關係、價格ノ維持ヲスルノモ過ッテ居ルト云フアナタ方ノ考デアッタ、是ハ間違ナイ、私共モサウ思フ、所ガ今回ノ改正案ヲ吾々ハ手ニシテ初メテヤハリ吾々ガ七千萬圓増額シタト同ジヤウナ趣意デ、此米穀法改正案ヲ出シテ來タ、デアルカラシテ率勢米價ノ基準價格ヲ定メルト云フコトハ、今日ノアナタ方ノ御考デ研究ナサレタノデアアルガ、大體ニ於テ米穀法ヲ存置スルト云フ前提ノ下ニ於テ今回八千萬圓ト云フ金ヲ一時的ニ増額シタ、若シモ其當時ノ農林大臣等ノ御考ガ純真デアラナラバ、斯ウ云フ改正案ハ一切出サヌ筈デアアル、寧ロ徹底的ニ米穀法ヲ廢シテモ宜イノデアアル、サウ	○東委員 農林大臣ノ御意見ハ十分拜承シテ居リマス、又御苦心ノ點モ十分諒解シテ居リマスガ、私ハ農林大臣ガ在野黨ニ居ル時ト、其局ニ當ッタ時ト、御考ガ變ッタノデハナイカト思フ、ト云フノハ少ク共農林大臣ガ在野黨ノ當時ニ
云フ意味デアノ米穀調査會ヲ設ケタノデアアルガ、是ハ暫定的デアルトカ、永遠的デアルトカ言ッテ見タ所ガ暫定的デアアル、是ハ一年カ一年半豐作ガ續ケバドウト云フコトハアリマス、豐凶ノ關係ハ勿論アリマスガ、誰ガヤッテモ斯ウ云フ時局ニ於テハ困難ナ現狀デアアルガ、現ニ五十六議會ニ七千萬圓ヲ増額シテアナタ方ノ内閣ヲ組織シテ以來、二箇年間ニ年々ノ買上デ手持米ガアッタニシテモ、今度新ニ豐作ニ出逢ッタトシテ、サウ云フ事情モアリマセウケレドモ、八千萬圓ト云フ金ハ既ニ二箇年デ飛ンデシマッタ、此國家財政ノ窮乏ノ場合ニ七八千萬圓ノ金ヲ一二年ノ間ニ使ヒ盡シ、又之ヲ七千萬圓増額シテ見タ所ガ、又政府ノ在米ヲ保管スル倉敷、手數料ダケデモ千七八百萬圓ハ掛ル、又新シク買ッタモノハソレダケノ損害ガ起ッテ來ルト云フノデアアルガ、若シ又米價ガ暴落スレバ三次四次ノ買上ゲモスルト云フコトニナラナケレバナラヌ筈デアアルガ、農林大臣ハ農林關係ノ事務ヨリハ、寧ロ國家經濟、國民經濟ト云フ蘊蓄ノアル人デアアル、斯ウ云フ法律ヲ唯膏藥貼リニ出シテ來ルト云フコトハ、寧ロ農林大臣ナドノ本當ノ胸中ノ心理トハ反シタヤリ方デナイカトソレナラバ何カ之ニ對スル對策ガアルカト言ヘバ、此對策ハ今一步進ンデ考ヘレバ、斯ウ云フ改正デナクテモ、マダ私ハヤリ方ガアルト思フ、是ハ私先日、農林大臣ハオイデニナラナカッタガ、拓務大臣ガ居ラレマシタカラ自分ノ意見ダケハ述ベテ置イタ、農林大臣ガ居ラレナカッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、モウ少シ國家ニ損害ヲ與ヘナイデ、サウシテ適當ナ施設ヲヤルト云フコトノ御考ガ出來ナカッタト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘル、現在三百萬石買上ヲ致シタケレドモ、是ハ農林大臣ノ本當ノ心中ヲ考ヘタナラバ、是ハアナタハヤハリ賛成デナカッタラウト思フ、何百萬石買上ヲヤッタ所ガ、農家ニハ何等益ハナイ、チツトモ米ノ價格ノ維持ニハナッテ居ナイ、十圓トカ十二圓トカ云ッテ尙ホ激落スルデアラウト云フコトヲ言フケレドモ、ソレハ一種ノ推測デアアル、其時分ニ若シ買ハナカッタナラバ十圓乃至十二圓ニモナッタラウト云フコトハ、是ハ鬼ニ昔ヲ語ルヤウナモノデアアルガ、實際效果ハナイ、效果ガナケレバ誰ガ喜ブカ政府デハ非常ナ損ヲシテ、生産者ハ何等利益ヲ得ナイ、唯、徒ラニ國費ヲ濫費スルト云フニ止マル譯デアアル、是ハ丁度アナタ方ガ在野黨時代ニ言ッタト同ジヤウナコトヲ私ガ言フノデアアル、唯地位ヲ換ヘテ居ルダケデアルケ	ルカト言ヘバ、此對策ハ今一步進ンデ考ヘレバ、斯ウ云フ改正デナクテモ、マダ私ハヤリ方ガアルト思フ、是ハ私先日、農林大臣ハオイデニナラナカッタガ、拓務大臣ガ居ラレマシタカラ自分ノ意見ダケハ述ベテ置イタ、農林大臣ガ居ラレナカッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、モウ少シ國家ニ損害ヲ與ヘナイデ、サウシテ適當ナ施設ヲヤルト云フコトノ御考ガ出來ナカッタト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘル、現在三百萬石買上ヲ致シタケレドモ、是ハ農林大臣ノ本當ノ心中ヲ考ヘタナラバ、是ハアナタハヤハリ賛成デナカッタラウト思フ、何百萬石買上ヲヤッタ所ガ、農家ニハ何等益ハナイ、チツトモ米ノ價格ノ維持ニハナッテ居ナイ、十圓トカ十二圓トカ云ッテ尙ホ激落スルデアラウト云フコトヲ言フケレドモ、ソレハ一種ノ推測デアアル、其時分ニ若シ買ハナカッタナラバ十圓乃至十二圓ニモナッタラウト云フコトハ、是ハ鬼ニ昔ヲ語ルヤウナモノデアアルガ、實際效果ハナイ、效果ガナケレバ誰ガ喜ブカ政府デハ非常ナ損ヲシテ、生産者ハ何等利益ヲ得ナイ、唯、徒ラニ國費ヲ濫費スルト云フニ止マル譯デアアル、是ハ丁度アナタ方ガ在野黨時代ニ言ッタト同ジヤウナコトヲ私ガ言フノデアアル、唯地位ヲ換ヘテ居ルダケデアルケ	ハ、米穀法ハ國家ノ爲ニモナラヌ、農民ノ爲ニモナラヌト云フ御考デアッタ、寧ロ之ガ正論ナノデアアル、私共ハ其意味ニ於テ五十六議會ニ米穀法七千萬圓ノ資金ヲ増額スルト云フ場合ニ、取敢ヘズ七千萬圓ヲ増額スルト云フノガ衆議院一致ノ意見デアッタガ、アナタ方ノ非常ナ御裁量ニ依リマシテ、七千萬圓兎ニ角應急ノモノダケハヤッテ置カウ、サウシテ後ハ何カ根本的ニ改正ヲシヨウ、寧ロ米穀法ヲ廢スル、廢シテモ、斯ウ云フモノヲ殘シテ置クト云フコトハ非常ナ誤リデアアル、大正八九年頃ノ狀態ト今日ハ非常ニ時勢モ距ッテ居ルシ、斯ウ云フ法律デ需給ノ關係、價格ノ維持ヲスルノモ過ッテ居ルト云フアナタ方ノ考デアッタ、是ハ間違ナイ、私共モサウ思フ、所ガ今回ノ改正案ヲ吾々ハ手ニシテ初メテヤハリ吾々ガ七千萬圓増額シタト同ジヤウナ趣意デ、此米穀法改正案ヲ出シテ來タ、デアルカラシテ率勢米價ノ基準價格ヲ定メルト云フコトハ、今日ノアナタ方ノ御考デ研究ナサレタノデアアルガ、大體ニ於テ米穀法ヲ存置スルト云フ前提ノ下ニ於テ今回八千萬圓ト云フ金ヲ一時的ニ増額シタ、若シモ其當時ノ農林大臣等ノ御考ガ純真デアラナラバ、斯ウ云フ改正案ハ一切出サヌ筈デアアル、寧ロ徹底的ニ米穀法ヲ廢シテモ宜イノデアアル、サウ

レドモ、是ハドウシテモ言ハナケレバ
ナラヌ、サウ云フ法律ヲ今出スト云フ
コト、ソレカラアナタガ三百萬石買
フト云フヤウナコトモ、實ハ農會トカ
或ハ農民ガ運動スルト云フヤウナコト
ガアツテ、サウシテソレニ引摺ラレテ、
後ニナリ後ニナリシテ、後ヲ追ッテ漸ク
買上ダタ、是ヨリ外ニハ吾々ハドウシ
テモ推測スルコトガ出來ナイ、若シモ
サモナカタナラバ、世間ガヤカマシク
言ハナイ中ニ三百萬石デモ直グ發表シ
テ、サウシテ非常ニ米價ノ下ル時分ニ
國家ガ出動シテ積極的ニ米價ヲ維持ス
ルト云フナラバ、モット機敏ニ、モット時
機ヲ得テヤル方法モアツタと思フ、漸ク
世間ガヤカマシクナツテ餘リヒドクナ
ッテ來テ、是ハドウモ默ッテ居レヌ、米穀
法モアルノダカラト云フノデ出動シタ
コト、思フノデスガ、私ハ農林大臣モ
其點ニ於テ躊躇シタノダラウト思フ、
實際ハ買ハナイ方ガ宜イノカモ知レ
ヌ、誰モ益スルモノハナイ、ダカラ少シ
因ハレテ斯ウ云フ改正案ヲ出シタモノ
トシカ想像ハ出來ナイノデアアルガ、暫
定的ト云ハウカ、應急的ト云ハウカ、恆
久的ト云ハウカ、ソレハ私ハ別段茲ニ
サウ云フ答辯ヲ承ル必要ハナイ、實際
私ハサウ思フ、ソレデ米穀法ヲ此儘ニ
シテ舊套ヲ追ウテ、サウシテ舊イ穀ノ
中デヤッテ行ウト云フアナタノ心理狀

態ト云フモノハ、尠クトモ在野黨ノ時
代ニハサウ云フ考ハナカタデアラウ
ガ、是ハ詰リ非常ナ誤リデハナカラウ
カ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、故ニ此質問
ヲ致シタ所以デアアル、農林大臣ノ苦心
ヲシタト云フコトハ、是ハ私ハ御説明
ニナラナクテモ十分諒承シテ居ルノデ
アル、國家ノ大局ノ上カラ見テ、モウ少
シヤリ方ガアルノデハナカラウカト云
フコトヲ考ヘル、ソレデ根本的ト言ッテ
モ宜シイシ、ドノヤウナ言葉ヲ用ヒテ
宜シイカ知ラヌガ、精神ニ於テハモウ
少シ進ンダモノヲ提案スルコトガ出來
ナカツタノデアアラウカ、斯ウ云フ風ナ
考ヲ今持ッテ居リマス、是ハ私ノ意見ガ
大分這入ッテ居リマシテ、農林大臣ノ心
事ヲ忖度シタコトデアリマスガ、眞ニ
アナタハ米穀法ヲ此儘ニシテヤッテ行ッ
テ宜シイト御考ヘニナッタモノト私ハ
考ヘテ居ナイ、考ヘテ居ナイカラ此質問
ヲ致シテ、若シ御答辯ガアレバ伺ッテ置
キタイト思フノデアリマス

○町田國務大臣 幸ニ私ノ考ヘテ居ル
コトヲ一言申上ゲル機會ヲ只今ノ御質
問ニ依ッテ得タノハ仕合せデアリマス、
其前ニ先般モ御尋ガアリマシタガ、此
前ノアナタ方ノ内閣ノ時ニ七千萬圓案
ガ出マシタ、當時御苦心デアッタラウト
思ヒマス、政友會モ、民政黨モ、所謂農
會派トデモ申シマスカ、帝國農會ニ屬
スル連中ノ意見ハ、此處デ二億ヲ増ス、
尠クトモ一億五千萬ヲ増スト云フノ
デ、相當激烈ナ運動ガアツテ、東君モ當
局者トシテ餘程御取扱ニモ御苦心セラ
レタ事情モアッタラウト私ハ思ヒマス、
當時民政黨ニ於キマシテ黨議ヲ決メマ
スルニ付テハ、相當議論ガアッタノデア
リマス、多分御承知デアリマセウ、私ハ
嘗テ之ヲ廢スル意見ヲ發表シタトハ自
分デハ考ヘテ居マセヌ、左様ニ先頃モ
批評ガアリマシタガ、私ガ特別會計ノ
増額ヲ主トシテ、此法律ヲ廢スルト云
フ考ヲ當時持ッテ居ラヌ事實ハアリマ
スガ、併シ餘リニ諄々シク申ス必要ハ
アリマセヌ、當時此七千萬圓ニ賛成ス
ルニ付テ、是ハ損失補填ノ意味ヲ以テ
民政黨ガ同意スル所ノ黨議ヲ定メマシ
タ發案者ハ私デアリマス、其點カラ見
マシテモ、直チニ米穀法ヲ廢スルコト
ガ、政治的見地カラ見マシテモ、當時ノ
農村ノ事情カラ見マシテモ、出來ナカッ
タコトハ、明カニ御諒解ガ出來ヨウト
思ヒマス、唯理想トシテハ、東郷君ノ先
刻カラノ意見ト稍似テ居マス、國家獨
リニ依ッテ此調節ガ果シテ出來ルカ否
ヤ、今ハ三四百萬石デアリマスガ、豐作
ガモウ二三年モ續イタストスルト、今ノ
形デ參リマス——全國ノ農業倉庫ガ
入レル場所ガナイマデニ此豐作ガ二三
年モ續ケバ、政府ガ千萬石モ買ハネバ

ナラヌト云フ必要ガ或ハ生ズルコトガ
ナイトモ限ラナイ、斯様ナ場合ニ果シ
テ需給關係ニ依ッテ米價ヲ相當ニ調節
出來ルヤ否ヤト申セバ、今日ノ買入デ
サヘモ理想的ノ調節ハ出來ズ——私
ハ今ノ買入ハ相當效果ガアルト思ヒマ
ス、效果ノ程度ハ解釋ニ依ッテ違ヒマ
ス、私ノ信ズル所デハ東君モ此買入ハ
米價ヲ調節スルニ何等ノ效力モナイト
云フ意味デハナイ、ヤハリ效果ガ薄イ
ト云フ意味カラ御立論ト私ハ考ヘテ居
ル、ソレデ今後兩三年若シ大豐作ガア
タ際ニハ此法律ノ效果ハ次第ニ薄クナ
ル傾ガアルコトヲ私モ認メテ居リマス
ルガ故ニ、出來ルナラバ財政上ニモ相
當ナ累ヲ生ズル法律デモアルシ、サレ
バト云ッテ農家ノ現狀カラ見マシテ、之
ヲ國家ガ放任シテ置クト云フ譯ニハ何
レノ方面カラ見テモ參リマセヌ、故ニ
此間ニ農家ノ自覺ヲ促スト同時ニ、政
府モ之ヲ援助シテ、出來ルナラバ低利
資金或ハ獎勵金ノヤウナモノニ依ッテ
農家ノ自力ニ依ッテ調節ノ任ニ當ラシ
メタ方ガ、國家財政ノ上カラ見テモ、效
果ノ上カラ見テモ、今日以上ニ效果ガ
アリハセヌカ、斯様ナ考カラ今後ハ所
謂答申ノ中ニアリマスル農業倉庫ノ一
層普及ヲ圖リ、之ニ低利資金ヲ與ヘテ、
場合ニ依レバ獎勵金ヲ與ヘテ調節スル
コトガ、國家自ラ買フヨリモ效果ガア

テ、財政上ニモ便宜アルマイカト云フヤウナコトヲ考ヘテ只今ハ居リマス、御満足ニナルカ否ヤ知リマセヌガ私ノ考ヘテ居ルダケノコトヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス

○東委員 ソレカラ第三ニ伺ッテ置キマスガ、是モヤハリ前段ト同様デアリマス、是モ幾度カ繰返シタ問題デアリマスガ、特別會計ノ缺損金、即チ一億五千萬圓、本年末ノ五千萬圓ノ整理期ハ何時デアルカ、昭和六年度——今年ハ六年デアルガ、七年カ或ハ八年カ、何時ヤレル御考デアルカ、即チ此内閣モ何年續クカ見當ハ私ニハ付キマセヌガ、サウ云フ未來永劫ノコトヲ申上ゲテモ一向要領ヲ得ナイ譯デアリマスガ、是ハ先達ヲモ大藏大臣ガ屢々委員會ノ席ニ於テ聲明ヲ致シテ居リマスガ、ヤラウト思フケレドモヤレナイ、一千萬圓ト云フ恆久的財源ガナケレバヤレナイト言ッテ居ルノデアリマスガ、是ガヤハリ今回改正案ヲ出ス所謂米穀調査會ノ骨子デアアル、之ヲ此儘ニシテ置ケバ損害ガ段々嵩シデ來テ、遂ニハ本年末、來年アタリハ二億萬圓トナリ二億五千萬圓トナリ、ソレガ利子ニ利子ガ付イテ愈々仕方ガナクナッテ、一般會計ニ非常ナ累ヲ及ボスコトニナルノデアリマス、少クモ今回ノ改正案ヲ提出スル時分ニハ此整理ヲ交付公債ニ依ッテ處分

スルトカ、或ハ何年度カニシテ、一時ニヤッテハイカヌ、五箇年ニ割ッテ交付公債ヲ以テ整理スルトカ、一遍ニ行カナクテモ、今後五箇年間ナリ、八箇年ノ間ニ之ヲ切ッテヤルト云フコトニスレバ、一年ニ三百萬圓ナリ或ハ五百萬圓ナリ、一般會計ニ移シテ行ッテモ整理ハ出來ル、此點ニ付テモ誠意ヲ持ッテ居ラヌト云フコトデ、先日來質問應答ヲ屢々重ネテ居ルケレドモ、一向曖昧摸稜トシテ何等吾々ハ要領ヲ得ナイノデアリマス、此點ハ非常ニ重要ナ點デアッテ、恐ラクハ貴族院等ニ於テモ此問題ガ米穀改正案ト云フモノニ惱ミヲ生ズルデアラウト思フ、之ヲ整理シナイデ置イテ、サウシテ率勢米價ヲ定メルト云フヤウナコトハ、米穀調査會ノ成立シタ趣意デモナイト思ッテ居ルノデアリマス、大藏大臣ニ聽イテ見マシテモ、是ハ恆久財源ガ要ルカラ整理ガ付カナイ、ヤラウト思ッタケレドモヤレナイ、ケレドモ今後ハヤル債リデアアル、斯ウ云フヤウナコトヲ言ッテ居ルガ、現在ニ於テモ解決ガ付カヌ、一般會計デ整理ガ出來ヌトスレバ、來年再來年ニ行ッテドウシテ是ガ整理ガ付クカ、此財政窮迫シタ場合ニ於テ整理ガ付カナイト云フコトハ明カデアアル、來年ニ行ッテ整理ガ付カウト云フコトハ、誰ガ考ヘテモ想像ハ出來ヌ、斯様ニ流レ渡ッテ行ク間ニ今度ハ

内閣モ迭ラデアラウカラ、内閣ガ迭々時分ニハ、アトノ人ガ困ルデアラウ、自分ガヤル時ニハ、一千萬圓ノ財源ガ要ルト云フヤウナコトデ流レ渡ル、是ハ前内閣デモサウデアッタラウト思フ、併ナガラ一日モ早く整理ヲシナケレバナラヌノデアリマス、整理ヲスルニハヤハリ一般會計カラ金ヲ持ッテ來ナケレバナラヌコトハ、誰モ氣ガ付カヌ譯デハナイノデアリマス、之ヲヤラナイデ、サウシテ其次々々ト流レ渡リニ皆渡ッテ居ル、是ハ非常ナル不合理デアアル、斯ウ云フ問題ヲ殘シテ置イテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトハ、是ハ以テノ外ノ話デアアル、誰ガ考ヘテモサウデナケレバナラヌ、是ハ一日モ早く整理ヲスル必要ガアル、早く氣ガ付イタナラバ、早く其時ニ整理ヲスレバ、斯ウ云フヤウナ大キナモノニハナラナカッタラウト思フノデアリマス、之ヲ流レ渡リニ渡ッテ、疵ガ大キナルト一般會計ニ累ヲ及ボスコトニナルノデアリマス

此改正案ト云フモノモ、之ヲ整理スルノダト云フケレドモ、一向吾々ハ捕捉スルコトガ出來ナイ、甚ダ米穀調査會ノ趣意ニ適ハナイ、改正案ノ趣意ニモ伴ハナイト思ッテ居リマスガ、是ハ農林大臣ハ行政整理デモヤルト言ッテ居ルカラ、其行政整理ノ際ニハ斯ウ云フモノハイノ一番ニ解決シヨウト云フ御考ニナッテ居ルノカモ知レナイガ、兎ニ角一千萬圓ノ恆久財源ヲ捉ヘテ、之ヲ整理シヨウト云フノデアルカラ、何時マデ經ッテモ出來ナイ、デアルカラ何カ之ニ對スル方法ヲ立テ、一般會計ニ非常ナ累ノ出來ナイヤウナ方法ヲ立テ整理ヲスルコトガ緊急ノ必要事デアルト考ヘテ居リマス、唯一時的ニヤル積リダト云フヤウナコトデハ甚ダ此法案ヲ審議スル上ニ困リマスカラ、農林大臣ハ七年度ニ於テ必ズヤルト云フコトデアルカ、或ハ八年度ニヤルト云フコトデアルカ、今日カラ其方針ヲ立テツ、アルノカ、ソレヲハッキリ伺ッテ置キタイ

○町田農林大臣 此御質問モ私トシテハ間接ニ私ノ希望ヲ達スル御援助ニナル御質問ダト、寧ロ感謝スル次第デアリマス、先日胎中君カラモ其意味ヲ最モ強イ言葉デ御質問ガアッタノデアリマス、寧ロ斯様ナ將來ニ累ヲ貽シテ置イテハ何レノ時ニカ之ヲ整理シナケレバ國家財政ノ上ニ於キマシテ痛ガ殘ルコトニナル、寧ロ之ヲ整理スル方法トシテ一般會計ニ移ストシテモ、一般會計ニ財源ガナイ、交付公債デヤレバ利息竝ニ減債基金ニ於テ相當大キナ金額——大藏大臣ハ之ヲ千萬圓ト概算シテ居ルヤウデアリマスガ、將來利息ニ利

息が付き出シテ相當大キナ損失ニナリ
マスカラ、寧ろ減税ノ財源ヲ以テ之ニ
充テルノモ方法デアアルマイカト云フ胎
中君カラノ御尋ガアリマシタ、私ハ當
時斯様ニ率直ニ答ヘテ居リマス、現内
閣ハ倫敦條約ニ依ッテ得タル所ノ財源
ヲ最小限度ニ於テ國防ノ安全ヲ圖ルト
同時ニ、之ヲ減税ニ用ヒルト云フ政策
ヲ定メテ居ル、現内閣トシテハ此方針
ヲ遂行スルノデアアル、而シテ之ヲ整理
スル別送ノ方法ヲ考ヘルノモ一ツノ見
方デアルト私ハ斯ウ明カニ御答シテ居
ルノデアアル

故ニ今ノ減税案ノ方ニ皆持ッテ行ク
ト云フコトハ、吾々當時ノ考デアリマ
セヌノデ、之ヲ國防ト減税ニ限ッテ他ニ
用ヒナイト云フ固イ決心ト其對策ヲ講
ジテ居リマスガ、同時ニ之ヲ此儘ニシ
テ置クト云フコトハ、米穀法ノ實施以
上ニ——世人ヲシテ米穀法ガ國家財政
ノ上カラ見テ宜シクナイ法律デアルト
云フ感ジヲ餘計ニ與ヘル、其原因ハヤ
ハリ米穀特別會計ニアル、是ガ原因ニ
相成ッテ居ル事情ヲ私ハ能ク諒解シテ
居リマス故ニ、少クトモ一兩年ノ間ニ
之ヲ整理スル方針ヲ立テルト、私ハ此
處デ言明シテ居ッタノデアリマス、何レ
ノ時ニ送リマスカ知リマセヌガ、何レ
ノ内閣ニ於カレテモ之ヲ此儘ニ捨置ク
コトハ甚ダ厄介ナ問題デアリマスルガ

故ニ、私ハ米穀法活用ノ必要上、内閣ガ
何レデアラウトモ、一兩年ノ間ニ此整
理ヲ致ス決心デアアル、斯様ナ御答ヲシ
テ居リマス

實ハ東君ガ御覽ニナツタカドウカ知
リマセヌガ、私ハ此前農林省ニ居リマ
シタ時ニ對案ヲ四ツバカリ種類ニ分ッ
テ草案ヲ作ッテ居ッタコトガアリマス、
一般會計ニ移ス案、或ハ此損失ヲ公債
ニ移ス案、或ハ只今御話ノ通り一年デ
面倒デアアルナラバ、數年ニ互ッテ之ヲ整
理スル案ヲ主ナルモノトシテ、四ツノ
對案ヲ作ラシタコトガアリマスガ、極
ク惡ク參リマシテモ、東君ノ今話サレ
タ、數年ノ間ニ互ッテ之ヲ整理スル方法
ニハ進ミ得ラル、ト私ハ確信シテ居リ
マス、或ハ是ガ改正ガ出來ナカッタナラ
バ、私ノ政治上ノ責任ヲ御問ヒ下サッ
テモ辭セナイト云フ考ヲ持ッテ居リマ
ス

○東委員 アナタノ内閣ガ長ク續ケバ
吾々ハ責任ヲ問フコトモ出來ルガ、サ
ウ是ガ續クナド、云フコトハ吾々ハ考
ヘナイ、ソレデアアルカラソレダケアナ
タガ國家經濟ニ非常ナ蘊蓄ガアツテ、且
ツ御考慮ヲ廻ラシテ居ルナラバ、ヤハ
リ此問題ハ少クトモ今度ノ提案ニハ、
整理ヲスル方針ヲ、四箇條デモ、三箇條
デモ立テ、サウシテ大藏省ニ同意ヲ
サセテ整理ヲスルナラバ、マナタノ責

任ハ後日デナクシテ、今日ニ於テ眞面
目ニ責任ヲ盡シタモノト私ハ考ヘル
ガ、此點ハ甚ダ遺憾ニ考ヘル、故ニ私ハ
此質問ヲ致スノデアリマス、少クトモ
今回ノ提案ニハ此特別會計ノ整理ト云
フモノガ伴ハナカッタト云フコトヲ甚
ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマス

ソレカラ次ニ第四デアアルガ、私ハ極ク
簡單デ宜シウゴザイマスガ、農相ハ現
下ノ米價ハドノ位ヲ適當デアルト御考
ヘニナッテ居ルカ、是モ委員會ノ諸君カ
ラ御質問ガアッタノデアリマスルガ、農
相ハ今日ノ米價ガ安イトカ高イトカ云
フコトヲ言ヒマスルケレドモ、現在ノ
諸物價ノ關係カラシテ、低物價政策ヲ
執ッテ居ル現内閣トシテ、ドノ點ガ一番
適當ナ價格ト御考ヘニナッテ居ルノカ、
之ヲ一ツ御答ヲ願テ置キマス

○町田國務大臣 先般モ稍ソレニ近
イ御尋ガアリマシテ、恐ラクハ御満足
デナカッタト思ヒマス、是ダケハ私ハハ
ッキリ申スコトガ出來ルト思ヒマス、私
共ガ今提案ヲ致シテ居リマスル此米穀
法ガ貴衆兩院ヲ通過シテ法律トナリマ
シタ曉ニ於テ、法律ガ通過シタト云フ
コトニ依ッテ、米價調節ノ上ニ相當ノ效
果ガアルコト、私ハ信ジテ居リマス、
斯様ナ場合ニハ相當ナ資金ヲ以テ發動
スルト云フ規定ニナッテ居リマスレバ
發動セナクテモ特別會計ニ於テ相當ノ

資金ヲ得タト云フ威力ニ依ッテ、今日ヨ
リモ農家ノ爲ニ多少タリトモ有利ナル
價格ガ現レルコト、想像シテ居リマ
ス、併シ私ノ想像ノ通りニ參ラヌ場合
ニハ、少クトモ新法律ニ依ッテ率勢米價
下値ニ割リ潛ルヤウナ場合ニハ、法律
ハ之ヲ運用スルヲ得ト致シテ、必ズシ
モ買ハナケレバナラヌト束縛シタ法律
デハアリマセヌ、又農村今日ノ事情カ
ヲ鑑ミテ、下値ニ割リヨリモ潛ッタヤウデ
アッタナラバ、政治的ニ考ヘテ見テモ米
穀法ガ發動シナケレバナラヌ必要ガ生
ズルモノト思ヒマス、併シ今日ノ米價
ハドノ邊ガ適度デアアルカト云フコト
ハ、私個人トシテハ色々ナ考モ持ッテ居
リマス、併シ苟モ責任ノ立場カラ見マ
スルト、新ニ提出致シマシタ米穀法案
ガ成立スルト、少クトモ此點マデハ維
持シナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッ
テ居ルト云フコトダケデ、ドウゾ此質
問ハ御容赦ヲ願ッタ方ガ財界一般ノ爲
ニモ宜シイカト思ヒマス

○東委員 私ハ農林大臣ハ、幾ラガ今
日ノ相當ナ米價ダト云フ個人ノ意見ハ
別ニアルガ、法律ヲ出シテ居ル以上ハ
下値ヲ潛ッタ場合ガ米價ノ相當ノ値段
デアルト云フノデアアルガ、サウスルト
先達テ農務局長ガ御答ニナッタ米價最
低原價ノ相場ハ十八圓ガ相當デアラウ
ト云フヤウナ意味ノ答辯ガアッタト思

フノデアリマス

置キタイ

ドウ云フ御考デアリマスカ

テ、十八圓以下ニ潜ルコトガ必ズナイ

ソレデ此生産費ノ問題ガ東郷委員カラ
ラ屬ト出テ居ルガ、生産費ト云フモノハ
過去七年間ノ生産費ハ大抵三十三圓
ニナツテ居ル、ソレデ五年度生産費ハ、
帝國農會ノ調ニ依リマスルト二十七圓
何十錢トナツテ居ル、是ハ五百何十戸ノ
農家經濟カラ調査シタモノガサウナツ
テ居ル、デアリマスルカラ、現在ノ庭先
相場ト云フモノハ先ヅ十七圓、ソレガ
農村ニ於ケル庭先相場デ、本當ニ賣ル
時ニハ十七圓ニナラナイ、ヤハリ二圓

故ニ私ハ、現在ノ物價ノ關係、現在ノ
經濟界ノ狀況カラ見マシテ、今日ノ米
價ハドノ邊ガ相當デアルト考ヘテ居ラ
レルカ、農林大臣ノ意識ヲハッキリシタ
コトヲ承ツテ置キタイ、若シ質問ガ重複
スルナラバ、伺ハナクテモ宜イノデア
リマスガ、若シ伺ヘレバハッキリト、ド
ノ位ノ程度ガ今日ノ米價トシテ相當ナ
リト御考ヘニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒ
タイ

○石黒政府委員 只今速記録ヲ直チニ
繰ル譯ニ參リマセヌガ、私ノ申上ゲタ
記憶ハ、本法案ヲ出シテ居リマスル上
カラ御考ヘ下サイマシテモ、米穀法出
動ノ機ニ於キマシテハ、率勢米價下値
二割ヲ割リマシタ時、即チ十八圓何ガ
シト云フ時ニ出動スルモノデアアル、即
チ是ハ少クトモ維持スベキ價額デア
ル、其以上上値二割ノ所マデノ間ニ於
テ適當ニ上下スルコトガ宜イノデアアル
ト斯ウ考ヘテ居リマスルコト云フコトヲ申
上ゲタ積リデアリマス

トハ限ラヌ、現ニアルト思フ、サウ云フ
場合ニハ只今ノ言質ハ非常ニ有力デア
ルシ、又農家トシテモ非常ニ安心スル
ト思フ、十八圓ハ政府ガ何處マデモ維
持スル法律デアツテ、是ヨリ以下ニハ潜
ラヌト云フコトニナレバ、底値相場ト
云フモノガハッキリシテ來ルカラ、此
點ハ言明ヲ得ルコトガ非常ニ必要デア
ルト考ヘテ、私ハ質問ヲ致シタノデア
リマス

バカリ低値ニアルノデアリマスカラ、
十四五圓ノ相場ニナル、是デハ私共ハ
ドウシテモ農村ハ立行カスト思フ、斯
ウ云フ米價デハドウシテモイカスト思
フ、ソレニ付テ今度ノ率勢米價ト云フ
モノヲ見マスルト、ドウモ此事情ニ副
ハナイ點ガアルト思フガ、是ハ實際ニ
就テ調査シタ後ニ要素ニシテ加ヘルト
云フコトデアリマスルガ、若シモ農林
大臣ノ御考ヘニナルノガ、現在ハ十七
圓ノ相場デ澤山デアルト云フコトデア
ルナラバ、私ナドハ非常ニ意見ガ違フ
ノデアアル、是ハ非常ニ肝要ナ事デアツ
テ各委員モ皆此點ニ付テ質問ヲ致シタノ
デアアルガ、現在ノ相場トシテハドノ位
ノ相場ガ相當デアルト云フ考デアアル
カ、私ハドウモ其點ニ付テ意見ガ違フ
ノデアリマスカラ、其處ヲハッキリシテ

○町田國務大臣 斯ウ申上ゲテ宜カラ
ウト思ヒマス、此度ノ提案ガ貴衆兩院ヲ
通過シマスルト、生産費ヲ基準トシ得
ナイ間ノ僅カノ間ハ率勢米價ノ下値二
割ヲ標準トシテ政府ガ出動スル、併シ
是ハ國家ガ必要上出動スル場合ノ一ツ
ノ基準デアリマスガ、農村今日ノ事情、
竝ニ農產物ノ豐穰其他ノ種々ナル原因
ニ依ツテ、大暴落ヲ來シテ居ル今日ニ於
テハ、此法律以前ノ他ノ施設ニ依ツテ農
產物ノ下落ヲ防ギ、此値ヲ相當適當ナ
地位ニ高メルコトニ、種々ナル施設ニ
依ツテ進ミタイト云フコトヲ米穀法カ
ラ切離シテ努力スルコトハ勿論デアリ
マス

○東委員 サウ致シマス、農林大臣
ハ農務局長ノ意見ヲ肯定スルコトデア
ラウト思フガ、若シ此法案ガ通過シテ、
貴衆兩院ヲ通ツタスレバ、現在ノ相場
ヲ如何ナル事情ガアツテモ、十八圓ニ維
持スルコト云フコトニ諒承シテ宜イカ、
ソレヲ伺ヒマス

ソレカラ次ニ是モヤハリ聯關シテ居
ルノデアアルガ、若シ今ノ率勢米價ニ依
テ十八圓ト云フモノガ大體ノ標準デ出
動スルト云フコトハ分リマシタガ、サ
ウナルト、基準ガ出來ルトスレバ、當然
ノ結果トシテ耕地整理、或ハ開墾助成
法、自作農創定、是等ノ補助ノ關係等ニ
付テハ從來大抵二十八圓、若クハ三
十圓ト云フモノニ依ツテ、總テ農林省ノ
施設ト云フモノガ出來テ居ル、之ニ依
ツテ補助或ハ交付金ト云フモノヲ、爲シ
テ居ルノデアアルガ、今後農林行政ト云
フモノハ是等ニ付テ總テノ改廢ヲシナ
ケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、此
點ニ付テ若シ米價ノ基準ガ出來タナラ
バ、一切ノ施設ト云フモノハ根本的ニ
改廢ヲスル必要ガアルト思ヒマスガ、
之ニ對スル政府ノ御所見ハドウデアリ
マセウカ

○東委員 農務局長ハ先達テ此席デ答
辯セラレタノニハ、先ヅ十八圓位ガ
今日ハ相當デアラウト云フヤウナ意味
ノ御説明ガアッタト思フガ、農務當局ハ

○東委員 農務局長ハ先達テ此席デ答
辯セラレタノニハ、先ヅ十八圓位ガ
今日ハ相當デアラウト云フヤウナ意味
ノ御説明ガアッタト思フガ、農務當局ハ

○東委員 農務局長ハ先達テ此席デ答
辯セラレタノニハ、先ヅ十八圓位ガ
今日ハ相當デアラウト云フヤウナ意味
ノ御説明ガアッタト思フガ、農務當局ハ

○東委員 農務局長ハ先達テ此席デ答
辯セラレタノニハ、先ヅ十八圓位ガ
今日ハ相當デアラウト云フヤウナ意味
ノ御説明ガアッタト思フガ、農務當局ハ

○町田國務大臣 實際問題トシテ御尤
ナ御尋デアリマス、耕地整理等ニ對シ
テ政府が目下貸出シテ居ル金額ハ、一
億二千萬圓位彼此レアルト思ヒマス、
其他畜産、水産等ノ低利資金トシテ出
テ居ルモノト合セテ、一億五千萬圓内
外ト私ハ頭ノ中ニ大體考ヲ持ッテ常ニ
局ニ當ッテ居ルノデアリマス、若シ農産
物ノ價ガコ、兩三年斯様ナ狀態デ參ル
トナレバ、之ニ向テ相當ナ改正ヲシナ
ケレバナラヌ必要ガアルト思ヒマス、
唯當年一年ノ大暴落ニ依ッテ直チニ從
來ノ施設ヲ根柢ヨリ變ヘルト云フコト
ハ如何デアラウカト云フコトヲ考慮シ
テ居リマス、併シ今日ノ農産物ノ暴落
ハ、農家ガ從來借入レテ居ル低利資金
ヲ、年賦トシテ償還スルノハ甚ダ困難
ナ事情ノ下ニ在ルト云フコトニハ、同
情モ致シテ、私共トシテハ何等カ救済
ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト痛切ニ感
ジテ居リマスルガ故ニ、斯様ナ低利資
金ヲ得テ、耕地整理等ヲ致シテ居ル者
ニ對シテハ、更ニ長期年賦ニ變ヘテ、年
年政府ニ拂ハレル金額ヲ少ク下ルカ、
然ラザレバコ、兩三年將來ノ財界ガ如
何ニ變化スルカ、私共ハ好轉スルコト
ヲ期待致シテ居リマスガ、コ、兩三年
ノ間ハ餘程困難デアラウト云フ點カ
ラ、或ハ一時返済ヲ延期致スカ、更ニ長
期ニ變ヘテ今日ノ不況ニ對スル農家ノ

窮狀ヲ考ヘマシテ、二者何レカノ途ニ
依ッテ之ヲ緩和シヨウト云フコトニ略
大藏大臣ノ諒解ヲ得マシテ、恐ラク不
日預金部委員會ニ掛ケル運ビマデ參ラ
ウト思ヒマス、是モ十分デハアリマセ
ヌガ、政府ノ貸シテ居ルダケデモ相當
ナ事ヲ致シタイト云フ考デアリマシ
テ、今申スコトハ多分實現シ得ラレル
コト、確信致シテ居リマス

○東委員 私ノ今ノ質問ハ、農林行政
ノ基礎ヲ成シテ居ル米價ハ大抵三十圓
ニナッテ居ルガ、十七八圓ト云フコトニ
ナレバ總テノ行政ノ根柢ヲ變ヘナケレ
バナラヌト云フコトデアッタガ、其以上
ニ進ンデ農林大臣ノ御答辯ハ、低利資
金ノ償還マデ更ニ考ヘテ、私ニ答辯ヲ
致シテ下サッタノデアリマス、私ハ此
事ニ付テ更メテ質問スル積リデアッタ
カラ、私ノ質問ヲ此處デ便宜上致シマ
スガ、低利資金ノ改廢、特ニ償還ハ不能
ニ陷ル虞ガアルカラ何トカシナケレバ
云フコトハ度々伺ッテ居ルノデアリマ
スガ、之ニ依ッテ長期据置ニスルトカ、
或ハ利率ヲ引クトカ、總テノ方面ニ於
テ是ハ非常ナ重大ナ問題ト思フ、今ノ
儘ニ於テハ到底償還能力ハナイ、耕地
整理ノヤウナモノハ殆ド從來四百圓ナ
ハナイ、大抵四百圓以上七百圓位ニナ

テ居ル、ソレハ皆米價算出ガ三十圓以
上ニ依ッテ其時ノ補助施設ヲシテ居ル
ノデアル、サウ致シマス、米價ガ十七
八圓ト云フモノガ長ク續クト云フコト
ニナレバ、其償還ハドウシテモ非常ニ
長イ間ノ償還ノ方法ヲ執ラナケレバナ
ラヌ、サウシテ利率ハ今日ノ利率ハ非
常ニ安クナッテ居ルカラ、利率ヲ非常ニ
低クスルト云フコトヲ的確ニヤラナケ
レバ、到底農家ハ償還ノ能力ハナイ、
是ハ一億五千萬圓ト農林大臣ハ言ハレ
マスガ、普通資金ヲ加ヘレバ三億萬圓
ニナルノデアリマス、非常ニ重大デア
ルト思ヒマスガ、是モ今大藏大臣ト御
相談中デアルト云フノデアルガ、是等
ニ對シテ農林省ガ的確ナル立案ノ下ニ
ドレダケノ抱負ヲ以テ、ドウ云フ風ナ
案ヲ立テルノデアルカト云フコト、少
クトモヤル積リデアアル、何トカシナケ
レバナラヌト云フダケデナクシテ、的
確ニ是等ノ方針ヲ定メルト云フコトガ
非常ニ必要デアルト思ヒマスガ、今日
マデソレ等ノ立案ヲシタモノガナイノ
デアリマスガ、ドウ云フ御考デアリトス
カ、之ニ付テ長期ノ据置トカ利率ヲ引
クトカ云フヤウナコトガナケレバナラ
ヌト思ヒマスガ、之ニ對シテノ御所感
ヲ伺ヒタイ

同時ニ勸業銀行、或ハ特殊銀行ハ大
抵土地ニ對シテハ八朱位——七朱何厘
ト云フモノニナッテ居ル、拓殖銀行ナドハ
九朱以上ニ、殆ド一割ニナッテ居ル、是等
ノモノハ從來借リテ居ル者ガ償還ガ出
來ナイノデアリマス、是等ニ付テモ政
府ハ相當ニ考慮シナケレバナラヌト思
フガ、併セテ是等ニ對シテ當局者ニ伺
フコトガ出來レバ伺ヒタイガ、非常ニ
全國ノ農村ガ是等ニ對シテドウシテ吳
レルカト云フコトヲ吾々ノ所ヘ非常ナ
ル手紙ヲ寄越シテ居ルノデアリマスカ
ラ、是ニ付テノ農林當局者ノ的確ナル
御答ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○石黑政府委員 只今ノ問題ハ非常ニ
熱烈デアルト云フコトヲ私共モ能ク承
知シテ居リマス、ソレニ關シマシテ具
體的ノ案ヲ立テマシテ、兩案ヲ立テマ
シテ色々練ッテ居リマス、其兩案ヲ立テ
マシタモノガマダ大藏省ノ方トノ關係
ガアリマスルノデ、話ガシッカリ熟シテ
キマッテ居リマセヌ、折々大臣同士ノ御
話モアリマスルシ、私共モ話合ヲシテ
居リマスガ成案ニナッテ居リマセヌガ、
腹案ハ持ッテ居リマス、兩案共大體ニ於
テ只今ノ御話ノアリマシタ中間据置ト
同ジダケノ——救済ニナルダケノコト
ハ致シタイト、斯ウ云フコトデアラウ立
テ、居ルノデゴザイマス

ソレカラ預金部以外ノ各特殊銀行ニ
於テ融通致シマシタル耕地關係ノ資
金、ソレ等ニ關シテモ大體國家ノ預金

第五類第五號 米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會會議錄 第十五回 昭和六年三月三日

二一七

部が融通シタ資金ニ付テ救済方法ヲ決
定致シマシタナラバ、同様ノ方法ヲ以
テ救済的ノ施設ヲヤツテ貰フヤウニ大
藏省カラ交渉シテ貰ヒタイト云フコ
トデ、話合ヲ進メテ居ルノデゴザイマ
ス

○町田國務大臣 一寸農務局長ノ何ハ
腹案ノ程度ニ御諒解ニ或ハ相成リハセ
ヌカト思ヒマスガ、ソレヲ私カラ申ス
トモソツト進ンデ居リマス、今預金部デ

雙方ノ整理上孰レヲ採ルカト云フ事務
的ナ研究ハ致シテ居リマスガ、大體ニ
於テ此低利資金ノ年賦償還ヲ農村ノ今
日ノ實情ニ鑑ミテ之ヲ緩和スル爲ニ二
者孰レカノ方法ニ依ッテヤルト云フコ
トハ、大藏大臣ノ決心モ付テ居リマス、
昨日デアリマシタカ貴族院ノ豫算總會
ニ此問題ニ對スル答辯ヲスル機會ガア
ッタノデ、必ズヤル、今具體案ニ對シテ攻
究中ダト云フ明白ナル答辯ヲ致シテ居
リマス、又昨日貴族院ノ本會議デ農村
救済ニ對スル問題ニ對シテ、私ト同様
種々ナル應答ガ議員ノ間カラ出テ答辯
ヲ致シマシタ時ニモ、預金部ノ今ノ金
ハ多クハ農村カラ來テ居ルノガ主ナル
モノデアルカラ、努メテ之ヲ農村ニ還
元スルト云フ大方針ヲ一層進メルト云
フコトヲ大藏大臣モ言明シテ居リマス
ルシ、私ノ希望ナドモ其處ニアリマス
カラ、只今農務局長カラ言ハレタ通り、

獨リ從來ノ此低利資金ノミナラズ、或
ハ勸業銀行、農工銀行等ノ自力ヲ以テ
出シテ居リマスル一種ノ低利資金ニ對
シテモ、政府當局トシテハ之ニ相當ナ
援助ヲ與ヘテ、併セテ之ヲモ緩和シナ
ケレバ、東君ノ御話ノ通り半分ハ緩和
サレテ、半分ハ其儘ダト云フ形ハ面白
クナイト思ヒマスカラ、私トシテハ、十
分ニ御希望ニ副フヤウニ努力致スコト
ハ勿論デアリマス

○東委員 此事ハ非常ニ重大デアルト
思ヒマスガ、今折角農林省ノ方デモ心
配シ、大藏大臣モ誠意ヲ以テヤルト云
フコトハ洵ニ結構デアリマス、多分近
ク成案ニナッテ現レルダラウト思ヒマ
スガ、農林大臣ナドハ御存ジナイカモ
知ラヌガ、今ヤ地方農村ハ全ク「モラト
リアム」デ、學校ノ教員ノ給料ハ殆ド全
國的ニ大部分ガ支拂ガ出來ナクナッテ
居ル、ソレカラ最近聽キマシタガ、山
梨縣ナドハ五十程銀行ガアルノガ、三
ツシカ生存スル銀行ガナイ、アトハ全
部戸ヲ閉メルト同様ナ状態デアッテ、サ
ウシテ資金ト云フモノガ地方ニハ何等
ナイ、殆ドサウ云フヤウナ銀行其他ノ
モノハ皆「モラトリウム」同様ナ状態ニ
ナッテ居ルノデアリマス、サウシテ田地
ノ價格ハドウカト云フト、熟田ガ百圓
位ニナッテ居ル、サウシテ銀行デ擔保ニ
取ッテモ處分ヲスルト缺損ガ出來ルシ、

預金ハ拂ハナケレバナラヌカラ、悉ク
研究ヲ生ズルト云フヤウナ状態デア
ルサウ云フ際デアアルカラ政府ノ低利資
金ガ餘程緩和シナケレバ、是ハ到底政府
ガ徴收シテモ出來ヌト思フ、ドウカ是
ハ誠意ヲ以テオヤリヲ願フノデアアルガ
同時ニ農村ノ負債ノ件デアリマスガ、
之ヲ併セテ只今ノ答辯ニ附帶シテ質問
スルノデアリマス

是モ農家ノ負債ハ大抵五十億ト云フ
コトデ一戸ニハ八百圓カラ千圓位ナ負
債ハ皆ナ持ッテ居リマス、是モ到底償還
ガ出來ナイ、今ノ状態デハ非常ニ困難
ヲ生ジテ居ルノデアアルガ、負債ノ整理
ニ付テハ是モ御考ヘテ十分致シテ居ル
ト云フコトノ御答辯デアリマスガ、若
シ負債ノ整理ヲヤルト云フナラバ是ハ
法律的ニヤル御考デアアルカ、法律デモ
出シテサウシテ何カ負債組合法ト云フ
法律デモ拵ヘテ徹底的ニヤッテ、政府ガ
援助スル方法ヲ執ルノデアアルカ、或ハ
組合トカ、或ハ何々委員會ノヤウナモ
ノデモ拵ヘルト云フノデアアルカ、又政
府部内ニ何カ機關ヲ拵ヘルト云フ御考
デアアルカ、之ヲ一ツヤルト云フダケノ
御話デアリマスガ、一步進ンデ、進ンダ
御成案ハドウ云フ點デ、ドウ云フ方法
ヲ執リタイト云フ御考デアアルカ、ソレ
モ併セテ伺ッテ置キマス

○町田國務大臣 昨日貴族院ノ質問ニ
對シマシテ私ハ大體申シテ置キマシタ
ガ、實際ドウニカシナケレバナラヌト
思ッテ居リマス、此儘ニシテ置キマスル
ト、尙ホ農家ノ負債ガ殖エマス、農村ノ
現狀ニ於テ殊ニ痛切ニ此整理ノ必要ヲ
感ズルモノデアリマス、併シ申スマデ
モナク此負債整理ハ中々困難ナ大事業
デアリマシテ、東君ノ御話ノ負債整理
組合ト云フ一ツノ法人ヲ作ッテヤッタ
ドウカ、町村長アタリカラモ其意見ガ
出テ、現ニソレヲ實行シテ居ルモノモ
長野縣ノ町村ナドニハアルヤウデアリ
マス、是モ一ツノ方法ト考ヘマス、併シ
全般ニ互ッテ之ヲ整理スルコトハ相當
困難ナト、相當ノ年月ハ掛ルコト、
思ヒマス

大藏大臣モ此點ハ地方金融機關竝ニ
勸業銀行等ノ方面カラ研究シテ居ルヤ
ウデアリマスガ、私ナド主トシテ先ヅ
高イ歩合ヲ取ッテ居ル個人ノ整理カラ
先ヅ出發シテ、ソレト同時ニ大藏省關
係ノ銀行ノ制度ノ改善カラモ行キタイ
ト思ヒマス、併シ中々困難ナ問題デア
リマス故ニ、機會ガ出來マシタナラバ
出來ルダケ急イデ、頂戴シテ居ル豫算
ニ依ッテ、農林審議會ニ於テ研究スル問
題ノ主ナルモノ、一ツト相成ッテ居ル
ノデアリマスカラ、色々ナ知識經驗ノ
アル人ヲ此間ニ加ヘテ、朝野ノ意見ヲ
一堂ニ集メマシテ、是非トモ私ハ解決

對シマシテ私ハ大體申シテ置キマシタ
ガ、實際ドウニカシナケレバナラヌト
思ッテ居リマス、此儘ニシテ置キマスル
ト、尙ホ農家ノ負債ガ殖エマス、農村ノ
現狀ニ於テ殊ニ痛切ニ此整理ノ必要ヲ
感ズルモノデアリマス、併シ申スマデ
モナク此負債整理ハ中々困難ナ大事業
デアリマシテ、東君ノ御話ノ負債整理
組合ト云フ一ツノ法人ヲ作ッテヤッタ
ドウカ、町村長アタリカラモ其意見ガ
出テ、現ニソレヲ實行シテ居ルモノモ
長野縣ノ町村ナドニハアルヤウデアリ
マス、是モ一ツノ方法ト考ヘマス、併シ
全般ニ互ッテ之ヲ整理スルコトハ相當
困難ナト、相當ノ年月ハ掛ルコト、
思ヒマス

スルコトニ努力致シタイノデアリマス、ドウゾ左様ナ點ニハ御意見ノアル所ハ其會ニ向ッテ御示シアラシコトヲ希望シ、少クトモ農家ノ前途ニ對シテ相當悲觀シテ居ル傾ガアリマス、之ニ向ッテ一種ノ光明ヲ與ヘテ——多少ノ年數ハ掛リマスケレドモ、將來ノ農家ニ對シテ光明ヲ與ヘルダケノ大方針ガ立テ得ラレルコト、確信シテ居リマス

○清家委員 東君ノ質問ト聯關ヲ致シテ私ハ先日モ質問致シマシテ御同様ニ答辯ヲ得タノデアリマスガ、其農村救濟ト云フコトガドウ云フコトニナッテ居ルカ分リマセヌガ、私ハ左様ナ機關ヲ御作りニナリマシタナラバ、其中ニ能ク農民ノ事情ニ精通ヲ致シテ居リマスル町村長ヲ、五人ナリ三人ナリ御加ヘニナルヤウニ御取計ヒガ願ヒタイト思ヒマス

一寸序デアリマスカラ御許ヲ願ヒマス、先日ノ米價ニ對スルコトニ付テ勞銀ニ關スルコトヲ伺ヒマシタ所ガ、勞銀ハ米價ニ較ベテ高イケレドモ、ソレハ儲ケサセル積リデアルト云フ御議論デアリマシタガ、結局農村ノ救濟ニ使フヤウナコトノ御趣旨デアタツト思ヒマシガ私ハ大體ニ農村ニ對スル低利資金ノ運用ニ對シマシテ其人々ガ勞銀ヲ割合好ク戴クノミデナク、或ハ鐵道、或ハ

都市ニ於キマシテ、今回ノ救濟ヲ目的ト致シマシテ、出シマスル低利資金モ、ヤハリ勞銀ト同様ト思ヒマス、サウナルトヤハリ昔ノ習慣デアッテ一日ノ賃銀ガ米三升四升ガ當然デアリマスガ、ソレガ六升ニモ七升ニモ相成リマスルト、サウスルト消費者ノ方ガ大ニ利益ヲ受ケテ、生産者ガ其恩典ニ與ラヌト云フコトニ相成リマスガ、此米價ヲ決定セント致シマシテモ、其點ヲ能ク御考ヘニナッテ又農家ノ實際ノ懷合ヲ御斟酌ニナリマシテ價格ヲ割出シマセヌト生産費ヨリモ遙ニ安イ所ノ價格ヲ以テ買上ゲラレルト云フコトハ不當デアラウト思ヒマス、序ニ之ヲモウツ御伺シテ置ク譯デアリマス

○町田國務大臣 前ノ御尋ニ對シテ御同感デ、實ハサウ云フ心持デ農家ノ救濟ヲ整理スルニ付テハ地方農村ノ實情ニ通ジテ居ラレル方々ノ御意見ガ最も必要ダト思ヒマシテ、委員會ハ相當大キナ機關ガ出來ルト今考ヘテ居リマス、ソレニハ必ズ地方ノ事情ニ御經驗ノアル方ニ委員ヲ願フコトハ勿論デアリマス、尙ホ後ノ何ハ御希望トシテ相當考慮致シテ置キマス

○東委員 私人質問ハ幾ラデモアルガ、極ク簡略ニ致シマス、皆様ニ御迷惑デアラウト思ッテ遠慮シテ簡略ニ致シテ置キマス、私人質問ヨリ答辯ノ方ガ

長イノデス、朝鮮米ノ統制デアリマスルガ、此統制ガ一番今日ハ米價ノ壓迫ヲシテ居ルト云フコトハ誰モ認メテ居ル所デアルガ、總督府ノ今日ノヤリ方ハ總督府ノ自由意思ニ委シテサウシテ倉庫ノ建設デアル、低利資金デアルト云フヤウナコトデ、色々ナ施設ヲヤッテ居ルト云フ説明デハアルケレドモ、ソレハ一向統制ガ出來テ居ラヌ、ソレデレハ達テモ質問應答シテ、朝鮮カラ來ル米ハ昨年ヨリ多イトカ少イトカ云フ質問應答モアッタノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ言ッタ所ガ、多イ少ナイト云フヤウナコトハ僅カナ事デ、ヤハリ統制ノ成績ガ舉ッテ居ラヌト思フ、私ハ到底此現狀デハイカスト思フ、ソレデ農林大臣ハ更ニ一歩進メテ、拓務大臣、朝鮮總督等ニ交渉シテ、ソレデアナタ方ガ初メニ聲明シタ通りニ、モット徹底シタ方針ヲ執ルト云フコトガ、非常ニ當面ニ於テ必要ト思ヒマスガ、今ノ儘デハ到底イカヌ、ソレデ拓務省デモ朝鮮總督府デモヤリ方ヲ見ルト云フト餘リ徹底シテ居ラヌト思フノデアリマス、之ヲ一歩進ンデ此統制ヲスルト云フ考ナイノデアアルカドウデアアルカ、一向吾々ハ此成績ガ舉ッテ居ラヌト思フガ、此點ニ付テ御話ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 私人説明中ニ申スコトガ世間カラ誤解ヲサレマス、朝鮮

統治ノ上ニモ容易ナラザル影響ヲ生ズル虞ガアル、昨年ノ米穀調査委員會ノ委員ノ意見ガ、餘程大キナ影響ヲ朝鮮ノ農民ニ及ボシタ實例ガアリマスルカラ、私ノ申上ゲル言葉モ餘程注意シテ申上ゲ、又私ノ申上ゲタコトノ御解釋モ、左様ナ意味デ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ使フ言葉モ見ヤウニ依レバ——朝鮮ノ人カラ見マスレバ或ハ誤解サレル虞ガアルノデアリマスガ、私ハ誤解ノナイヤウニ申シタイト思ヒマス、此問題ニ對シテハヤカマシイ問題ガ農會等ニアリマシタ時ナドモ、私取扱ニ餘程困難ヲ致シタノデアッテ、内地ノ農民カラ申シ、農會アタリノ考カラ云ヘバ、朝鮮ノ多額ノ米ガ期節ヲ選バズ殺到シテ參リマス爲ニ、内地ノ農民ガ迷惑シテ居ルカラ、之ヲ制限ヲ加ヘヤウト云フ農會アタリノ意見ガ相當強イノデアリマス、所得稅モナシ、血稅モ拂ハヌ朝鮮ノ農民ガ、天候ノ好イ時ニ非常ナ大キナ收穫ヲ得テ、是ガ内地ニ這入ッテ來テハ内地ノ農民ガ困ルト云フ議論ガ相當アル、併シ此點ハ屢、申シタ朝鮮統治ノ上ニ於テハ相當考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、此問題ニ對シテハ大藏大臣、拓務大臣並ニ濱口總理大臣ガ、之ニ對スル調査會ノ意見ヲ定メマスル時ニ、斯様ナ言葉ヲ使ッテ居リマス、朝鮮カラ這入リマスル米

ヲ、期節的ニ這入ルヤウニ調節スル
方策ヲ立テル——方策ヲ立テルト云
フ中ニハ經濟施設ハ勿論デアルガ、
獨リ經濟ノ施設デ足ラヌ時ハ、場合
ニ依レバ法制ノ力ヲモ此方策ノ中ニ
蘊蓄シテアルト云フト云フ結論ニ達シ
タノデアリマス、調節スル方策ヲ樹テ
ルト云フ意味ハ、獨リ經濟施設ノミナ
ラズ、場合ニ依レバ法制ノ力ヲ必要ト
スル場合モアルト云フコトモ考慮シ
テ、方策ト云フ廣イ言葉ヲ使ッタ中ニ
ハ、二様ノ意味ガアル、併シ出來ルナラ
バ、之ヲ經濟施設ニ依ッテヤリタイト云
フ滿腔ノ希望ヲ以テ、此經濟施設ヲ進
メテ居ルデアリマス、恐ラクハ今ノ
經濟施設ハ、遅々トシテ進ミマセヌ、一
日モ早く此經濟施設ヲ完了シテ、調節
ヲ致ス考ヘデアッテ、法制ノ力ヲ藉ル考
ハナクシテ、經濟施設ヲヤル積リデア
リマス、併シ此問題ハ餘程大キナ問題
デアリマスルカラ、今之ヲ用ヒルト云
フ意味デハアリマセヌ、併シ調査會ニ
出シマシタ調節スル方策ヲ樹テルト云
フ意味ハ、廣イ意味デアルト云フコト
ニ御諒解ヲ下サツテ戴キタイト思ヒマ
ス

○東郷委員 只今ノ農林大臣ノ御答辯
ニ付テ、少シ疑ヲ起シマシタカラ、チヨッ
ト質問スルコトヲ御許シテ願ヒタイ、
是ハ非常ナ大切ナ問題ト思ヒマスカ
ラ、ハキリ致シテ置キタイ、私ハ過般拓
務大臣ニモ御尋ネ致シマシタ、米穀調
査會ニ於キマシテ拓務大臣ガ、此朝鮮
ノ米ガ、内地ノ出來秋ニ特ニ殺到スル
コトニ對シテ、其調節ヲシナケレバ
ナラヌト云フ調査會ノ意思ニ對シテ、
拓務大臣自ラ御出席ニナリマシテ、御
方針ヲ御説明ニナッタ、其時拓務大臣
ハ、只今農林大臣ノ御説明ニナッタヤウ
ニ、農林大臣、大藏大臣、總理大臣トモ
打合セテ、自分ガ全責任ヲ以テ言フノ
ダ、斯ウ云フ御話、所ガ委員ノ一人カ
ラ、然ラバ其方法如何、斯ウ言ッタノニ
對シテ、ソレハ結局マダキマッテ居ナイ
ノダ、斯ウ云フ御説明デアッタ、最初ハ
ソレハ朝鮮統治ニ直グ影響スルカラ言
ヘナイト云フ御話デアッタガ、アルナラ
示シテ宜イデヤナイカト云フ質問ヲシ
タ所ガ、終ニハマダキマッテ居ナイト
云フ御答辯デアッタ、所ガ私此ノ間拓務
大臣ニ其點ヲ確メタノデスガ、其以前
ニ松村殖産局長ガ、總督ノ名ニ依ッテ特
別委員會ニ來テ御聲明ニナッタ場合ニ、
方法トシテハ、農業倉庫ノ施設ニ依ッテ
其調節ヲヤルト云フ御話デアッタ、私達
ハ農業倉庫ノ施設ダケデハ、到底吾々
ノ期待スル如ク調節ハ出來ナイト思フ
ト言ッテ、多數ノ委員ガ質問等モシタ、
然ルニソレデ必ズヤラウト云フヤウナ
御話ガアリマシタカラ、ソレハ然ラバ
間達デアッタノカト拓務大臣ニ質シタ
所ガ、自分ガ總理大臣其他ト打合セテ
來テ、拓務ノ上ニ於テ全責任ヲ持ッテ居
ルカラ、自分ノ言フ所ガ正シイノデ、松
村殖産局長ノ言フノハ正シクナイノ
ダ、斯ウ云フ御話デアッタソコデ其後段
段施設ヲセラレルノヲ見タノデアアル
ガ、松村局長ガ特別委員會ニ於テ御聲
明ニナッタトノ同ジク、所謂農業倉庫ニ
依ル調節以外ニ出テ居ナイノデアアル、
此點モ此間拓務大臣其他拓務當局ニ質
シタ所ガ、ソレダケナノデアアル、所ガ只
今農林大臣ノ御話デ、其時ニ總理大臣
等ト打合セニナッタコトハ、サウ云フ經
濟的施設ニ限ラズ、已ムヲ得ヌ場合ハ
法制ノ力ヲ以テデモヤラウト云フ所マ
デ實ハキマッテ居ルノダ、唯今ヤラヌダ
ケノ話ダト云フ御説明デアリマシタ
ガ、ソコデ私少シ確メテ置カヌケレバナ
ラヌト云フノハ、過般農林大臣、拓務大
臣ニ御尋シタ時分ニ、能ク差別待遇ガ
宜シクナイト云フコトヲ仰セラレタ
ガ、一體朝鮮米ニ對スル差別待遇ト云
フモノハドウ云フ意味デスト云フコト
ヲ御尋シタ、農林大臣ノ私ニ對スル御
答辯ニ依ルト、ソレハ法制ノ力ヲ以テ
朝鮮米ノ内地ニ來ルモノヲ制限スルト
言ッテヤウナコトハシナイノダ、斯ウ云
フ御話デアリマシタガ、ソコデ私ハハッ
キリシマセヌカラ、確メテ置キマス、只
今ノ農林大臣ノ御話ノ、必要ナ場合ニ
ハ法制ノ力ヲ以テモ、朝鮮カラ内地ニ
來テモ調節制限スルト云フ御意思モア
ルニハアルノダ、併ナガラ今ソレヲマ
ダ必要ト認メナイカラ、ヤラナイノダ、
斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、此間
ノ御話ト少シ何處カ違ヒハシナイカト
思ヒマス、是ハ大變ナ問題デアリマス
カラ、繰返シテ御尋シマス

○町田國務大臣 此御御話シタ通り、
差別的待遇ヲシテ、米穀調査委員會ニ
於テ、朝鮮カラ入ル米ヲ法制ノ力ニ依ッ
テ制限シヤウデハナイカト云フ希望意
見ノアルコトハ御承知ノ通りデアリマ
ス、此點ニ對シテハ、吾々ハ同意シマセ
ヌ、只今私ノ法制ノ力ト云フ意味ハ、朝
鮮カラ入ッテ來ル米ヲ、法制ノ力ニ依ッ
テ制限スル意味ト、私ノ言フコトヲ御
解釋サレマスレバ、ソレハ迷惑デアアル、
私ハ今民間ノ農業倉庫トカ何トカ云フ
施設ダケデ出來ルナラバ、調節シタイ
ト、朝鮮總督府モ努力シテ居ルシ、又政
府モ今度低利資金ヲ以テ仕事ヲヤッテ
居リマス、併シ是ハ五箇年ノ間ニ倉庫
ヲ幾ラ造ルトカ、サウ云フ按配ニ其仕
事ハ中々急速ニハ參リマセヌ、ソコデ
問題ハ斯様ナ點ダケデ實ハ行クカ、更
ニ朝鮮ニモ内地ノヤウナ——法制ト云
フ言葉ノ制ノ字デ、大變混同ナサツタヤ
ウデアリマスガ、政府ガ之ヲ調節スル

爲ニ、或ハ朝鮮ニ於ケル米穀ノ買入ニ對スル法律デアルトカ云フヤウナ方法モ別ニ樹テナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ意味ヲ申シタノデ、朝鮮カラ入ッテ來ル米ヲ、法律ノ力ニ依リ制限スルト云フ意味デナクシテ、法制ト云フ意味ニ御解釋ヲ願ヒマス

○東郷委員 農林大臣ノ御説明ハ……

○西村委員 一寸アナタニ御注意致シマスガ、要點ダケヲ仰シヤッテ下サイ

成ベク御省キヲ願ヒタイ

○東郷委員 要點ダケヲ申シテ居リマス、私先程申上ゲテ置イタ言葉ハ――

言葉ガ不調法デアリマシタカラ、今度ハ要點ダケヲ申シテ居リマス、ソレダケノコトヲ申上ゲナケレバ誤解ガ解ケナイカラ申上ゲマス、委員長ノ御趣旨ハ能ク分ッテ居リマス、私只今ソレデ了解シマシタガ、委員長、序デニ私申上ゲテ置キタイと思ヒマスガ――後デモ宜シウゴザイマスガ

○西村委員 東サンハマダ御質問ガアツタノデハアリマセヌカ

○東委員 アリマス

○西村委員長 ソレデハ東サンガシマッテカラ願ヒマス

○東委員 ソレデ總督府ノ言フコトハ、マルデ空鐵砲デ、何モ實際ヤッテ居ナイ、ソレデ農林當局ハ之ヲ本氣ニシテコンナコトヲ當ニシテ居ッタラ飛デ

モナイ、現在滔々トシテ移入シテ居ルガ、東京デモ大阪デモ消費者ノ米ヲ買フノハ、大抵東京ハ七割、大阪ハ八割、九割マデ朝鮮米ノミヲ喰ッテ居ル、現在市中ニ販賣シテ居ルノハ、皆サウダ、農村ハ刻々トシテ侵蝕サレテ居ル、ソレデ統制スルト云フコトガ非常ニ必要ナ今日ノ狀況デアルガ、是ハ朝鮮總督府ガ倉庫ヲ五箇年デ造ルトカ何トカ言ッテ、平均月別ト云フコトデ非常ニ宣傳シテ居ルケレドモ、現在ノ米價ノ暴落シテ居ル最モ重點ハ、詰リ朝鮮米ニアルンダカラ、是ハ非常ニ肝要ナコトデアルガ、方策ヲ立テロ、或ハモット徹底スルダケノ事ヲ、今一步進ンデ現在ノ狀況ニ於テ方策ヲ立テロト言ッテモ、ドウモ方策ノ立チャウガナイガ、農林省カラ拓務省ニ相談シタ、ソレカラ拓務大臣ナリ、總理大臣モ乗出シテ眞面目ニ統制ヲシナケレバナラヌト云フコトノ決心ヲシタト云フナラバ、實績ノ舉ガルダケハシナケレバ、何等ノ效果ハ無イカラ、斯ウ云フ質問モ重ネテヤル譯ナノデアリマスガ、モット完全ヲ期スルト云フ點ニ付テハ一段ノ努力ヲ要スル、又總督府ニ對シテモ、嚴重ニ農林省カラ交渉スル必要ガアル、低利資金ヲ一

ノデアアル、此以上私ハ此點ニ付テハ御質問ハ致シマセヌ、ドウカ其點ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイ

ソレカラ是ハ極ク簡單デ宜シイ、他ノ委員諸君モ質問ヲ度々シタコトデアリマスガ、生産費ト生計費ノ調査ヲスルノハ、是ハ追加豫算デ金ハ要求スルノデアラウト思フガ、ドレダケノ金額ヲ要シテ、サウシテ何時是ハ完成スル、是ガ大變漠然トシテ居ル、三年掛カル五年掛ルカ分ラヌヤウナ説明ヲシテ居ルカラ、是デハ此法案ヲ審議スル上ニ非常ニ差支ヘル、ソレデアルカラ金ノ要求ノ高ニ依ッテ、本年中ノ生産費、生計費ヲ調査スルト云フナラバ、尙ホ今ノ米穀法デ、一時的ニソレハ我慢ヲスルト云フ協賛ヲ與ヘルト云フコトモアル、ケレドモ此生産費、生計費ノ調査ガ長引クト云フコトナラバ、ドウシテモ此法案ト云フモノハ絶對的ニ不備デアルト云フコトハ明カデアアル、デアアルカラ此生産費ト生計費ノ調査ハ、是ハ直チニ著手スルノデアラウカ、何時著手シ、何時終ル見込デアアルカ、サウシテ之ニ對スル費用ハドレダケノ費用ヲ要求スル積リデアアルカ、之ヲハッキリ伺ヒタイ

○町田國務大臣 出來ルダケ急イデ調査ヲスルコトハ勿論デアリマス、調査ノ經費モ、農林省トシテハ相當ノ正確ナル調査ヲ一日モ早ク致シタイト云フ意味カラ、相當ノ經費ヲ大藏省ニ相談ヲシタノデアリマシタガ、遺憾ナガラ農林省ガ要求スル經費ニハ至ラナカッタガ、當年一年ヤル經費ハ、大藏省ト話ガ出來テ、追加豫算デ出ス事ニナッテ居リマス、金高ハ十二萬圓ト思ヒマス

○東委員 是ハ生産費ノ調査ダケデスカ、家計費ノ調査モ合シテノ金額デアリマスカ

○町田國務大臣 家計費ハ別デス

○東委員 サウスルト本年ハ家計費ノ調査ハヤラナイノデスカ

○町田國務大臣 ヤハリ豫算ニ出シテヤリマス

○東委員 サウシテ時期ハ何時ト吾々心得テ宜シウゴザイマスガ、ヤッテ見ナケレバ分ラヌト云フノデハ困ル

○石黒政府委員 只今ノ東サンノ御尋デゴザイマスガ、家計費ノ調査ノ方ハ、約六萬五千圓ヲ以テヤリマス、生産費ノ調査ハ御協賛ヲ得マスレバ直チニ著手ヲ致シマシテ、本年ノ四月ヨリ十一月マデノ間ニ記帳ヲ致サセマシテ、十二月マデニハ取纏メルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、是ガ完全ナル調査ニナリマスルヤ否ヤト云フコトハ、事務當局ト致シマシテハ、十分慎重ナル態度ヲ以テ考ヘナケレバナリマセヌカラ、四月ト云フ記帳ヲ始メル月ガ、既ニ

米作ニ於テハ或ル地方ニ於テハ著手ヲ致シテ居ル所モアルノデアリマス。カ

私ハ御答ヲシタノデアリマス、事務當局ト致シマシテハ、正確ナル調査ヲ是非ヤルコトニ極力努力ヲシナケレバナ

云フモノデハナイノデアリマス、ソレニ付テ生産費ハ毎年繼續のニヤル御考デアラウト思ヒマスガ、其點ハドウナ

マシテハ、其ノ金ヲ政府ニ使ハセル形式ハ、寄附ノ形式ニナラウト存ジマス、ソレニ付キマシテハ、當該會社ガ政府

ノ程度ニ出來ルカト云フコトニ多少ノ疑問ヲ有ッテ居リマス、ソコデ十二月ニ

實ヲ舉ゲル積リデ居リマス、併ナガラ今申上ゲマシタヤウニ、四月カラノ記帳デアリマスカラ、來年ハ既定ノ經費

ニナリマシテ、餘程時期ノ問題、或ハ農家ノ選定等ノ點モ早クカラ著手スルコ

ト云フコトニナレバ、無論此基準價格ガ本年ノ十一月ニナッテ現ハレテ來ル

シテハ參リマセヌ、成ルベク正確ナルモノヲ出シタイト云フ考ヲ以テ、多大

トモ出來テ、完全ナルモノモ出來ヤウト考ヘマスガ、本年ニ於キマシテハ四

ニナルノデアアラウト思フ、其點ヲハッキリシタイト思フガ、政府ハ之ヲ答辯ヲ

ハナケレバナラスト云フ主張ヲ致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ

十分ニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ家計費ノ調査ノ方ハ、是ハ

果シテ出來上ツタモノガ完全ト稱シ得ルカドウカ、無論完全ト云フコトニハ

シテモ仕方ガナイト思ヒマス。次ニ一寸是モ極ク簡單デ肝腎ナコト

ガ只今ノ現狀デゴザイマス。○東委員 是ハ從來カラモ度々農林省

過去ノ記帳、集計ニ經驗ノアリマス内閣統計局ニ於テヤッテ貰フコトニ致シ

テ居リマス、是ハ本年ノ九月ヨリ記帳ヲ致シ、來年ノ八月マデノ間ノ記帳ヲ

致スノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス。○東委員 サウスルト十一月マデニ生

產費ノ調査ハ先ヅ十二萬圓カノ豫算ヲ出シテヤルト云フコトデアリマス、家

計費ノ方ハ九月カラ後ニナルト云フノデアリマスガ、此生産費ノ調査ガ十一

月マデニ兎ニ角出來ルダケ努力シテ、出タモノハ直グ率勢米價ニ應用ヲスル

考デアルカドウデアルカ、是ハマダ運用スルマデニハ行カヌ見込デスカ、其

點ヲハッキリ御伺ヒ致シマス。○石黑政府委員 其點ニ觸レタ積リデ

テハ御答ヲシタノデアリマス、事務當局ト致シマシテハ、正確ナル調査ヲ是非ヤルコトニ極力努力ヲシナケレバナ

云フモノデハナイノデアリマス、ソレニ付テ生産費ハ毎年繼續のニヤル御考デアラウト思ヒマスガ、其點ハドウナ

マシテハ、其ノ金ヲ政府ニ使ハセル形式ハ、寄附ノ形式ニナラウト存ジマス、ソレニ付キマシテハ、當該會社ガ政府

ノ肥料問題ニ對シテ適當ナリト考ヘラレル施設ニシテ、本社ガ同様ニ同感ヲ致ス施設ニ對シテ提供ヲ致シタイト、

斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、而シテドウ云フ施設ヲスルカト云フコトニ對シテハ、商工省ハ恐ラク商工省關係

ノモノニ使ヒタイト主張スルデアラウト思ヒマス、吾々又農業關係ノ方ニ使ハナケレバナラスト云フ主張ヲ致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ

點ハマダ折衝ヲシテ居リマセヌ、ソレガ只今ノ現狀デゴザイマス。○東委員 是ハ從來カラモ度々農林省

内ニモアッタ問題デアルガ、此問題ハ農林省ガ使フノガ當然デアルト思フ、ハ

商工大臣御列席ノ上ニ於テ質問ガアリ
マシタ、其實問ニ對シテ、農相ト商相ト
ノ間ニ私共ハ非常ナ喰違ヒガアッタト
思フガ、實ハ私共ハ敢テ追窮スル必要
ハナイカラ其儘ニシテ居ッタノデアリ
マスガ、商工大臣ノ考ハ、不當廉賣法ヲ
直グ出ス積リデアル、内議デアルト云
フ事ダケハ茲ニ言ッテ居ル、是ハ農林省
トモ能ク協議シテ居ルト云フノデアリ
マスガ、農林大臣ハ、協議ト云フ意味ガ
甚ダ迷惑デアルト云フヤウナ御説明デ
アリマシタガ、農林大臣モ最後ノ言葉
ハ、何カ不當廉賣ニハ御賛成ヲシナケ
レバナラヌト云フ風ナ御答辯ノヤウニ
聞キマシタ、例ヘバ内地ノ生産工業ヲ
發達助成スル爲ニハ相當ナ費用ハ是ハ
已ムヲ得ナイト云フヤウナ言葉尻デア
ッタガ、是ハ不當廉賣ヲ商工省デアル時
分ニハ、農林省ハ之ニ賛成スルノデア
アルカト云フコトヲ、是ハ「イエス」カ
「ノー」カ此事ダケヲハキリ伺ッテ置ケ
バ宜シイ

○町田國務大臣 私モ時間ヲ節約スル
爲ニ、之ニ「イエス」トカ「ノー」トカ云
フ言葉デ申上ゲタノデアリマスクレド
モ、併シ此問題ハ中々「イエス」「ノー」
デハ盡サレマセヌ、胎中君ノ御尋ネニ
對シテ私ガ申シタ通りデアリマス、私
ハ假ニ之ヲ不當廉賣トシテモ、是ガ爲
ニ内地ノ基礎産業ニ向ッテ根柢ヲ危ク

サセル虞アリヤ否ヤト云フコトニ付テ
私ハ非常ニ重キヲ置イテ居リマス、先
般申上ゲタ「カルテル」ハ、足並ミノ揃
ハヌモノモ、基礎ノ鞏固ナモノモ、薄
弱ナモノモ一緒ニシテ、一番弱イ者ヲ
標準トシテアノ「カルテル」ガ出來上
テ居ルノデアリマス、商工大臣モ、最後
ハ農林大臣ト商工大臣ノ考ハ違ッテ居
ラヌト、此處デ言明サレテ居リマシタ
カラ、恐ラク商工大臣モ、今アル硫酸會
社ノ總テヲ、關稅ニ依ッテ保護スル考ハ
ナイト私ハ確信ヲ致シテ居リマス、唯
眞ニ最モ生産費ヲ安クスルコトノ根本
的ノ施設モ、ヤハリ合理化デアリマス、
唯企業統制ノ點カラ、總テノ會社ヲ合
同サセルト云フヤウナコトハ、企業統
制ノ趣旨デアリマセヌ、ソレモアリマ
セウガ、從來ノ經營組織ニデモ改善サ
レテ、サウウシテ其基礎産業ガ壞レヌ
ト云フ所ニマデ進マナケレバナラヌノ
デス、今マデノ有様ノ通りニシテ、是デ
引合ハヌカラ、直グ不當關稅ニ行クト
云フコトハ、農林省ハ考ヘテ居リマセ
ヌ、商工省モ亦サウデアリマセウ、出來
ルダケ資本ノ切捨テヲヤセルコトモ
アリマセウ、大藏省ノ整理モヤハリ資
本ノ切捨テヲヤラシテ居リマス、從來
多分ニ使ッテ資金ヲ其儘ニシテ置イテ
是デハ經濟上成立タナイカラ、關稅ニ
依ッテヤラウト云フ者ハ、現内閣デハ左

様ニ單純ニ考ヘテハ居リマセヌ、故ニ
ソコハ相當ナ安イ値マデ整理サセルコ
トガ出來ルト思ヒマス、ソレニ依ッテ見
テモ、尙ホ此基礎産業ヲ根柢ヨリ覆ヘ
シテ、日本ノ産業ガナクナッタ時ニ、外
國カラ又高イ肥料ヲ買ハナケレバナラ
ヌト云フ時ニハ、農家ノ迷惑ハ今日以
上デアルカラ、左様ナ場合ニハ不當關
稅ト云フモノガ或ハ出動スルコトガ絶
對ニナイトハ申サレヌ、斯様ナ意味ヲ
以テ申シテ居リマス、而シテ農村今日
ノ事情カラ申シマセバ、私ノ考トシ
テハ、出來ルダケハ何等カノ方法ニ依
ッテ、斯様ナ法律ノ實現ヲ、合理的ニ避
ケ得ラレルダケハ避ケタイ、斯ウ云フ
考ヲ持ッテ居リマス

○東委員 一寸ソコガハッキリシナイ
ノデアリマスガ、ソレデハハ商工省デ
ハ幹事會等ヲヤッテ居ルガ、是ハ議會ガ
濟ンダラヤル積リデアアル、農林大臣ノ
ハ大分長イ間ニ内地ノ製造工業ヲ破壞
スルコトヲ見テ、サウシテ農村ガソレ
デ利益ヲシナイ、其時ニハ不當關稅モ
即チ已ムヲ得ナイ、併シ足竝ノ揃ハナ
イモノヲ其儘ニシテ、サウシテ高イ價
格ニナルヤウナ場合ニ於テ、安イモノ
ガ買ヘルノニ買ヘナイト云フヤウナコ
トニハ同意ハ出來ナイト云フノデアアル
カラ、商工大臣ノ言葉ト、アナタノ考ト
ハ大分違フト思フ、ソレデアルカラ、

アナタノ考ハ大分長イ間ノ考デア
ルガ、是ハ商工省ハ直グ不當廉賣ヲヤ
ルノデアルト私共ハ大體推測シテ居ル、
ソレデアアルカラ例ヘバ茲ニ價格ガ七十
圓デ買ヘル、或ハ農林大臣ガ先達御説
明シタヤウニ、七十五圓ナラバ是ハ相
當デアルト云フヤウナ基準價格ト云フ
モノニ目安ヲ置イテ、ソレニ同意スル
カシナイカト云フコト、其處ヲハッキリ
承ッテ置ケバ宜シイ、其點ノ農林大臣ノ
御考ガ何處ニアリマスカ、ソレヲ伺ヒ
タイ

○町田國務大臣 御尤デアリマスガ、
私ガ七十圓ガ適當カ、七十五圓ガ適當
カト云フコトニ付テ、果シテ是ガ日本
デ最モ進ンダ經營法、又硫酸ニ色々ノ
方式ガアリマス、其最モ有利ナ方式ヲ
今ヤッテ居ル會社ガ澤山アリマスカラ、
左様ナ會社ガ經營ヲ改善シテヤッテモ
尙ホ之ヲ根柢カラ覆ヘス虞ガアルト云
フ場合ニハ考慮シナケレバナラヌト考
ヘテ居リマス、併シ七十圓ガ適當デア
ルカ、七十五圓ガ適當デアアルカト云フ
コトハ、是ハ調査ノ結果ニ依ッテ初メテ
得ラレル結論デアリマシテ、率直ニ私
先頃申シタ通り、各會社デ出シタ生産
費ト云フモノト、農林省ノ専門家ノ調
トハ、相當ナ茲ニ違ヒガアル、之ヲ商工
省ニモ渡シテ農林省ノ、査定ノ仕方デ
ヤレバ、各會社ガ出シタ生産費ヨリモッ

ト安ク行ケル、斯様ニ安ク行ケルノダ
ト云フ計數ヲ現シテ差出シテ居リマ
ス、私ノ方ノ計算ガ果シテ事實カ、生産
會社デ出シタノガ事實カ知レマセヌ
ガ、私共ノ方ノ計算モ、相當ノ根據アル
計算ヲヤッテ居リマスカラ、今ノ狀態デ
ハ根柢カラ總テノ會社ノヲ覆シテシマ
フト云フコトニハ、マダ結論ガ左様ナ
方面ニハ達シテ居リマセヌ

○東委員 ソレデハ斯ウ解釋シテ宜イ
ト思フノデスガ、商工省ガ直グヤルト
云ツテモ、コチヲノ方デ相當ノ調査ヲシ
テ居ルシ、又的確ナル考ヲ持ッテ居ルカ
ラ、直ニ商工省ガヤルト言ツテモ同意ヲ
シナイト云フ腹デアルト云フコトノ説
明デアッタト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ
考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○町田國務大臣 宜シウゴザイマス

○東委員 ソレハ洵ニ結構デス、分リ
マシタ、ソレナラバ私共満足スルノデ
アリマス、ソレカラ次ニ伺ッテ置キマ
スガ、木材關稅ト乳製品ノ關稅、澱粉ノ
關稅ト云フモノガ、非常ニ今日ノ當面
ノ問題ニナッテ居ルト思ヒマスガ、之ニ
對シテ農林省ハ何カ關稅ノ改正ヲスル
ト云フコトニ付テ十分御考ガ出來テ
居ルカ、若シ出來テ居ルナラバ、關稅改
正ナラバ、最早期日ハナイ、議會ハ直グ
濟ンデシマフガ、腹ガアツテモ行ハレヌ
ノデアルカ、之ニ依ッテ内地ノ産業ヲ根

柢カラ破壊サレルヤウナコトガ澤山ア
ル、是等ニ付テハ何カ御考ガアルカ、木
材、乳製品、澱粉、此三者ニ付テ説明ヲ
願ヘレバ宜シイ、今日マデ何モナイト
云フノナラバ、甚ダ不親切ダト思ヒマ
ス

○町田國務大臣 農村ノ重大ナル問題
デアリマスガ故ニ、東君ガ此米穀法ト
ハ直接ノ關係ハナクトモ、農村ヲ憂ヘ
ラレル餘リノ質問デアリマスカラ、出
來マスレバ私共皆サンノ暫時ノ御猶豫
ヲ願ッテ、御答ヲスルノガ至當ト思ヒマ
ス、屢、北海道ノ當業者ヲ初メトシテ、
其他ノ方面カラモ陳情ガアリマシテ、
目下農林省ニ於テハ其陳情ヲ基礎トシ
テ、關稅ヲ掛ケナケレバナラヌカ否ヤ
ノ調査ヲ慎重ニ致シテ居リマス、今此
處デ私が責任ヲ負フテ、此議會ニ出ス
ト云フ責任アル言明ヲスルマデニハ、マ
ダ遺憾ナガラ參ッテ居リマセヌ、慎重ニ
調査中デアリマス、木材ノコトハ私共
モ相當考ヘテ居リマス、大藏當局モ進
ンデ今考ヘテ居リマスガ故ニ、是ハ解
決スルコトノ日ガサウ遠クナイト考ヘ
テ居リマス、尙ホ乳製品ノコトノ實際
ノ事情ハ、當面ノ責任ヲ負ウテ居ル農
務局長ナリ、若クハ畜產局長ノ方カラ
申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○石黑政府委員 澱粉ト乳製品ニ關シ
テハ、當業者ノ陳情ガ農林省ノ方ヘモ

參ッテ居リマス、殊ニ北海道方面カラノ
陳情ノ參ッテ居リマスノハ、是ノ關稅ノ
設定ノ必要ヲ非常ニ希望シテ來テ居ル
ノデアリマス、是等ニ對シマシテハ、農
林省トシテ相當調査ヲ致シテ居リマス
ガ、此處デ只今ノ御問ノ政府ハ、モウ會
期モ一日々々ト終ニ近ヅクノデアルカ
ラ、出スカト云フ御質問ニ對シマシテ
ハ、出スカト云フ御答ヲ申スコトモ出サ
ヌト云フ御答ヲ申スコトモチヨット致
シ兼ネマスカラ、此程度ニ御諒承ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○東委員 是ハ大變重大ナ問題ト思
フ、乳製品ノコトハ、私ハ特ニ北海道ノ
事ヲ言フノデハナイ、是ハ非常ニ關係
ガ重大ト思フノデスガ、是ハ農林省ノ
方デモ、今カラ調査シテデモ、直グ間ニ
合フコトデアルカラ、例ヘバ此朝鮮ノ
京城デ、現ニ亞米利加ノ資本デ三千萬
圓ノ資本ヲ持ッタ「コーン・プロダクト」
ト云フ會社デスガ、是ガ此四月カ五月
ニハ工事ガ終ル、「コーン」ノ關稅ハ三
十錢シカ掛ッテ居ナイ、サウスルト、此
會社ガ製造ヲ始メルコトニナレバ、一
日二百五十噸製造スル、サウスルト、内
地ノ澱粉ノ製造ガ四萬噸ノ需要ガアル
ガ、ソレガ又六萬噸モ餘ルト云フヤウ
ナ大製粉ナモノガ出來テ、私共實ハマ
ダサウ云フ噂デアラウト思ウテ居タ
ガ、現ニ今工事ニ著手シテ、四五月ニハ

千人以上ノ工場ノ建設ニ從事シテ中々
盛ニヤッテ居ル、サウスルト日本ノ澱粉
業ト云フモノハ、岡山、廣島、千葉、北海
道邊ノ澱粉業者ハ、全部倒レテシマフ、
同時ニ製粉ト澱粉ト兩方合セテヤルカ
ラ製粉業ト云フモノハ全部滅ビテシマ
フ、是ハ非常ナ問題デアルト思フガ、今
朝鮮滿洲カラ入ッテ來ルモノガ僅ニ三
十錢シカ掛ラヌガ、之ニ關稅ヲ掛ケル
ト云フコトニナッテ、相當ノ保護ヲスレ
バマダ餘地ガアルト思フガ、此儘ニシ
テ置ケバ全然ヤッテ行ケナクナル、恐ラ
ク澱粉業者ノミナラズ、明治製菓デア
ルトカ、或ハ森永ト云フヤウナ、ア、云
フ風ナモノモ殆ドヤッテ行ケナイト云
フコトニナッテ、所謂我國ノ産業ト云フ
モノハ、非常ナ影響ヲ受クルト思フガ、
是等ニ對シテ農林省ハ相當ノ對策ヲ考
ヘナケレバナラヌト思フ、ソレカラ木
材ノコトハ申上ゲルマデモナク、露西
亞ノ生産原價ノナイモノガドンノ入
ッテ來テ、今日一圓モ五十錢モ金ガ無イ
山村ハ殆ド立行カヌコトニナル、乳製
品ガ折角獎勵シテ、外國ト同ジヤウニ
發達シテ居ルケレドモ、此關稅ガ安イ
爲ニ、ドウシテモ算盤ガ採レヌト云フ
コトニ、全國的ニナッテ居ル、デアルカ
ラ少クトモ澱粉ト、木材關稅ト、乳製品
ト云フモノダケハ、農林省所屬ノ關係
ト致シマシテ、至急ニ私ハ調査シテ、サ

ウシテ改正案ヲ出シテモ遅クナイト思フ、玆ニ於テ初メテ農村モ多少ノ保護ヲ受ケルノデアルガ、此儘ニシテ來年ノ議會マデ推移ルト云フコトニナリマスト、非常ニ及ボス影響ガ重大ダ、斯ウ思フテ、時間ノ無イノニ私ハ農林省當局者ニ質問ヲ致ス所以デアルカラ、ドウカ是等ニ對シテハ、マダ餘リ御調査モ出來テ居ラヌヤウニ伺フテ居リマスガ、出來ルコトナラバ本年ノ議會中ニ立案シテ、是ハ譯ノナイ事デアリマスカラシテヤツテ戴キタイト考ヘテ居リマスガ、若シソレニ對シテ御答辯ガナケレバ甚ダ遺憾ニ思ヒマス（「答辯無用」ト呼フ者アリ）答辯ガナケレバ私ハ諸君モ御迷惑デアラウト思ヒマスカラ質問致シマセヌ、要スルニ今回ノ米穀法ノ提案ニ對シテハ私共ハ甚ダ根柢ガ薄弱デアルト云フコトヲ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此以上ハモウ質問ハ致シマセヌ

○東郷委員 先程申シマシタヤウニ農林大臣ノ過日來ノ御答辯ノ中ニ、東郷君モ能ク熱心ニ御主張ニナルガト云フ御言葉ガ度々アリマス、ソレデ一寸説明申上ゲテ置カスト速記録ノ上デ誤解ヲ貽ストイケマセヌカラ一言致シマス

ソレハ東郷君ノ質問ニ對シテモ農林大臣カラ御話ガアリマシタガ、米穀對策

ノ一ツトシテ私ハ經濟的施設、即チ農業倉庫等ノ獎勵ニ依ツテ次第ニ米穀ノ調節ヲヤルコトノ必要ヲ米穀調查會等ニ於テモ熱心ニ主張致シタ、ソレヲ農

林大臣ガ先日來度々御引合ニ御出シニナツテ、東郷君モ熱心ニ主張スルガト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、ソレハ其通りデアリマス、但シ其處ニ誤解ガアルトイケマセヌノハ、私ハアレガ日本ノ米穀ヲ根本的ニ解決スル、所謂根本方策デアルトハ思フテ居リマセヌ、ソ

コデ現在米穀法ガ存續シテ之ヲ運用シテモ、ア、云フモノガナケレバイケナイト云フコトヲ申上ゲルノデ、私ハモット根本的ニ日本ノ米穀ノ國策ハ確立シナケレバ效果ハナイコトヲ信ジテ居リマス、應急的ニアレハ是非ヤラナケレバナラスト云フ意味デアリマシテ、今ノ米穀法ヲ廢シテモ、アレサヘアレ

バ日本ノ米ノ問題ガ解決スルト云フコトハ私ハ毛頭考ヘテ居ナイノデアリマスカラ、ソレハ誤解ガナイヤウニ願ヒマス

○西村委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了シタモノト認メテ御異議アリマセヌ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○西村委員長 ソレデハ質問ハ終了致シマシタ、尙ホ御諮リ致シマスガ、此

兩案ヲ一括シテ討議ニ付シタイト思ヒ

マスガ、御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○西村委員長 ソレデハ兩案ヲ一括シテ討議ニ付シマス

○關矢委員 只今議題ニナツテ居リマス米穀法中改正法律案竝ニ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ二案ニ付キマシテハ、吾々ハ政府ノ原案ニ賛成スル者デアリマス、而シテ詳細ノ論議ハ本會議デ申述べルコト、シテ保留致シマスガ、唯農村ノ現狀ニ鑑ミマシテ、本法實施ニ當リマシテ、政府ニ向ッテ一ツノ希望條項ヲ附加致シタイト思フノデアリマス

希望條項

本法附則第二項ノ規定ハ米穀生產費及家計費ニ關スル資料ノ整備スル迄ノ暫定方法トシテ已ムヲ得ザルモ

ノト認ムルモ政府ハ米穀生產費及家計費ノ調査ヲ一日モ速ニ完了シ之ヲ基準價格ノ決定ニ用ウルト共ニ内地ニ於ケル米穀生產保護ノ極メテ緊切ナル事實ニ鑑ミ最低基準價格ハ努メテ米穀生產費ニ近カラシムル様最善ノ考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ム

ト考ヘマシタケレドモ、生產費、家計費ノ調査ヲ極メテ短時日ニ完了セラレ、少クトモ明年アタリ之ヲ加ヘテ基準價格ヲ決定シテ然ルベキモノナリト私共ハ考ヘルノデゴザイマス、デアリマスガ故ニ最低價格ヲ米穀生產費ニ近カラシムルト云フ希望ニ止メマシテ、特ニ二割デアルトカ或ハ一割五分ト云フヤウニスル問題ハ、此勅令ヲ制定スル場合ノ米穀ノ事情ニ鑑ミマシテ、政府ニ於テ適當ニ裁量サレタイト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ私共ハ此希望ヲ附シタ譯デアリマス

更ニ此希望條件ヲ附シマスル所以ノモノハ、農村ノ現狀ニ照シマシテ米穀ハ消費者ニ取リマシテハ家計費ノ一部デアアルニモ拘ラズ、生産者側ニ取リマシテハ米穀收入ハ農家收入ノ大部分デアルト云フ此點ニ於テ、率勢米價ノ下二割ヲ一割五分ト假ニ致シマシテモ、決シテ消費者ニ薄クシテ、生産者ニ厚イト云フコトニハナラナイト私共ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ現下ノ不況ハ農村ニ於テ最モ甚シイ情勢ニ鑑ミマシテ、米穀政策ニ於テハ農村ニ幾分厚クスルヲ以テ適當ナリト考ヘルノデアリマス、此理由ヲ以チマシテ私共ハ玆ニ此希望ヲ附加シテ、此兩案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

○胎中委員 只今委員長ヨリ御諮ニナ

リマシタ米穀法ノ改正竝ニ之ニ伴フ所
ノ米穀需給調節特別會計法ノ改正、此
二案ニ付キマシテ吾々ハ熱心ニ相當長
イ間審議ヲ致シマシタガ、審議ヲスレ
バスル程非常ニ私共ハ疑惑ヲ深ク致シ
マシタ、遂ニ私共ハ満足スル結果ニ至
ラナカッタノデスリマスガ、當席ニ於キ
マシテハ贊否ニ付テ保留ヲ致シマシ
テ、サウシテ何レ本會議ニ於テ私共ノ
意見ヲ發表スルコトニ致シタイ思ヒマ
ス

午後五時十分散會

○西村委員長 ソレデハ採決致シタイ
ト思ヒマスルガ、本案ヲ一括シテ採決
スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○西村委員長 ソレデハ本案ヲ一括シ
テ採決致シマス、兩案トモ今ノ希望條
件ヲ附シテ原案ニ贊成スルト云フ方ノ
起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○西村委員長 多數デアリマス、ソレ
デハ只今ノ希望條件ヲ附シテ原案ノ通
リ可決致シマシタ(拍手)一寸此際私カ
ラ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、前後十五
回ニ互リ委員會ヲ繼續致シマシタ、其
間私ノ不慣不行届ナルニモ拘ラズ、此
不慣ト不行届トヲ御寛容下サイマシ
テ、此重要ナル法案ガ圓滿ニ審議ヲ了
ヘマシタコトハ、私ガ皆様ニ對シテ衷
心カラ感謝スル所デアリマス、一言御